

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSS機能

5
中継台(AIT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

Acteto II'

[取扱説明書]

このたびは、Acteto II（アクテットII）をお買い求め
いただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、お読みになったあとも本商品のそば
など、いつも手もとに置いてお使いください。

IWATSU

Acteto II'

取扱説明書

IWATSU




安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの116番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

⚠ 警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

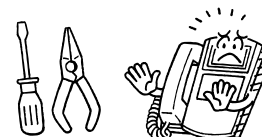
●主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

●主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

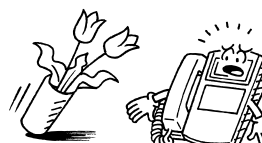
●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください(分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります)。



●主装置や電話機などのそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



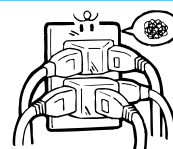
●ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●主装置からの電源コードおよび電話機までの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

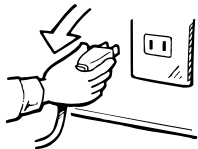


安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

⚠ 注意

- 主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
 - 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 主装置などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
 - 電話機を壁掛用に取り付ける場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
 - 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
 - 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 
- 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
 - 主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 - 主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - 主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
 - 主装置にテーブルクロスなどをかける。

⚠ 注意

- 長時間で使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 万一、電話機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機を電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをすることがあります。

お願い

- 主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
- 停電のときは、停電用電話機を使用してください。
 - 他の内線電話機は使えません。
 - ドアホンは使えません。
- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
 - 塵・ほこり・鉄粉・有害ガスなどが発生する場所。
- 電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。
- 電話機は平らな面に置いてお使いください。

目次

安全にお使いいただくために
必ずお読みください……………2

1. ご利用いただく前に

システムの構成……………12

2. 多機能電話機

外へ電話をかけるとき〈外線発信〉……………16

受話器を取ってかけるとき〈一般発信〉……………16

受話器を置いたままかけるとき

〈オンフックダイヤル〉……………16

ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき

〈ロングフラッシュ〉……………17

最後に電話した相手に再びかけ直すとき

〈ラストナンバリダイヤル〉……………17

短縮ダイヤルを利用するとき……………18

相手先の電話番号の登録方法……………18

外線グループ番号も含めた登録……………18

相手先名の登録方法……………19

登録を変更するとき……………19

かける方法……………20

相手先を確認してからかけるとき

〈スクロール発信〉……………20

応答しない相手に何度もかけ直すとき

〈オートリピートダイヤル〉……………21

オートリピートダイヤルの解除方法……………21

外からの電話を受けるとき〈外線着信〉……………22

呼び返し発信……………22

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉……………23

音または声による呼び出し

〈内線トーン呼び出し／内線音声呼び出し〉……………23

ダイヤル途中で内線番号をかけ直すとき

〈ロングフラッシュ〉……………23

呼び出したい部署の空いている電話機を

呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉……………24

相手が通話中か応答がなく、続けて別の内線を

呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉……………24

内部からの呼び出しを受けるとき

〈内線応答〉……………26

受話器を取り上げて応答するとき

〈内線自動応答〉……………26

受話器を置いたまま応答するとき（オプション）……………26

お待ちいただくとき／再びお話しするとき

〈保留／応答〉……………27

外線の保留／再びお話しするとき

〈外線保留／応答〉……………27

内線の保留／再びお話しするとき

〈内線保留／応答〉……………27

保留した外線を他の人が

受けないようにするとき〈外線自己保留〉……………28

「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法

〈保留外線自動応答〉……………28

通話を他の人に回すとき〈外線転送〉……………29

近くの人に声をかけて回すとき〈保留転送〉……………29

特定の内線電話機に回すとき

〈外線自動転送／転送キャンプオン〉……………29

【機能】ボタンの使い方……………30

フレキシブルボタンアサイン……………31

フレキシブルボタンの機能内容を

確認するとき〈ボタン案内〉……………31

プリセットダイヤル……………33

個別パーク保留／応答……………34

個別パーク保留するとき……………34

再び通話するとき……………34

他の電話機から「リモート応答操作」で

再び通話するとき……………35

個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき……………35

グループパーク保留／応答……………36

グループパーク保留を行うとき……………36

再び通話するとき……………36

他の電話機から「リモート応答操作」で

再び通話するとき……………36

クイックオペレーション……………37

話中着信……………37

ドント・ディスターブ（DND）……………38

設定方法……………38

解除方法……………38

通話モニタ……………39

秘話／秘話解除……………39

秘話解除／秘話再設定……………39

外線会議通話……………40

「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法……………40

「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法……………40

複数外線会議通話……………41

外線を会議通話に参加させるとき……………41

特定の外線を会議通話から解除するとき……………41

外線間会議通話……………42

バージ・イン……………42

内線会議通話……………43

「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法……………43

「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法……………43

プリセクション……………44

外線グループ発信	45	時刻の設定方法	62
「索線番号」ボタンによる方法	45	設定時刻の解除方法	62
「索線」ボタンによる方法	45	タイムコール	63
空外線自動捕捉	46	時刻の設定方法	63
外線着信自動応答	46	登録時刻の解除方法	63
セーブナンバーダイヤル	47	メッセージウェイト	64
電話番号を記憶させるとき	47	メッセージウェイトの設定方法	64
記憶させた電話番号にかけるとき	47	メッセージウェイトの解除方法	64
メモダイヤル	48	連絡を待っている相手の呼び出し	64
電話番号を記憶させるとき	48	不在メッセージ	65
記憶させた電話番号にかけるとき	48	不在メッセージの登録方法	65
トランクキューイング	49	不在メッセージの消去方法	65
外線予約方法	49	ドアホン接続 (オプション)	66
外線予約の解除方法	49	キータッチトーン	66
タイムドトランクキューイング	50	電子ボリューム	66
外線時間予約方法	50	ヘッドセット接続 (オプション)	67
外線時間予約の解除方法	50	保留した外線を特定内線に自動転送する方法	67
ダイヤルリバース	50	通話中の外線または内線を切るとき	67
ACR発信	51	秘書応答	68
外線自動発信	51	他の内線電話機への着信に応答する場合	68
外線着信信号識別／外線別着信音色指定	52	設定された他の内線電話機の呼び出し	68
外線着信グループ応答	52	秘書応答着信音のモードの変更	68
ビルトインスピーカホン (オプション)	53	LCD表示切り替え	69
着信代理応答	53	ナンバー・ディスプレイを利用するとき	70
電話機パスワード	54	相手先の電話番号の登録方法	70
外線の発信規制	54	相手先名の登録方法	71
発信規制の解除方法	54	ディスプレイ表示の主な例	72
空内線自動捕捉	55	カレンダー／時刻表示	72
一斉呼び出し／グループ呼び出し／		ダイヤルモニタ	72
ページング呼び出し (オプション)	55	内線相手番号表示	72
ミーティング	56	通話時間／料金表示	73
ミー	56	電話機番号表示	73
内線ホットライン	56	通話料金集計表示	74
内線コールバック	57	通話料金使用率表示	75
設定方法	57	不在メッセージ表示	76
呼び返しがきたら	57	ナンバー・ディスプレイ表示	76
解除方法	57	ネーム・ディスプレイ表示	76
オーバーライド	58	多機能電話機の音について	77
内線ハンズフリー応答	58	各種キーの概要	80
不在転送／話中転送／未応答転送	59		
転送先の登録方法	59		
転送機能のON/OFF	59		
転送モードの切り替え方法	59		
登録内容の取り消し方法	60		
別の電話機から転送先を変更する方法	60		
内線キャンプオン	61		
リレーコントロール (オプション)	61		
モーニングコール	62		

3. 単独電話機

外へ電話をかけるとき	
〈内線専用機の外線発信〉	82
外線発信／グループ外線発信でかけるとき	
〈外線発信／グループ外線発信〉	82
短縮ダイヤルでかけるとき〈短縮ダイヤル発信〉	82

目次

短縮ダイヤルを登録／変更するとき 〈短縮ダイヤル登録〉	83
外からの電話を受けるとき〈外線着信〉	84
外からの電話を受けるとき〈外線着信指定応答〉	84
内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉	85
音または声による呼び出し 〈内線トーン呼び出し／内線音声呼び出し〉	85
呼び出したい部署の空いている電話機を 呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉	85
相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を 呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉	86
内部からの呼び出しを受けるとき	
〈内線応答〉	87
受話器を取り上げて応答するとき 〈内線自動応答〉	87
お待ちいただくとき／再びお話しするとき	
〈保留／応答〉	88
外線の保留／再びお話しするとき 〈外線保留／応答〉	88
内線の保留／再びお話しするとき 〈内線保留／応答〉	89
保留した電話を他の人が受けないようにするとき 〈個別パーク保留〉	90
内線グループで保留した電話を他のグループの 電話機で応答できないようにするとき 〈グループパーク保留〉	91
通話を他の人に回すとき〈外線転送〉	92
特定の内線電話機に回すとき 〈外線自動転送／外線キャンプオン〉	92
機能特番の使い方	93
機能特番をダイヤルするとき	93
外線／内線に共通な機能	94
話中着信	94
ドント・ディスターブ (DND)	94
外線会議通話	95
複数外線会議通話	95
外線間会議通話	96
応答保留	96
外線に関する機能	97
空外線自動捕捉	97
外線着信自動応答	97
ラストナンバリダイヤル	98
トランクキューイング	99
タイムドトランクキューイング	100
ACR発信	101
外線自動発信	101
外線別着信音色指定	102
着信代理応答	102
外線着信グループ応答	103

内線に関する機能	104
空内線自動捕捉	104
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ ページング呼び出し	104
ミーティング・ミー応答	105
内線ホットライン	105
内線コールバック	106
オーバーライド	107
不在転送／話中転送／未応答転送	107
内線キャンプオン	109
内線フラッシュ	109
内線会議通話	110
その他の機能	111
プレシグナル	111
モーニングコール	111
メッセージウェイト	112
電話機パスワード	113
ドアホン接続	113
単独電話機の音について	114
単独電話機で受話器から聞こえる音	114
単独電話機の鳴る音	114

4. DSSユニット付き多機能電話機

DSSユニットの概要	116
DSSユニットの「DSS」ボタンに登録されて いるもの	116
DSSユニットの「DSS」ボタンに登録できる もの	116
外からの電話に回答／転送するとき	
〈外線着信／転送〉	117
外からの電話を受けるとき〈外線着信〉	117
通話を特定の内線電話機に回すとき 〈保留した外線の自動転送／外線キャンプオン〉	117
内部からの呼び出しに回答／転送するとき	
〈内線着信／転送〉	118
内線からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉	118
通話を特定の内線電話機に回すとき	118
外線に発信するとき〈外線発信〉	119
内線または専用線からの依頼で外に電話 するとき〈スルーダイヤリング〉	119
短縮ダイヤルでかけるとき〈スクロール発信〉	119
内部の人を呼び出すとき〈内線呼び出し〉	121
内部の人にダイヤルするとき〈内線発信〉	121
応答しない相手（着信拒否、話中呼び出し禁止、 オフフックかスピーカオン中）を強制的に 呼び出すとき〈内線強制呼び出し〉	121
外線／内線に共通な機能	122

自動自己保留	122
コールリリース	122
アテンダントリコール	122
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ ページング呼び出し①	123
一斉呼び出し／グループ呼び出し／ ページング呼び出し②	124
台間転送	124
オーバーフロー転送	125
中継台インターセプト	126
着信音停止	126

内線に関する機能 127

クリアコール／シフトコール	127
DSSのランプ表示	127
メッセージウェイトコントロール	128

外線に関する機能 129

シリアルコール	129
---------	-----

DSSユニットからシステムの機能进行操作

するとき〈内線着信／転送〉 130

夜間切り替え／分散切り替え	130
内線サービスクラス切り替え	131
外線アクセス使用禁止制御	132
電話機パスワード	133
外線自動応答レベル切り替え (オプション)	134
音声案内登録 (オプション)	135
短縮ダイヤル登録①	136
短縮ダイヤル登録②	137
ナンバー・ディスプレイ登録	138
コールフォワード強制解放	139
トランク強制解放	140
ステーション強制解放	141
時刻調整	142

DSSユニットのシステムに関する

その他の機能 143

モーニングコール	143
ホテル在室表示	144
通話料金使用率表示	144
通話料金集計	146

5. 中継台 (ATT)

中継台の概要 148

各種キーの概要 149

ATTの外線ボタン	149
ATTのソフトボタン	149
ATTのDSSボタン	150
ATTの機能ボタン	150

中継台LCD表示の概要 151

ATTのディスプレイに表示される情報	151
--------------------	-----

6. ISDN

基本サービス 154

ISDN機器の接続 155

付加サービス 155

着信転送 156

着信転送動作を登録するとき	156
---------------	-----

着信転送動作を解除するとき	156
---------------	-----

通話中転送 157

三者通話 157

INSボイスワープ 158

INSボイスワープ開始操作	158
---------------	-----

INSボイスワープ停止操作	158
---------------	-----

INSボイスワープ転送先電話番号の登録操作	159
-----------------------	-----

INSボイスワープ確認操作	159
---------------	-----

7. システム機能

システムに関する概要 162

このシステムで使用できる回線	162
----------------	-----

システム障害に関して	162
------------	-----

システムのデータ設定に関して	162
----------------	-----

外線に関する機能 163

市外発信クラス切り替え／市外発信規制	163
--------------------	-----

外線グループ分け	163
----------	-----

オフフックトランクキューイング	163
-----------------	-----

簡易着信呼均等分配 (ACD: オートマッチク	
-------------------------	--

コールディストリビューション)	163
-----------------	-----

夜間切り替え／分散切り替え	164
---------------	-----

夜間切り替え方法	164
----------	-----

分散切り替え方法	164
----------	-----

転送電話	166
------	-----

転送先の登録方法	166
----------	-----

転送先電話番号の確認方法	167
--------------	-----

転送電話の取り消し方法	167
-------------	-----

外線着信方式	167
--------	-----

NTTダイヤルイン	167
-----------	-----

着番号毎転送	168
--------	-----

転送先の登録方法	168
----------	-----

転送先電話番号の確認方法	168
--------------	-----

転送先電話番号の取り消し方法	169
----------------	-----

転送の一時解除方法	169
-----------	-----

転送の開始方法	170
---------	-----

外出先から転送先変更／登録方法	170
-----------------	-----

外出先から転送先の取り消し方法	171
-----------------	-----

外出先から転送の一時解除方法	171
----------------	-----

外出先から転送の開始方法	172
--------------	-----

i・ナンバー	172
--------	-----

固定不在転送	172
--------	-----

目次

DISA〈ダイレクトインワードシステムアクセス〉 ・・・173
一般のアクセス方法・・・・・・・・・・・・・・・・173
外出先から内線電話機の一斉呼び出し、 グループ呼び出し、ページング呼び出し方法・・・174
内線電話機を介して外線発信または グループ外線発信方法・・・・・・・・・・・・175
DISA外線から転送電話を登録する方法・・・・176
内線に関する機能 ・・・・・・・・・・・・177
通話料金に関する機能 ・・・・・・・・・・・・177
専用線に関する機能 ・・・・・・・・・・・・178
対磁石専用線アダプタ（オプション）・・・・178
LD／SR（OD）／IB専用線（オプション）・・・・178
専用線タンデム接続・・・・・・・・・・・・178
閉番号方式・・・・・・・・・・・・179
TLAD接続・・・・・・・・・・・・179
その他の機能に関して ・・・・・・・・・・・・180
着信鳴音優先順位・・・・・・・・・・・・180
内部保留音・・・・・・・・・・・・180
外部保留音・・・・・・・・・・・・180
BGM ・・・・・・・・・・・・181
多機能電話機のスピーカの場合・・・・・・・・181
外部スピーカで音楽を流す場合（オプション）・・・181
音声案内 ・・・・・・・・・・・・182
音声案内サービス概要・・・・・・・・・・・・182
可変メッセージの録音・・・・・・・・・・・・183
可変メッセージの消去・・・・・・・・・・・・183
可変メッセージの再生・・・・・・・・・・・・184
全可変メッセージの再生・・・・・・・・・・・・184
全固定メッセージの再生・・・・・・・・・・・・184
接続案内メッセージ・・・・・・・・・・・・185
ハウラ音送出・・・・・・・・・・・・185
モーニングコール応答レポート・・・・・・・・185
IP機器について（オプション） ・・・・・・・・186
ご利用いただく前に・・・・・・・・・・・・186
VoIP機能（オプション） ・・・・・・・・・・・・187
IP電話サービス・・・・・・・・・・・・187
IWATSUねっと・・・・・・・・・・・・187
ピア・ツー・ピア・・・・・・・・・・・・188
IPNET・・・・・・・・・・・・188
IP多機能電話機・・・・・・・・・・・・188
停電のとき ・・・・・・・・・・・・189

8. ご参考に

故障！とお考えになる前に ・・・・・・・・・・・・192
アフターサービスについて ・・・・・・・・・・・・193

1.ご利用 いただく前に

1
ご利用いただく
前に

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

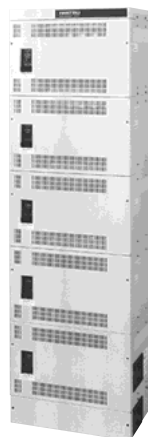
8
ご参考に

システムの構成

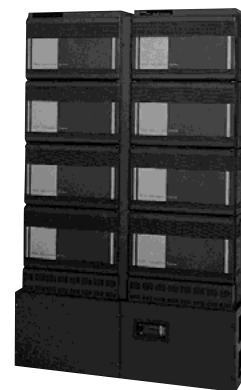
システムコントローラー（主装置）



IX-R (1段)



IX-R (5段)



IX-450

多機能電話機



標準タイプ（漢字電話帳付）
24KTDXW



カナ数字ディスプレイタイプ
12KTD-R



ディスプレイなしタイプ
12KTS-R



カナ数字ディスプレイタイプ
増設キー付12KTD-R



ディスプレイなしタイプ
増設キー付12KTS-R



IP多機能電話機



簡易タイプ（8ラインキー）
VTM

コードレス電話機



オプション



2. 多機能電話機

これらのキーは、電話帳機能を使用する際に扱うキーとなります。詳細な説明は、別紙『電話帳付ボタン電話機 操作マニュアル』を参照ください。

スピーカ

フックスイッチ

受話器

受話器コード
(カールコード)

スピーカボリューム

スピーカの音量を調節できます。「+」を押すごとに大きくなり、「-」を押すごとに小さくなります。

機能ボタン

ダイヤルボタンとの組み合わせにより、豊富な機能を行うことができます。

大型着信ランプ/ボイスメールメッセージランプ

ディスプレイ

時刻、ダイヤルした電話番号、通話料金などを表示します。

フレキシブルボタン

フレキシブルボタン登録により、各種機能を割り当てることができ、操作をワンタッチで行うことができます。これら8個のボタンには赤色のLEDが付いています。

フレキシブルボタン

これらのボタンには、赤色と緑色のLEDが付いていますので外線ボタンなどとして使用します。上記の各種機能ボタンとしても使用できます。フレキシブルボタン登録により割り当てます。

ミュートボタン

こちら側の音声を通話相手に送りたくないときに使います。一度押すとミュート状態になり、もう一度押すと解除されて音声を送ることができます。ミュート中は赤ランプが点滅します。

着信音量調節

外線着信音などの着信音量を調節できます。押すごとに小→中→大→特大→小…に切り替わります。

受話器ボリューム

受話器の受話音量を調節できます。押すごとに小→中→大→小…に切り替わります。

ダイヤルボタン

保留ボタン

通話相手にお待ちいただくときに使います。

スピーカボタン

受話器を置いたまま発信するときなどに使います。

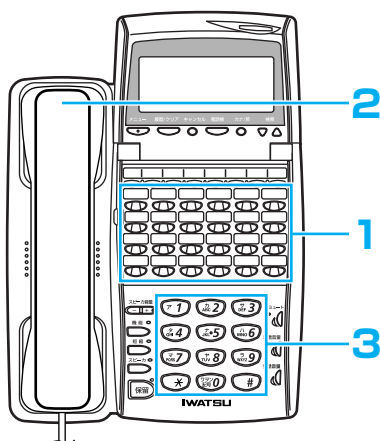
短縮ボタン

短縮ダイヤルの登録および発信などに使います。

※接続していただく多機能電話機のタイプにより、ディスプレイの表示位置、キー配置、ランプ位置が多少異なりますので、ご注意ください。

オプション マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

外へ電話をかけるとき〈外線発信〉



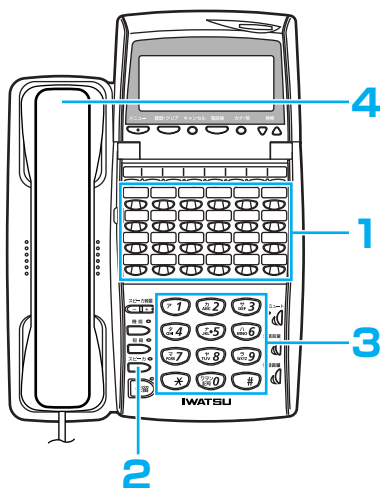
受話器を取ってかけるとき〈一般発信〉

- 1 空いている「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順 (2) → (1) の順でもかかります。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながり、お話しができます。

Note

- 一般回線では、ダイヤルすることにダイヤル信号を送出するのに対して、ISDN回線では「#」ボタンを押した時点でダイヤルをまとめて送出します。
- 「#」ボタンを押さなかったときは、約10秒後に自動的にそれまでのダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は、データ設定により変更できます。
- 通話相手もISDN回線で、サブアドレスが設定されている電話にかけるときは、手順 (3) のあとに、「*」ボタンとサブアドレスをダイヤルし、手順 (4) を行ってください。「*」ボタンは、サブアドレスへの切り替えを意味します。
- 「外線」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

受話器を置いたままかけるとき〈オンフックダイヤル〉

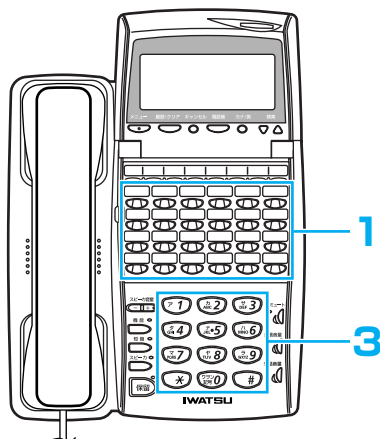


- 1 空いている「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 「スピーカ」ボタンを押します。
電話機のスピーカから「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順 (2) → (1) の順でもかかります。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。
- 4 相手の声がスピーカから聞こえたら、受話器を取り上げお話しします。

Note

- 国際自動即時発信外線、ファクシミリ専用外線を指定して発信することもできます。
- 設定により外線発信ができない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 一般回線では、ダイヤルすることにダイヤル信号を送出するのに対して、ISDN回線では「#」ボタンを押した時点でダイヤルをまとめて送出します。
- 「#」ボタンを押さなかったときは、約10秒後に自動的にそれまでのダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は、データ設定により変更できます。
- 通話相手もISDN回線で、サブアドレスが設定されている電話にかけるときは、手順 (3) のあとに、「*」ボタンとサブアドレスをダイヤルし、手順 (4) を行ってください。「*」ボタンは、サブアドレスへの切り替えを意味します。
- 「外線」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ダイヤル途中で電話番号を間違えたとき〈ロングフラッシュ〉



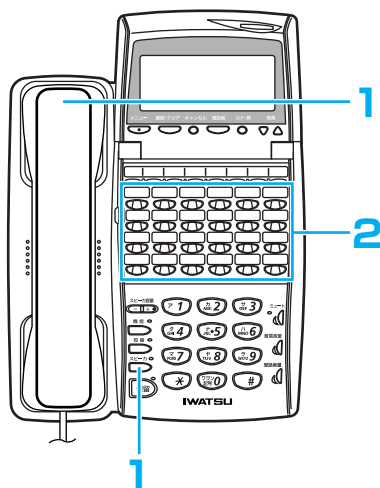
- 1 ダイヤルの途中で「フック」ボタン（または「機能」 + 「1」「1」ボタン）を押します。
- 2 発信状態に戻ります。
「ツー」という発信音が聞こえます。
- 3 ダイヤルし直します。



Note

「フック」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

最後に電話した相手に再びかけ直すとき〈ラストナンバリダイヤル〉



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「再発信」ボタン（または「短縮」 + 「#」ボタン）を押します（内線から外線にかける場合）。
※外線を指定してかける場合は「外線」、「再発信」ボタンの順に押します。
- 3 最後にかけた相手の電話番号が自動的にダイヤルされ、相手につながります。
ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。

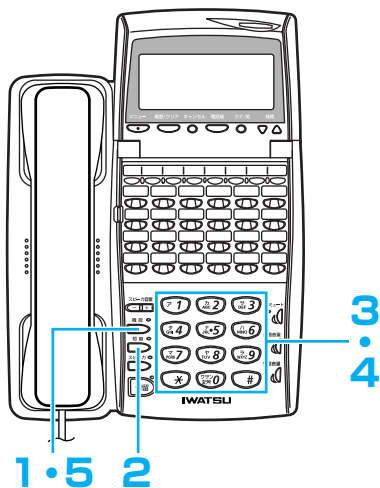


Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線発信および転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象にはなりません。
- 外線を指定せずに発信し、該当する外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。
- 「再発信」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

短縮ダイヤルを利用するとき

相手先の電話番号の登録方法



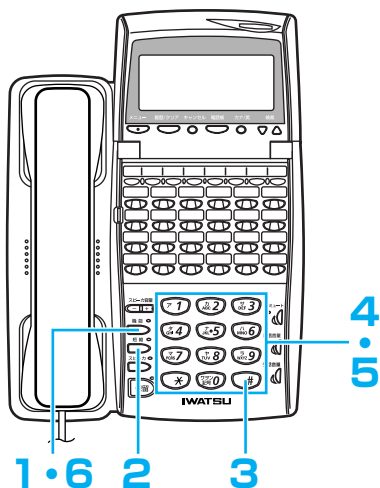
連続して短縮ダイヤル

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号（00～89、90～99）を押します。
※Noteをご参照ください。
- 4 相手の電話番号を押します。
※以下の登録もできます。
 1. ダイヤルするまでの待ち時間（ポーズ時間）
「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン（ポーズの秒数）を押します。
 2. プッシュホンサービスの番号
「保留」、「＊」ボタンを押し、続けてプッシュ番号を押します。
 3. 他の短縮ダイヤル
「保留」、「短縮」ボタンを押し、続けて他の短縮番号を押します。
- 5 「機能」ボタンを押します。

Note

- システム全体の共通短縮番号（000～899（初期は00～89）は、中継台、簡易中継台、システム電話機（親機）からデータ設定により、登録できます。
- 個別短縮番号（90～99）は、電話機ごとに登録できます。
- 1つの短縮番号には、32桁以内のダイヤルと10桁以内の文字が登録できます。
- ISDN回線で短縮ダイヤルを利用するときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

外線グループ番号も含めた登録



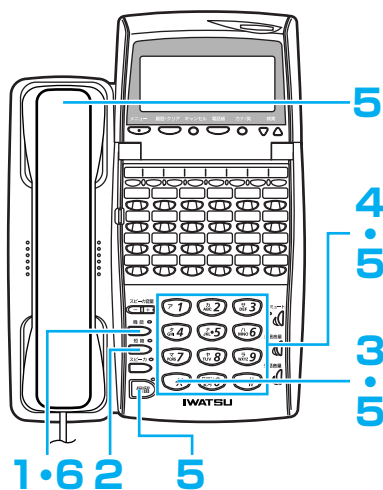
連続して短縮ダイヤル

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89、90～99）を押します。
- 5 使用する外線グループ番号（01～40）を押します。
※外線グループ番号（41～60）は、会議室グループ番号として使用しますので、外線グループ番号（01～40）の範囲で登録してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

Note

使用できる外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

相手先名の登録方法



- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89、90～99）を押します。
- 5 相手先名（10文字以内）を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、「保留」ボタンで確定します。
 3. 再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
 4. 入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

登録を変更するとき

上記の「相手先名の登録方法」の手順（1）～（6）を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き替えられます。



Note

一度登録した内容は消去できませんので、他のダイヤルを上書きしてください。なお、消去が必要な場合はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

文字対応表

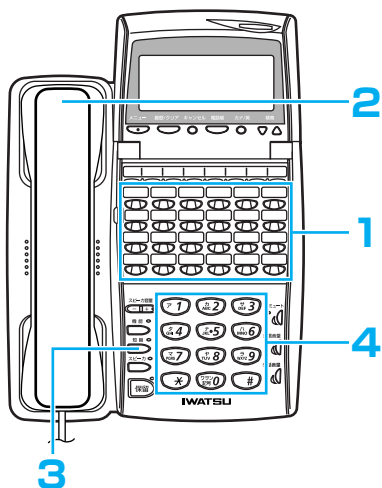
数字（0～9）を押すごとに、対応する表示文字が変わります。例えば、英数字モードのとき「2」ボタンを押すと、「A→B→C→2」の順に、カタカナモードのとき「2」ボタンを押すと「カ→キ→ク→ケ→コ→2」の順に表示が変わります。

ABC2	カキクケコ2
1 (1) (2) (3) DEF3	アイウエオ1 (1) (2) (3) サシスセソ3
JKL5	ナニヌネノ5
GHI4 (4) (5) (6) MNO6	タチツテト4 (4) (5) (6) ハヒフヘホ6
TUV8	ヤユヨ8
PQRS7 (7) (8) (9) WXYZ9	マミムメモ7 (7) (8) (9) ラリルレロ9
-.口&0	ワラン ` -0
カタカナモードへの切り替え (X) (0) (#) 大文字/小文字切り替え	英数字モードへの切り替え (X) (0) (#) 大文字/小文字(アフリック)の切り替え

※口は、スペースです。

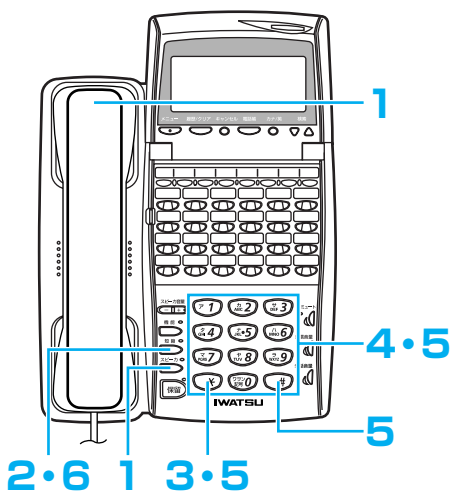
短縮ダイヤルを利用するとき

かける方法



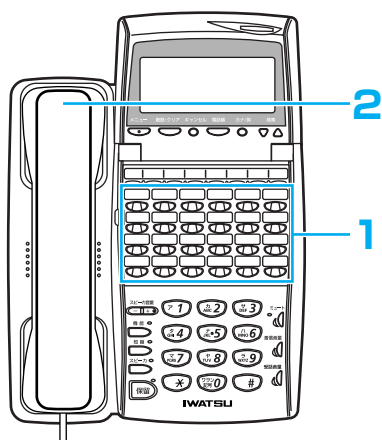
- 1 空いている「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
「ツー」という発信音が聞こえます。
※手順(2) → (1)の順でもかかります。
- 3 「短縮」ボタンを押します。
- 4 相手の短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と相手先名が表示されます。

相手先を確認してからかけるとき〈スクロール発信〉



- 1 受話器を上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録してある短縮番号をダイヤルします。
ディスプレイには登録されている電話番号と、相手先名が表示されます。
- 5 短縮番号が間違えていたら、「*」または「#」ボタンを押し、かけたい短縮番号を探します。
※「*」ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、「#」ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。
- 6 「短縮」ボタンを押します。
登録されている電話番号がダイヤルされます。

応答しない相手に何度もかけ直すとき〈オートリピートダイヤル〉



1 相手が出ないか通話中のとき、「リピート」ボタンを押します。

オートリピートする電話番号が登録されます。
 ※記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
 ※内線から外線にかけるときの外線アクセス番号、外線グループ番号も登録対象となります。
 ※記憶できる電話番号は、電話機ごとに1つです。登録操作を行うと、既存の登録番号は消去されます。

2 受話器を置きます。

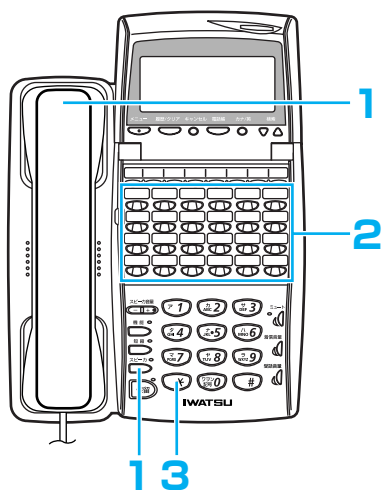
3 登録された相手に再ダイヤルされます。

※電話機のスピーカで呼び出し状態を確認できます。

Note

「リピート」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。再ダイヤル間隔、呼び出し時間、再ダイヤル回数が設定できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オートリピートダイヤルの解除方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 内線発信状態で「リピート」ボタンを押します。

3 「*」ボタンを押します。 ※解除が完了すると確認音が聞こえます。

さらに便利な使い方

- ダイヤル番号の確認してから電話をかけることができます。〈プリセットダイヤル〉33ページ
- 電話をかけるときの操作を省略することができます。〈クイックオペレーション〉37ページ
- 3人または4人で通話することができます。〈外線会議通話〉〈複数外線会議通話〉〈外線間会議通話〉 40、41、42ページ
- 空いている外線を自動的に探すことができます。〈外線グループ発信〉〈空外線自動捕捉〉45、46ページ
- 外線の使用予約をすることができます。
 〈プリセクション〉〈トランクキューイング〉〈タイムドトランクキューイング〉44、49、50ページ
- 電話中の相手に自動的にかけ直すことができます。〈セーブナンバリダイヤル〉〈メモダイヤル〉47、48ページ
- 回線事業者を選択して電話することができます。〈ACR発信〉51ページ
- ダイヤルしないで特定の相手先に自動的に発信できます。〈外線自動発信〉51ページ
- 回転ダイヤル式回線でプッシュ信号が使えます。〈ダイヤルリバース〉50ページ
- 「ダイヤル」ボタンが押されているか音で確認できます。〈キータッチトーン〉66ページ
- パスワードで外線の無断使用を規制できます。〈電話機パスワード〉54ページ

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き
多機能電話機

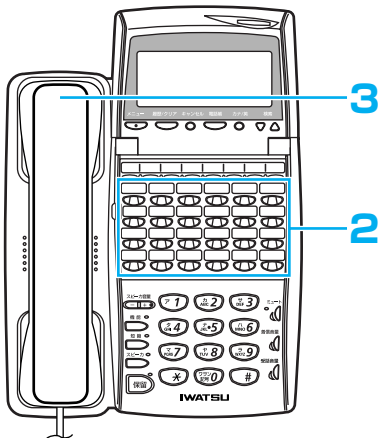
5 中継台(ATT)

6 ISDN

7 システム機能

8 ご参考に

外からの電話を受けるとき〈外線着信〉



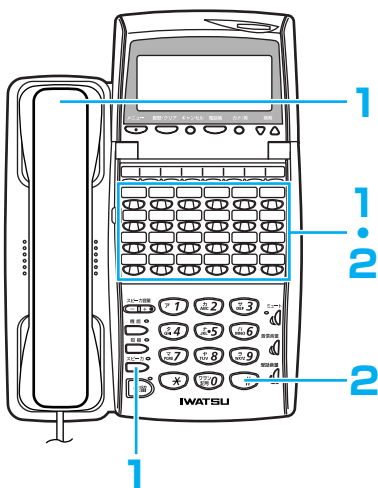
- 1 着信音が鳴ります。
着信している「外線」ボタンと大型着信ランプが、赤色に点滅します。
※着信音を止めている場合でも、「外線」ボタンは点滅します。
- 2 赤色に点滅している「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色に変わります。
- 3 受話器を取り上げます。
- 4 お話します。

さらに便利な使い方

- 「外線」ボタンを押さずに応答できます。〈外線着信自動応答〉46ページ
- 通話中でも他からの呼出音を鳴らすことができます。〈話中着信〉37ページ
- 鳴り方で外線を区別できます。〈外線着信信号識別／外線別着信音色指定〉52ページ
- 鳴音している電話機の着信を他の電話機で応答するとき。〈着信代理応答〉53ページ
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉59ページ
- 受話器を置いたまま外線とお話できます。〈ビルトインスピーカホン〉53ページ
- 着信音、受話音を調節できます。〈電子ボリューム〉66ページ

呼び返し発信

外線着信で記録された発信者番号に対し電話をかけることができます。

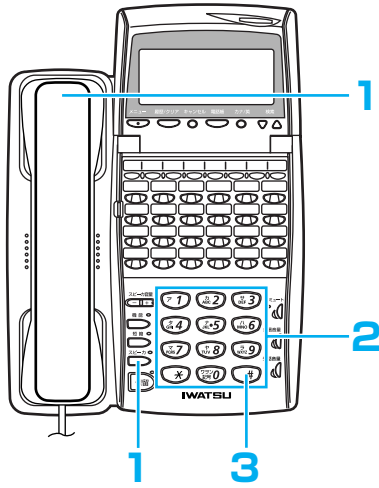


- 1 受話器を取り上げるか、「スピーカ」、「呼び返し」ボタンの順に押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
記録された発信者番号をディスプレイで確認します。
- 2 「呼び返し」ボタンを押します。
相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。
※ISDN回線のときには、最後に「#」ボタンを押します。
- 3 相手が応答したら、お話します。

Note

- 「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- アナログ回線のときはNTTのナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。
- 相手が非通知発信の場合は対象になりません。

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉



音または声による呼び出し〈内線トーン呼び出し/内線音声呼び出し〉

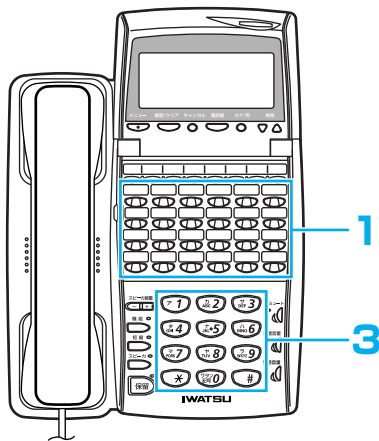
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
※ワンタッチで発信できる「DSS」ボタンに内線番号を登録できます。
- 3 声で呼び出す場合は、「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
- 4 相手が応答したら、お話しします。
※受話器を置いた状態の場合は、取り上げてお話しします。



Note

- 電話機の内線番号状態は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線着信時でも内線を優先して使用したい場合には、「内線」ボタンを押して使用することができます。
- 内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定することができます。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「DSS」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ダイヤル途中で内線番号をかけ直すとき〈ロングフラッシュ〉



- 1 そのままの状態です「フック」ボタン（または「機能」＋「1」「1」ボタン）を押します。
- 2 発信状態に戻ります。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 3 ダイヤルし直します。



Note

- 「フック」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

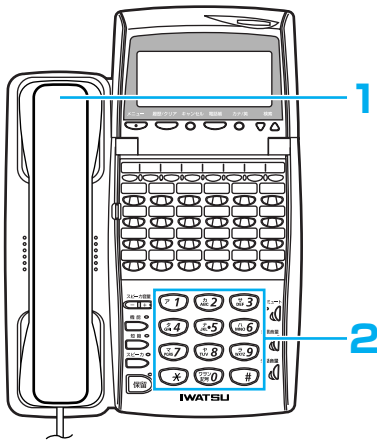
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉

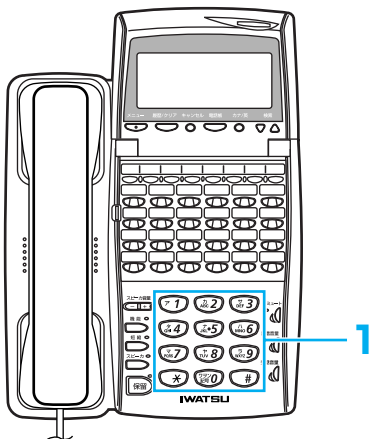


- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。
※内線グループごとの代表番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 3 内線グループ内の空いている電話機を呼び出します。
- 4 お話します。

Note

- 内線グループは最大50グループ以内、1グループの電話機は最大32台以内です。
- フレキシブルボタンへの登録により、ワンタッチで代表番号を発信できる「内線代表」ボタンを登録できます。

相手が通話中か応答がなく、続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉



- 1 そのままの状態でご該当するボタンを押します。
 - クリアコールの場合
→別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
 - シフトコールの場合
→最初にダイヤルした内線番号の下一桁をダイヤルします。
- 2 お話します。

Note

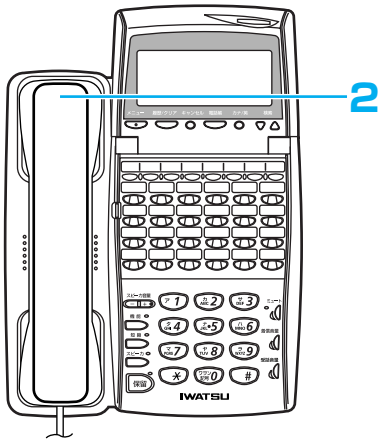
- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- クリアコールとシフトコールは両方を登録することはできません。

さらに便利な使い方

- 空いている内線を自動的に探すことができます。〈空内線自動捕捉〉55ページ
- 通話中の他の電話機に割り込んで通話することができます。〈バージ・イン〉42ページ
- 他の電話機の通話内容を聞くことができます。〈通話モニタ〉39ページ
- 電話機、および外部スピーカ（ドアホンなど）を一斉に呼び出すことができます。〈一斉呼び出し〉55ページ
- グループ分けした電話機のみを一斉に呼び出すことができます。〈グループ呼び出し〉55ページ
- 外部スピーカを一斉に呼び出すことができます。〈ページング呼び出し〉55ページ
- ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。〈内線ホットライン〉56ページ
- 通話中の内線の、通話が終了したことを知ることができます。〈内線コールバック〉57ページ
- 着信拒否や通話中の内線を強制的に呼び出すことができます。〈オーバーライド〉58ページ
- 連絡を待っている内線に自動的にダイヤルできます。〈メッセージウェイト〉64ページ
- ドアホンを呼び出すことができます。〈ドアホン接続〉66ページ
- 内線どうしの3人または4人で通話することができます。〈内線会議通話〉43ページ

内部からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉

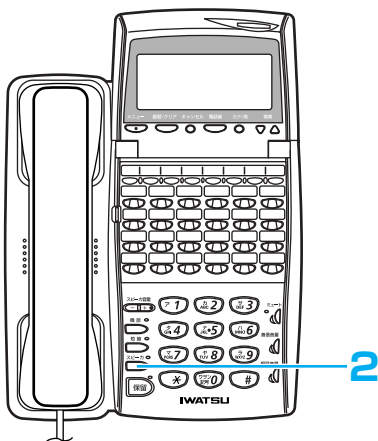
受話器を取り上げて応答するとき〈内線自動応答〉



- 1 「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
着信している「内線」ボタンと大型着信ランプが、赤色に点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

受話器を置いたまま応答するとき オプション

「スピーカ」ボタンによる自動応答は、スピーカホンユニットの内蔵が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。



- 1 「トゥルトゥルトゥル」という呼出音が鳴ります。
着信している「内線」ボタンと大型着信ランプが、赤色に点滅します。
- 2 「スピーカ」ボタンを押します。
※あらかじめマイクをONにしておいてください。マイクのON操作は、「マイク」ボタン（または「機能」+「6」「1」ボタン）を押します。
- 3 お話しします。



Note

- 「内線」ボタンを押さないと応答できない設定もできます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

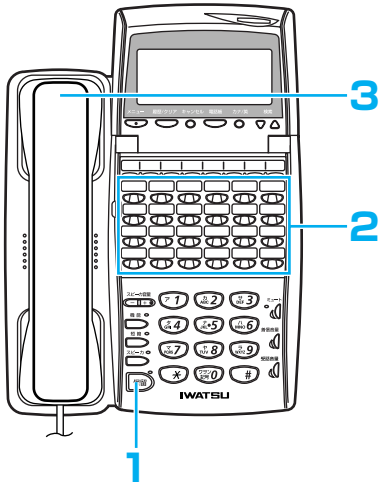
さらに便利な使い方

- 忙しいときに、着信拒否を行うことができます。〈ドント・ディスターブ (DND)〉38ページ
- 通話中に他の電話機からの割り込みを許可することができます。〈秘話／秘話解除〉39ページ
- 音声で呼ばれたとき受話器を取り上げずに応答することができます。〈内線ハンズフリー応答〉58ページ
- 電話機のスピーカまたは外部スピーカの呼び出しに応答することができます。〈ミーティング・ミー対応〉56ページ
- 不在中または通話中の場合に、指定した電話機へ転送することができます。
〈不在転送／話中転送／未応答転送〉59、60ページ
- 設定した時刻に電話機を鳴らすことができます。〈モーニングコール〉〈タイムコール〉62、63ページ
- 不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます。〈不在メッセージ〉65ページ

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉

外線の保留／再びお話しするとき〈外線保留／応答〉

●外線の保留 〈外線保留〉

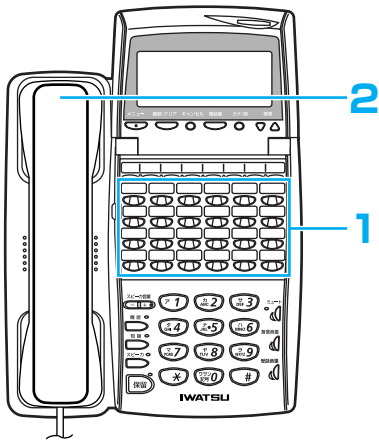


1 そのままの状態です。「保留」ボタンを押します。

2 保留状態になります。
「外線」ボタンが緑色でゆっくり点滅します。
※他の電話機では「外線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。

3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が登録時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴ります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●保留していた外線への応答 〈保留外線応答〉



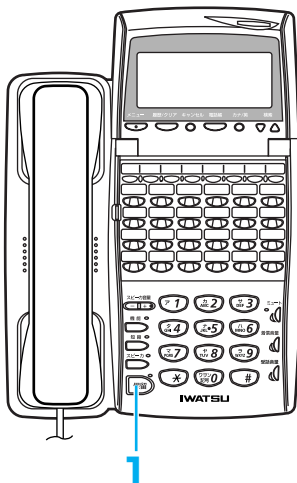
1 保留中の「外線」ボタンを押します。
「外線」ボタンが緑色で、ゆっくり点滅します。
※他の電話機では、「外線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

内線の保留／再びお話しするとき 〈内線保留／応答〉

●内線の保留 〈内線保留〉



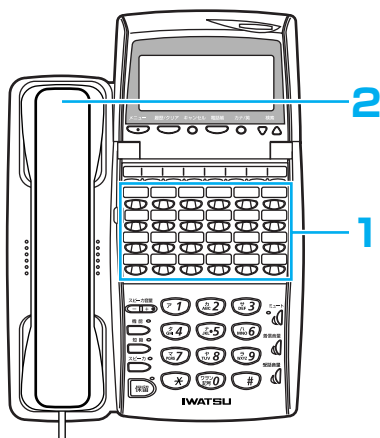
1 そのままの状態です。「保留」ボタンを押します。
※会議通話中（3人で通話中）でも保留できます。

2 保留状態になります。
保留中は受話器を置いても内線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。

(次ページへ続く)

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉

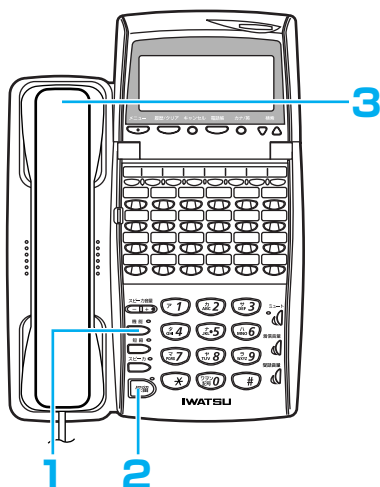
(前ページの続き)



●内線の保留応答〈内線応答〉

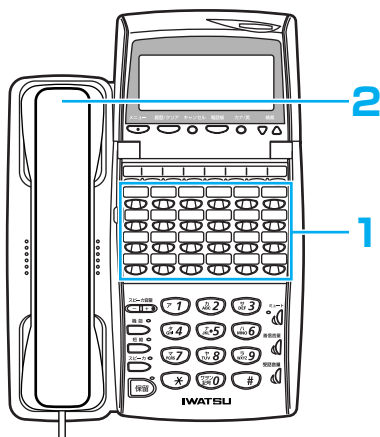
- 1 「内線」 ボタンを押します。
保留中の「内線」ボタンが赤色でゆっくり点滅します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

保留した外線を他の人が受けないようにするとき〈外線自己保留〉



- 1 そのままの状態ですべて「機能」ボタンを押します。
通話中は、「外線」ボタンが緑色で点滅します。
- 2 「保留」ボタンを押します。
「外線」ボタンの緑色の点滅が、ゆっくりになります。
※自己保留した外線は、他の電話機では「外線」ボタンが赤色で点灯し、応答できません。
- 3 受話器を置きます。
保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また、相手には保留音のみが聞こえます。
※自己保留制限時間と保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブブブブ」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能となります。

「外線」ボタンを選択せずに自動的に応答する方法〈保留外線自動応答〉



- 1 「保留外線自動応答」ボタンを押します。
最後に保留した外線が自動的に捕捉されます。
※保留中の外線がある場合は、最後に保留した外線より優先されます。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

Note

「保留外線自動応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話を他の人に回すとき〈外線転送〉

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

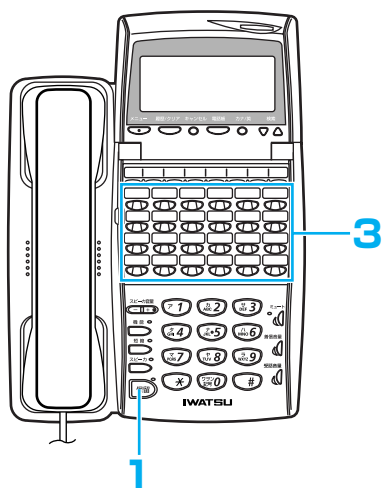
5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

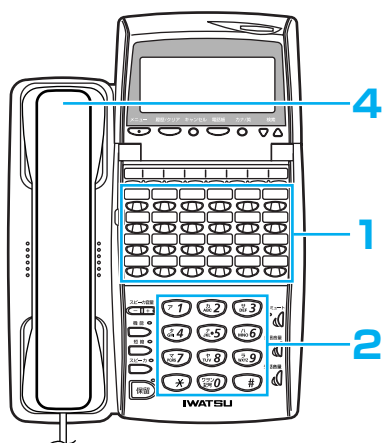
8
ご参考に

近くの人に声をかけて回すとき〈保留転送〉



- 1 そのままの状態です。「保留」ボタンを押します。
- 2 「〇〇さん、××番に電話です」のように呼びかけます。
- 3 呼ばれた人は、該当する××番の「外線」ボタンを押し、お話しします。

特定の内線電話機に回すとき〈外線自動転送/転送キャンペーン〉



- 1 そのままの状態です。「転送」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発着音に切り替わります。
- 2 転送先の内線番号をダイヤルします。
※専用線に転送する場合は、専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。
※強制的に転送する場合(転送キャンペーン)は、そのあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。このとき該当する「外線」ボタンが、赤色で1秒間隔で点滅します。データ設定により、あらかじめ登録されているキャンペーン監視時間を経過しても、転送先が応答していない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。
- 3 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。
※転送できない場合は、「転送」ボタンを再び押し、保留した外線に応答できます。
- 4 受話器を置きます。
転送された人は、そのままお話しします。
※受話器を置く代わりに「接続」ボタンを押して転送することができます。

Note

- あらかじめ「DSS」ボタン、「内線代表」ボタンのどちらかが登録されている場合は、手順(1)～(3)の操作の代わりに、これらのボタンを使用できます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- データ設定により、あらかじめ内線グループ分けで保留中の外線が外線応答規制に登録されている電話機には転送できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 強制的に転送した場合、一定時間内に相手が出られない時はリコール(再呼び)になります。

「機能」 ボタンの使い方

以下の機能は工事によって設定する必要があるものです。

データ設定がされているかどうかは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■多機能電話機のさらに便利な使い方

「機能」 ボタンと「0」～「9」のダイヤルボタン、「＊」、「＃」ボタンを組み合わせ、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

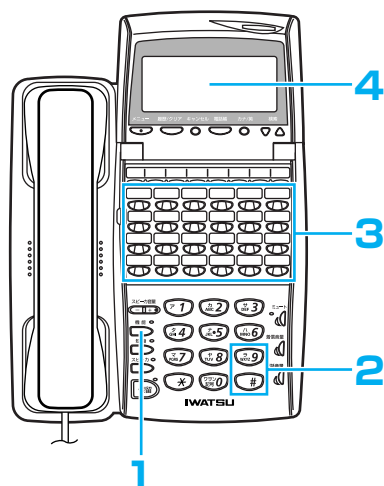
操 作	機能の名称	用 途	参照ページ
「機能」 「1」 「1」	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直しするときに使用します	17、23
「機能」 「1」 「2」	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	—
「機能」 「1」 「3」	ダイヤルリバース（ブッシュ）	ブッシュ信号を送出できます	50
「機能」 「1」 「4」	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます	39
「機能」 「2」 「1」	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ、再びかけ直すことができます	47
「機能」 「2」 「2」	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ、かけ直すことができます	48
「機能」 「2」 「3」	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	49
「機能」 「2」 「4」	外線時間予約 （タイムドトランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます	50
「機能」 「3」 「1」	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	53
「機能」 「3」 「2」	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	53
「機能」 「3」 「3」	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます	53
「機能」 「3」 「4」	パーク応答 （コールパークピックアップ）	パーク保留に応答するときに使用します	35
「機能」 「3」 「5」	ページ応答（ミート・ミー応答）	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します	56
「機能」 「4」 「1」	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	63
「機能」 「4」 「2」	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	62
「機能」 「4」 「3」	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	57
「機能」 「4」 「4」	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	54
「機能」 「4」 「5」	伝言再生（音声案内）	音声メッセージを再生します	182
「機能」 「6」 「1」	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます	26、53、58
「機能」 「6」 「2」	BGM	スピーカからBGMを流します	181
「機能」 「6」 「3」	LCD表示切り替え	ディスプレイの表示内容を切り替えることができます	69
「機能」 「6」 「4」	時刻調整	時刻の調整を行うことができます	142
「機能」 「6」 「5」	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	23
「機能」 「7」 「1」	通話料金表示（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します	74
「機能」 「7」 「2」	通話料金表示（本日分）	当日分の料金を表示します	74
「機能」 「7」 「3」	通話料金表示（今月分）	当月分の料金を表示します	74
「機能」 「7」 「4」	通話料金表示（先月分）	先月分の料金を表示します	75
「機能」 「7」 「5」	グループ予算額設定、 グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	75
「機能」 「9」 「9」	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します	73
「機能」 「＃」 「9」	ボタン案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます	31

フレキシブルボタンアサイン

データ設定により、あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに各種機能を登録することによって、ワンタッチ操作で豊富な機能を活用できます。

どのように登録されているか（登録内容）は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

フレキシブルボタンの機能内容を確認するとき（ボタン案内）



- 1 「機能」 ボタンを押します。
- 2 「#」「9」 ボタンを押します。
- 3 機能内容を確認したいフレキシブルボタンを押します。
- 4 設定された機能内容が、約10秒間ディスプレイに表示されます。

■ 設定可能な機能一覧

あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに割り付けることができる主な機能は、以下のものです。

ボタンにつける名称	機能の名称	用途	参照ページ
外線	外線	外線を発信するときに使用します	16
グループパーク	グループパーク保留	システムパーク保留を行うときに使用します	36
索線	索線	外線を発信するときに使用します（外線グループ番号を指定します）	45
索線番号	索線番号	外線を発信するときに使用します	45
内線番号	ワンタッチ内線個別呼び出し	電話機を個別に呼び出すことができます	—
内線代表	内線代表呼び	部署などの内線グループごとにより呼び出すことができます	24
ページンググループ	一斉呼び出し（グループページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	55
外線応答	外線応答	外線キーを選ばずに応答できます	46
内線呼返し	内線コールバック	通話中の内線通話が終了したことをお知らせします	57
不在メッセージ	不在メッセージ	不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます	65
会議	会議通話	3人または4人で通話できます	40
BGM	バックグラウンドミュージック（BGM）	スピーカからBGMを流します	181
外線予約	外線予約（トランクキューイング）	外線の使用予約ができます	49
個別代理応答	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして、代わりに応答できます	53
転送電話	転送電話1～4	着信した外線を転送します	166
表示切替	LCD表示切り替え	ディスプレイ表示内容を切り替えることができます	69
機能	機能	各種機能が活用できます	30
不在転送	不在転送	不在中にかかってきた電話を指定した電話へ転送できます	59
個別短縮	個別短縮ダイヤル	電話機毎に90～99の短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	18
共通短縮	共通短縮ダイヤル	システム全体で000～899、または00～89の短縮ダイヤルを、ワンタッチで発信できます	18
フック	ロングフラッシュ（フック）	ダイヤル途中でかけ直すときに使用します	17

（次ページへ続く）

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

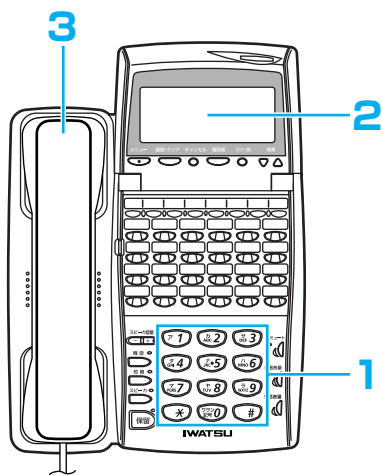
フレキシブルボタンアサイン

(前ページの続き)

ボタンにつける名称	機能の名称	用途	参照ページ
グループ外代理応答	グループ外代理応答	他の外線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	53
内線	内線	内線を捕捉します	23
パスワード	電話機パスワード	外線の発信規制ができます	54
一斉	一斉呼び出し（ページング）	電話機を一斉に呼び出すことができます	55
モーニングコール	モーニングコール	設定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します	62
ページ応答	ミーティング・ミー応答	スピーカ呼び出しに回答するときに使用します	56
メモダイヤル	メモダイヤル	通話中に別の電話番号を記憶させ再びかけ直すことができます	48
マイク	マイク	マイクのON・OFFの切り替えを行うことができます	58
伝言	伝言（メッセージウェイト）	不在中、または通話中の相手に折り返し連絡してほしいときに使用します	64
モニタ	通話モニタ	他の電話機の通話内容を聞くことができます	39
強制呼出	強制呼出し（オーバーライド）	応答しない電話機（着信拒否／話中）を強制的に呼び出します	58
個別パーク	個別パーク保留	保留した外線を他の人がとらないようにできます	34
グループ代理応答	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機で応答できます	53
パーク応答	パーク応答（コールパークピックアップ）	パーク保留に回答するときに使用します	35
プッシュ	ダイヤルリバース（プッシュ）	プッシュ信号を送出できます	50
リピート	オートリピートダイヤル	自動的に繰り返し何度もかけ直すことができます	21
タイムコール	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします	63
リレー番号	リレーコントロール1～8	電話機から別のユニットの電源などをON・OFFできます	61
スピーカ	スピーカ	受話器を置いたまま発信・着信・応答状態になります	16
短縮	短縮	短縮ダイヤルがかけられます	18
ショートフック	ショートフラッシュ（ショートフック）	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します	—
セーブナンバ	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記憶させ再びかけ直すことができます	47
転送	転送	転送するときに使用します	29
外線時間予約	外線時間予約（タイムドランクキューイング）	指定時間後の外線使用予約ができます	50
音声案内	伝言再生（音声案内）	音声メッセージを再生します	182
内着モード切り替え	内着モード切り替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます	23
秘話解除	秘話解除	通話中の外線に割り込みができます	39
ドント・ディスターブ	ドント・ディスターブ	着信拒否ができます	38
使用率	グループ予算額設定、グループ使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します	75
保留	保留	保留状態にします	27
前回	通話料金（前回分）	前回通話した1回分の料金を表示します	74
本日	通話料金（本日分）	当日分の料金を表示します	74
今月	通話料金（今月分）	当月分の料金を表示します	74
先月	通話料金（先月分）	先月分の料金を表示します	75
LCR	LCR	回線事業者を自動選択します	51
保留外線自動応答	保留外線自動応答	受話器を上げずに保留した外線に回答できます	28
再発信	再発信（ラストナンバリダイヤル）	最後に発信した相手に再び発信できます	17
通話録音	通話録音	通話録音を行う／行わないを切り替えると共に、その状態を表示します	—
ボックス	ボックス	ボイスメールメッセージの再生を行うと共に、メッセージの有無を表示します	—

プリセットダイヤル

ディスプレイでダイヤル番号を確認してから電話する方法です。電話機が空き状態であることを確認してから操作してください。



Note

プリセットダイヤルを行うためには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1 受話器を置いた状態で、相手の電話番号または内線番号をダイヤルします。

※セットできる番号は32桁以内です。
 ※使用できるボタンは「0」～「9」、「*」、「#」ボタンのみです。
 ※外線接続のための待ち時間（ポーズ時間）も一緒に登録できます。登録は「保留」ボタンを押し、続けて該当する「1」～「9」ボタン（ポーズ時間1～9秒）を押します。

2 ディ스플레이にダイヤルした番号が表示されます。

※ダイヤルが間違えている場合は
 1. 訂正箇所まで「機能」ボタンを押して戻ります。
 （「機能」ボタンを押すたびに、末尾の番号が消えます）
 2. ダイヤルし直します。
 3. 「外線」ボタンまたは「内線」ボタンを押します。

3 受話器を取り上げます。

ディスプレイに表示されている番号が自動的にダイヤルされます。
 ※クイックオペレーションを使用することもできます。

4 相手とつながったら、お話しします。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSUユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

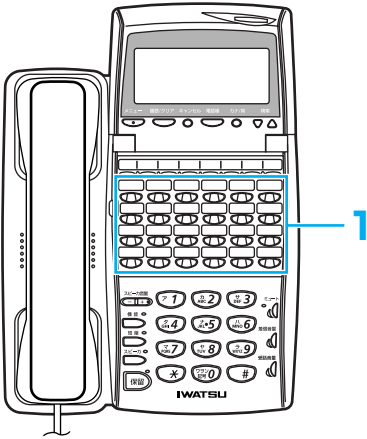
8
ご参考に

個別パーク保留／応答

個別パーク保留は、保留した電話を他の電話機で応答できないようにするものです。

個別パーク保留するとき

- 1 通話の状態で「個別パーク」ボタンを押します。
- 2 他の電話機では応答できなくなります。

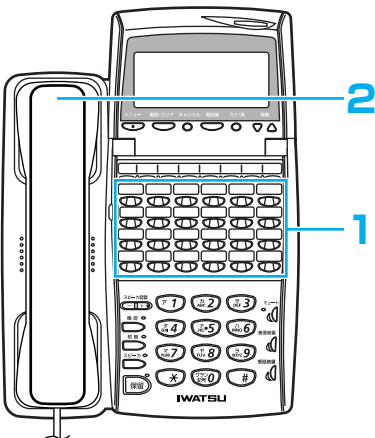


Note

- 電話機に登録できる「個別パーク」ボタンは1つだけです。
- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

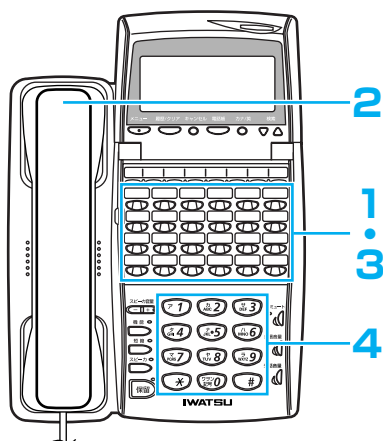
再び通話するとき

- 1 保留状態の「個別パーク」ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。



Note

「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

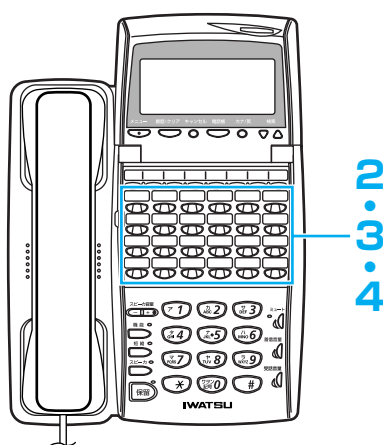


Note

「パーク応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

他の電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき

- 1 「内線」 ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 「パーク応答」ボタン（または「機能」 + 「3」「4」ボタン）を押します。
- 4 個別パーク保留した電話機の内線番号をダイヤルします。
- 5 お話します。



Note

- 手順 (2) ~ (5) の操作の後、「個別パーク」ボタンを押すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。
- 「個別パーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

個別パーク保留で通話相手を切り替えるとき

- 1 通話の状態ではから着信があると、「外線」ボタンまたは「内線」ボタンのランプが赤で点滅します。
- 2 「個別パーク」ボタンを押します。
通話中の外線、または内線が個別保留されます。
- 3 着信している他の「外線」または「内線」ボタンを押して応答します。
- 4 新規の相手と通話中に「個別パーク」ボタンを押します。
- 5 もとの通話相手とつながります。
新規の通話相手が個別パーク保留されます。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

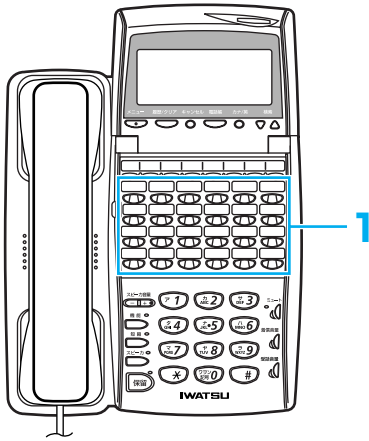
7
システム機能

8
ご参考に

グループパーク保留／応答

内線グループ単位の管理で、保留した電話を他の電話機で応答できないようにする方法です。

グループパーク保留を行うとき



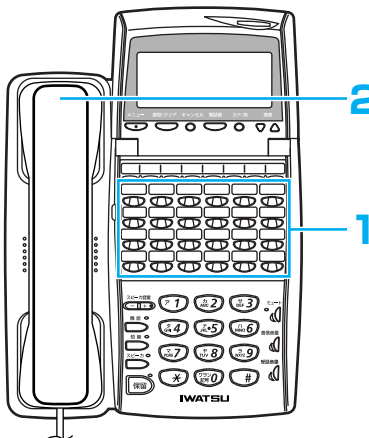
- 1 通話の状態、使用できる「グループパーク」ボタンを押します。
- 2 他の電話機から応答できなくなります。
※グループパーク保留した電話機以外の同じ内線グループ電話機では、該当する「グループパーク」ボタンが点滅しています。



Note

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 内線通話をグループパーク保留するときは、データ設定によりあらかじめ登録が必要です。

再び通話するとき



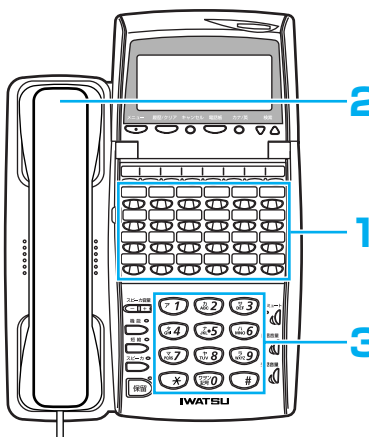
- 1 使用した「グループパーク」ボタンを押します。
※他の通話中に「グループパーク」ボタンを押しても、保留応答はできません。他の通話を終わってから、操作してください。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。



Note

- 「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

他の電話機から「リモート応答操作」で再び通話するとき



- 1 「内線」ボタンを押します。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 応答したい「グループパーク」ボタンに該当するパークオーバービット番号をダイヤルします。
- 4 お話しします。

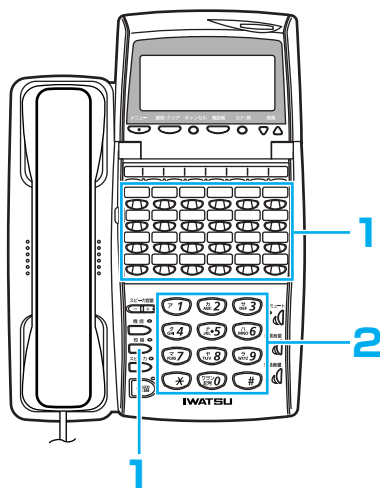


Note

- パークオーバービット番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

クイックオペレーション

電話をかけるときの操作を省略できます。



Note

各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 該当するボタンを押します。

スピーカから発信音が聞こえます。

- 外線を指定する場合
→「外線」ボタンを押します。
- 空いている外線を自動捕捉する場合
→「索線」ボタンを押します。
- 内線にかける場合
→「内線」ボタンを押します。
- 短縮ダイヤルする場合
→「短縮」ボタンを押します。

2 相手の電話番号または内線番号をダイヤルします。

※短縮の場合は、短縮番号をダイヤルします。

※「DSS」、「内線代表」、「セーブナンバー」、「再発信」ボタンを押した場合は、自動的にダイヤルされます。

話中着信

通話中に他の外線に着信があったときに、「ブルブルブル」という小さな着信音を鳴らすことができます。

Note

- 話中着信機能が登録されていない電話機では、通話中の着信音は鳴りません。
- 話中着信機能を付けたい電話機を、登録することもできます。
- FAX端末に対しては話中着信にしないでください。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

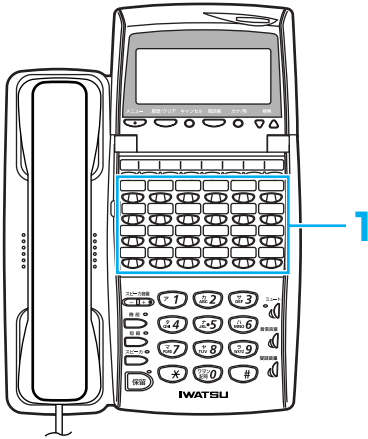
7
システム機能

8
ご参考に

ドント・ディスターブ (DND)

一時的に着信を拒否することができます。

設定方法



1 受話器を置いた状態で「ドント・ディスターブ」ボタンを押します。

「ドント・ディスターブ」ボタンが赤色に点灯し、着信拒否状態になります。

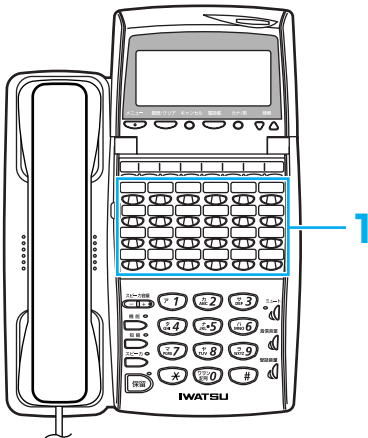
※設定の前に電話機が空き状態であることを確認してください。



Note

「ドント・ディスターブ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

解除方法



1 着信拒否中の「ドント・ディスターブ」ボタンを押します。

着信拒否中は「ドント・ディスターブ」ボタンが、赤色で点灯しています。

2 通常の状態になります。

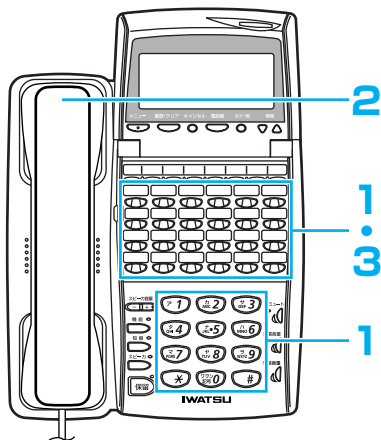


Note

- 着信拒否中でも、リコール、プライベートラインは、着信拒否できません。
- 着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「ブーブーブー」という着信拒否音が聞こえます。
- 着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。
- 「ドント・ディスターブ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話モニタ

他の電話機の通話内容を聞くことができます。



1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
→通話中の「外線」ボタンを押します。
- 内線の場合
→通話中の内線番号をダイヤルします。

2 受話器を取り上げます。

3 「モニタ」ボタンを押します。

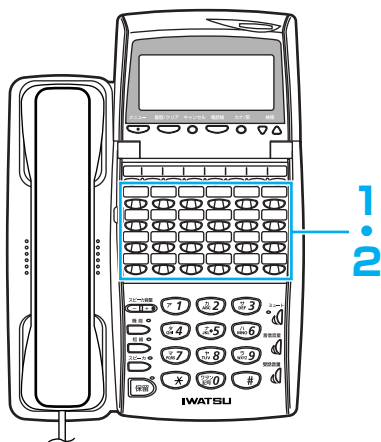
通話内容を聞くことができます。

Note

- モニタしている側の声は、相手に聞こえません。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線の通話は、モニタできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機の通話は、モニタできません。
- 4人による通話（会議）中の内容はモニタできません。
- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

秘話／秘話解除

通話状態の外線に、他の電話機からの割り込みを許可できます。秘話解除状態の外線は、通話終了後に秘話設定状態に戻ります。



秘話解除／秘話再設定

1 外線と通話の状態です「秘話解除」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話解除の状態となります。

2 再び「秘話解除」ボタン（または「機能」＋「1」「4」ボタン）を押します。

秘話設定の状態となります。

※「秘話解除」ボタンを押すごとに、秘話解除／秘話設定が切り替わります。

Note

「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き
多機能電話機

5 中継台（ATT）

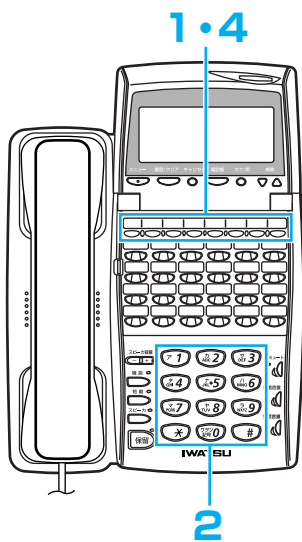
6 ISDN

7 システム機能

8 ご参考に

外線会議通話

外線と通話中に、他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話することができます。



4人で通話するとき

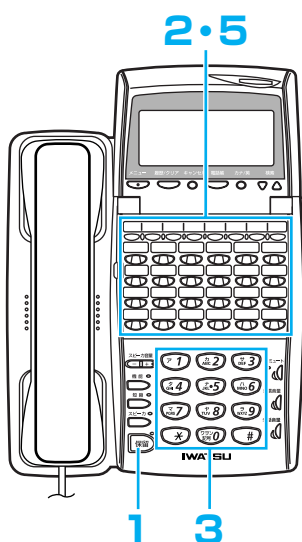
「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法

- 1 通話の状態ですべての「転送」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
※会議通話は合計4人まで参加できます。
- 4 内線通話の状態ですべての「会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定により、登録が必要です）。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（3）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
- 5 会議通話を始めます。

Note

- 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「転送」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法



4人で通話するとき

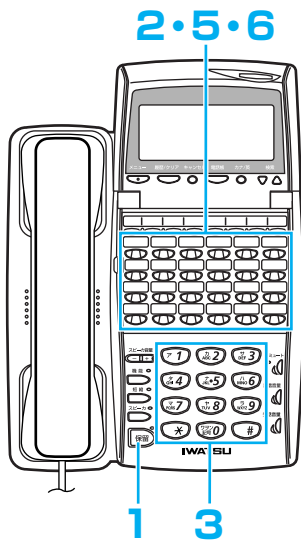
- 1 通話の状態ですべての「保留」ボタンを押します。
外線は共通保留になります。
- 2 「内線」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 3 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 5 内線通話の状態ですべての「秘話解除」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定により、登録が必要です）。
- 6 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（5）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

Note

- 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることができます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「転送」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

複数外線会議通話

外線と通話中に他の外線を呼び出して3人または4人で通話できます。



Note

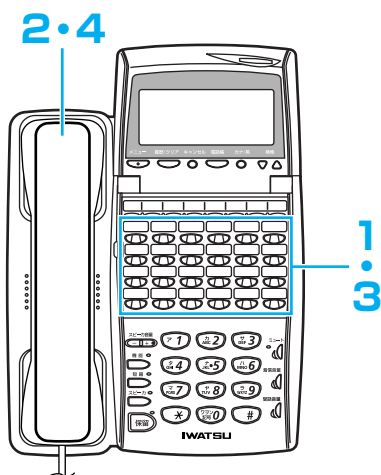
「外線」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線を会議通話に参加させるとき

- 1 通話の状態で「保留」ボタンを押します。
- 2 空いている「外線」ボタンを押します。
- 3 呼び出す相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 5 通話の状態で「会議」ボタンを押します。
- 6 上記手順(1)の操作で保留となった「外線」ボタンを押します。
- 7 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順(1)～(6)の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
 ※会議中に、さらに内線を呼び出す場合は、「転送」ボタンと「会議」ボタンによる内線呼び出しを行ってください。
 ※会議通話は合計4人まで参加できます。

4人で通話するとき

特定の外線を会議通話から解除するとき



Note

- 2外線、2内線で4人による通話をしている場合は、特定の外線を解除することはできません。
- 「外線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 通話を続けたい相手の「外線」ボタンを押します。
通話を続けたい相手の外線は保留状態になります。通話を切りたい相手の外線とは通話状態を維持します。
- 2 受話器をいったん戻します。
通話を切りたい相手の外線が切れます。
- 3 保留中の「外線」ボタンを押します。
※保留中の外線が2つある場合は、いずれか1つの「外線」ボタンを押します。
- 4 受話器を取り上げます。
- 5 お話します。

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き
多機能電話機

5 中継台(ATT)

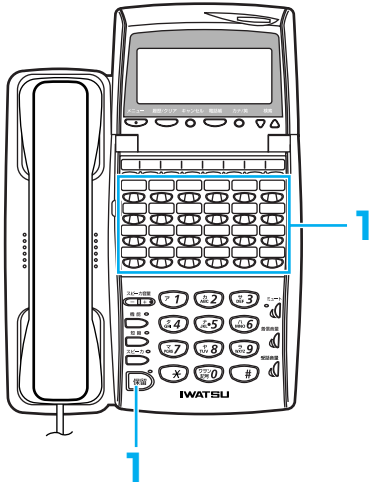
6 ISDN

7 システム機能

8 ご参考に

外線間会議通話

会議通話終了後に、外の人（外線） どうして通話していただけます。



1 複数外線会議通話の状態「保留」、「個別パーク」、「グループパーク」ボタンの1つを押します。

外線どうしは通話状態のままです。

2 外線どうしでお話しいただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

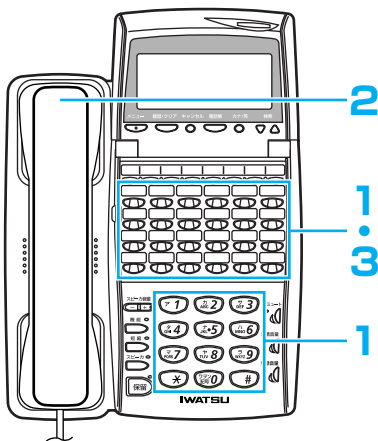
※外線どうし通話中に、該当するフレキシブルボタンを押すと、再び会議に参加できます。

Note

- ISDN回線でご使用になれます。
- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「個別パーク」、「グループパーク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- アナログ回線の場合は、オプションユニットが必要になります。

バージ・イン

通話中の他の電話機に割り込んで、3人または4人で通話することができます。



1 該当する通話を選択します。

- 外線の場合
→通話中の「外線」ボタンを押します。
- 内線の場合
→通話中の内線番号をダイヤルします。

2 受話器を取り上げます。

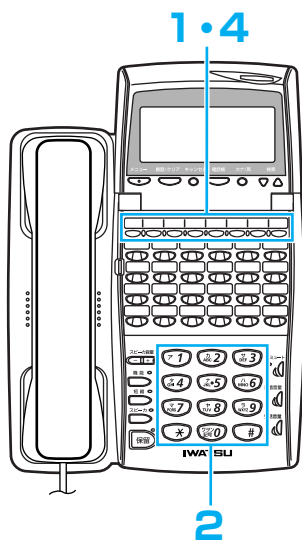
3 「会議」ボタンを押します。
3人で通話できます。

Note

- 割り込むとき通話中の相手に、「プー」という音で知らせます（データ設定により、あらかじめ登録が必要です）。
- バージ・インは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 内線グループ分けなどで外線応答規制されている外線への割り込みはできません。
- データ設定で保護（プロテクト）設定されている電話機への割り込みはできません。
- 4人による通話（会議）中には、割り込みはできません。
- 「外線」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線会議通話

内線通話中に他の内線を呼び出して、3人または4人で通話することができます。



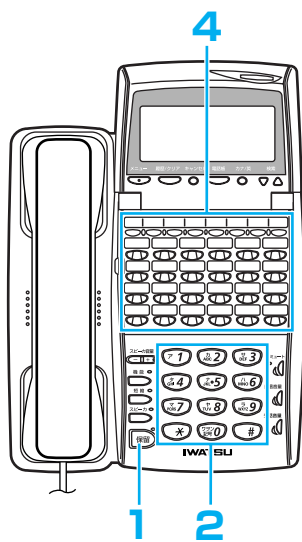
4人で通話するとき

「転送」ボタンと「会議」ボタンによる方法

- 1 内線通話の状態ですべての「転送」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線着信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべての「会議」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

Note

「転送」、「会議」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



4人で通話するとき

「保留」ボタンと「秘話解除」ボタンによる方法

- 1 内線通話の状態ですべての「保留」ボタンを押します。
内線保留になり、「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら、「会議に参加してください」のように連絡します。
- 4 そのままの状態ですべての「秘話解除」ボタンを押します。
会議通話の準備ができると、内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます（データ設定が必要です）。
- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している内線電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は、合計4人まで参加できます。

Note

「秘話解除」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

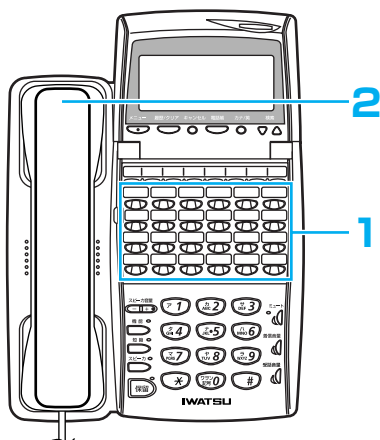
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

プリセレクション

受話器を取り上げる前に、外線または内線を予約できます。



1 フレキシブルボタンに登録してある以下のボタンの、いずれかを押します。

- 「内線番号」ボタン
- 「外線」ボタン
- 「索線」ボタン
- 「個別パーク」ボタン
- 「内線」ボタン
- 「外線応答番号」ボタン
- 「一斉」ボタン
- 「内線グループ番号」ボタン
- 「ゾーン番号」ボタン
- 「グループパーク」ボタン
- 「内線代表」ボタン

押したボタンが緑色で点滅し、外線、内線が予約されます。

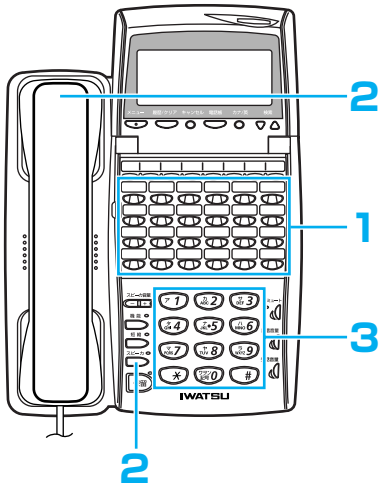
2 10秒以内に受話器を取り上げます。

予約した外線、内線につながります。

外線グループ発信

グループ（部署ごとなどで決められた発信外線）の中から空いている外線を自動的に探すことができます。

「索線番号」ボタンによる方法



1 使用するグループの「索線番号」ボタンを押します。

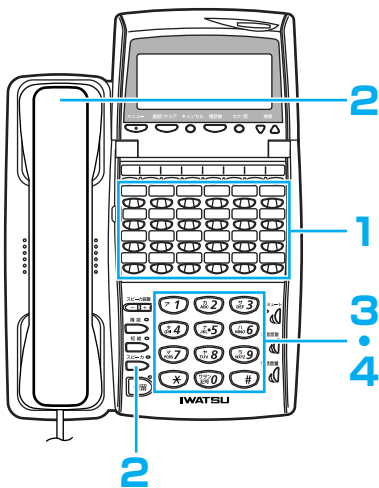
2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。
※グループ内のすべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話
中音が聞こえます。この場合は、しばらく待って再び、上記手順（1）
から操作してください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

4 お話します。

Note

「索線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



1 「索線」ボタンを押します。

2 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

3 使用する外線グループ番号をダイヤルします。
空いている外線を捕捉すると「ツー」という発信音が聞こえます。
※外線グループ番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割
り当てられる番号のことです。

4 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

5 お話します。

Note

- 「索線」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- 使用できる外線グループ番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSSTユニット付き

5
中継台（ATT）

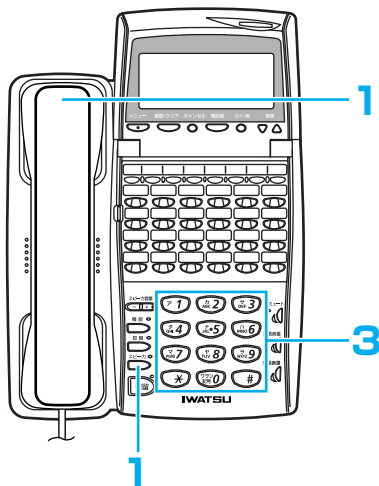
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

空外線自動捕捉

受話器を取り上げるだけで、自動的に空いている外線を探すことができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 空いている外線が自動的に捕捉されます。

「ツー」という外線発信音が聞こえます。

※すべての外線が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

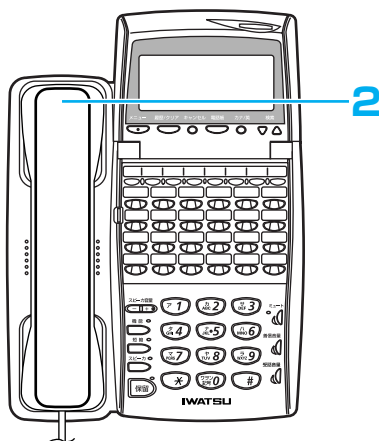
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

Note

空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号の登録があらかじめ必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線着信自動応答

受話器を取り上げるだけで、自動的にかかってきた外線に応答することができます。



1 着信音が鳴ります。

「トゥルトルトルトル」という呼出音が鳴ります。

着信している「外線」ボタンと大型着信ランプが、赤色に点滅します。

2 受話器を取り上げます。

3 お話します。

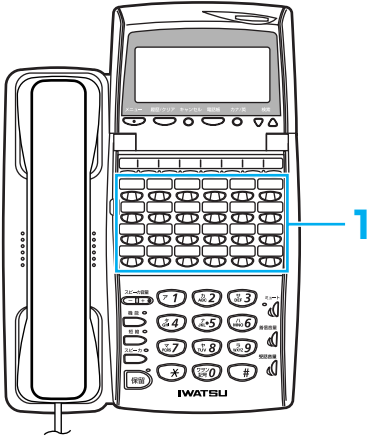
Note

複数の外線に対して外線着信自動応答機能が設定されると、応答の優先順位は着信順となります。

セーブナンバーダイヤル

今かけている相手の電話番号を記憶させることで、再びかけ直すとき自動的にダイヤルすることができます。

電話番号を記憶させるとき



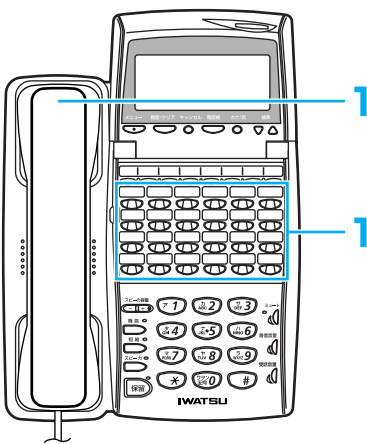
Note

「セーブナンバ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 電話番号をダイヤルしてから電話を切るまでの間に「セーブナンバ」ボタン（または「機能」+「2」「1」ボタン）を押します。

※記憶させる電話番号は、発信中の電話番号が対象となります。登録操作は発信中に行ってください。

- 2 ダイヤルした電話番号が記憶されます。



Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 内線から外線につなぐ際の外線アクセス番号、外線グループアクセス番号も登録対象となります。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと以前の登録電話番号は消去されます。
- 「セーブナンバ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

記憶させた電話番号にかけるとき

- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）、「セーブナンバ」ボタン（または「機能」+「2」「1」ボタン）を押します。

- 2 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

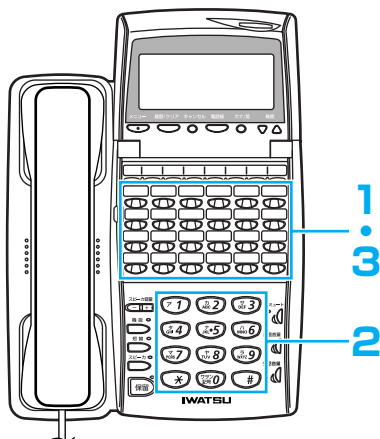
7
システム機能

8
ご参考に

メモダイヤル

外線と通話中に別の電話番号を記憶させ、あとでかけることができます。

電話番号を記憶させるとき

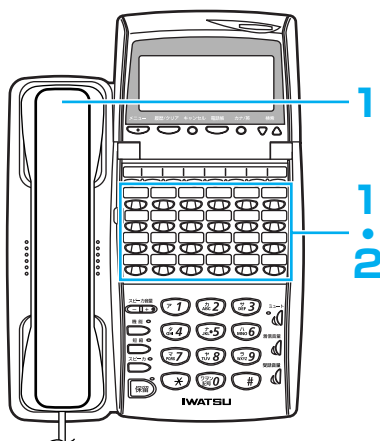


- 1 通話の状態ですべて「メモダイヤル」ボタン（または「機能」）+ 「2」「2」ボタンを押します。
- 2 記憶させておきたい別の電話番号をダイヤルします。
※接続待ち時間（ポーズ時間/1～9秒）も一緒に登録できます。登録は「保留」ボタンを押し、続けて該当する「1」～「9」ボタン（ポーズ時間/1～9秒）を押します。
- 3 再び「メモダイヤル」ボタン（または「機能」ボタン）を押します。
- 4 ダイヤルした電話番号が記憶されます。

Note

「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

記憶させた電話番号にかけるとき



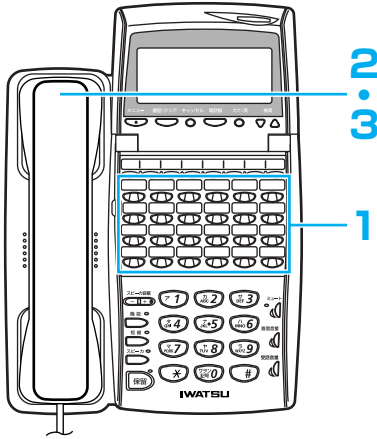
- 1 受話器を取り上げ（または「スピーカ」ボタンを押す）空いている「外線」ボタンを押します。
- 2 「メモダイヤル」ボタン（または「機能」）+ 「2」「2」ボタンを押します。
- 3 相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。

Note

- 記憶できるダイヤル桁数は48桁以内です。
- 記憶できる電話番号は電話機ごとに1つだけです。登録操作を行うと、以前の登録電話番号は消去されます。
- ISDN回線でメモダイヤルを利用するときは、記憶させる相手の電話番号のあとに「#」ボタンを押して、登録してください。
- 「外線」、「メモダイヤル」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

トランクキューイング

すべての外線が使用中のとき、外線を指定してその外線の空きをお知らせします。



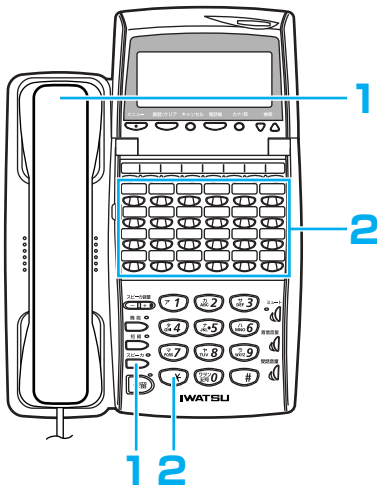
Note

「外線予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

外線予約方法

- 1 話中音またはウェーティングトーンが聞こえる状態で、「外線予約」ボタン（または「機能」+「2」「3」ボタン）を押します。
※予約が完了すると確認音が聞こえます。
- 2 受話器を置きます。
- 3 「ブブブブ」というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。
※お知らせ音は、指定した外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。
※クイックモードで短縮発信を行い外線が空いていなかったためこの操作をした場合は、お知らせ音に回答しただけでその短縮番号を自動ダイヤルします。

外線予約の解除方法



Note

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ登録してある時間内に応答してください。
- トランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「外線予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き
多機能電話機

5 中継台(ATT)

6 ISDN

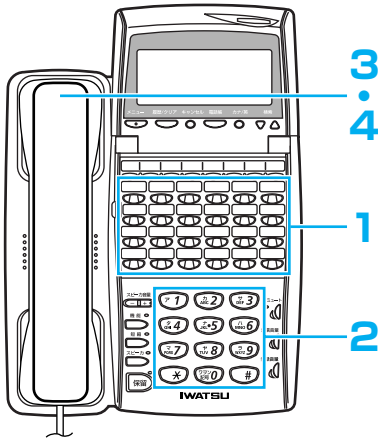
7 システム機能

8 ご参考に

タイムドトランクキューイング

指定時間後に外線を使用する予約ができます。

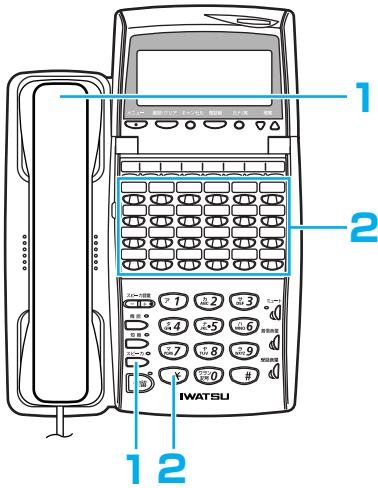
外線時間予約方法



- 1 電話をかけた相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態ですべて「外線時間予約」ボタン（または「機能」+「2」「4」ボタン）を押します。
- 2 何分後（1～9分）に知らせてもらうかを、該当するダイヤルボタンで押します。
※予約が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。
- 4 「ブブブブ」というお知らせ音が鳴ったら、受話器を取り上げます。電話をかけていた相手先に自動的にダイヤルされます。
※お知らせ音は、指定した時間後に外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。

Note

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ登録してある時間内に応答してください。
- タイムドトランクキューイングは、電話機ごとに1つしかできません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合には、データ設定により、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「外線時間予約」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

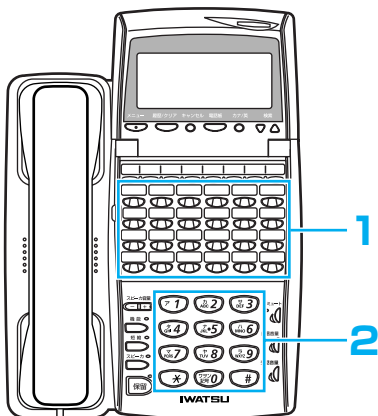


外線時間予約の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線時間予約」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「2」「4」ボタン）に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

ダイヤルリバーズ

回転ダイヤル式回線でプッシュ信号が使えます。



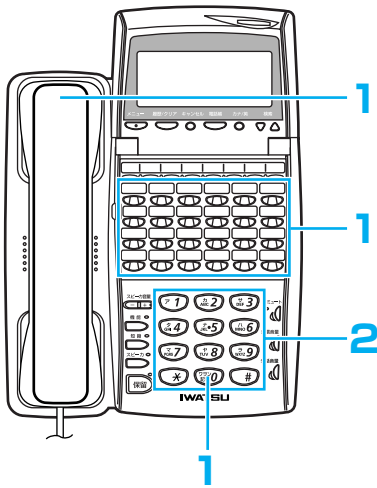
- 1 外線と通話の状態ですべて「プッシュ」ボタン（または「機能」+「1」「3」）を押します。
※再びこの操作を行うと回転ダイヤル信号に戻ります。
- 2 ダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が出ます。

Note

- データ設定により、あらかじめ自動ダイヤルリバーズモードに登録しておくと、自動的にプッシュ信号に替わります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ダイヤルリバーズ機能は、回線が回転ダイヤル式のときのみ使用できます。

ACR発信

回線事業者を選択して電話をすることができます。この機能はNTT（日本電信電話）、KDDI（ケーディーディーアイ）、JT（日本テレコム）など、複数のNCC各社と契約している場合に使用できます。



1 受話器を取り上げ「索線」、「0」 「0」 ボタンの順（または「LCR」ボタン）に押します。

※あらかじめ自動LCRモードに登録されている電話機の場合は、「索線」ボタンを押したあと、すぐに相手の電話番号をダイヤルします。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

※電話機に「LCR」ボタンを登録すれば「索線」ボタンによる操作は不要になります（そのボタンを押すだけでNCCのアクセス番号を発信できるようになります）。

2 相手の電話番号をダイヤルします。

NTTおよびNCC各社の中から、回線を自動的に選んで発信します。

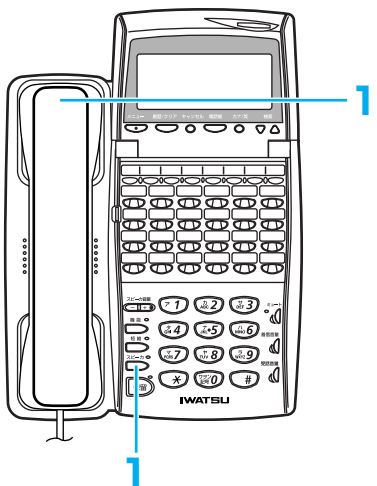
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。

Note

- NTTおよびNCCの料金変更などがあつたときは、お得な料金のNCCを選べなくなることがあります。このような場合のプログラム変更などは有償となります。
- ディスプレイに表示される料金は、地域差などにより多少誤差が生じます。

外線自動発信

ダイヤルを押さずに特定の相手に自動発信するように設定することができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。

2 個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。

Note

外線自動発信を行う電話機は、データ設定により、登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
ご利用いただく
前に

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DISCユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

外線着信信号識別／外線別着信音色指定

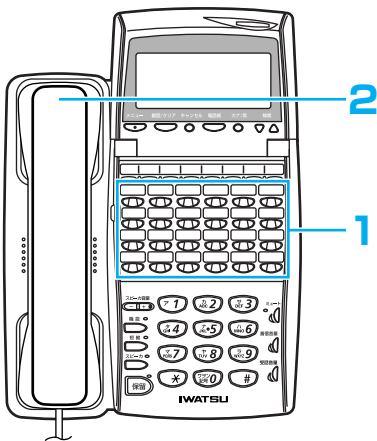
着信音の鳴り方を4種類まで、外線ごとに分けられます。別の内線グループが近くにあっても鳴り方で区別できたり、専用線やPBX 内線などの区別も可能になります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Note

- セントレックス内線（ビル電話）の識別するかどうかは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- セントレックス内線の着信を識別する場合は、常にパターン番号2の音となります。
- 鳴り方は「多機能電話機の鳴る音」（78ページ）をご参照ください。

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線にワンタッチで応答できます。



1 赤で点滅している「外線応答番号」、「外線応答」ボタンの1つを押します。

※着信した他の電話機では、それまで着信音が鳴っています。

2 受話器を取り上げます。

3 お話しします。

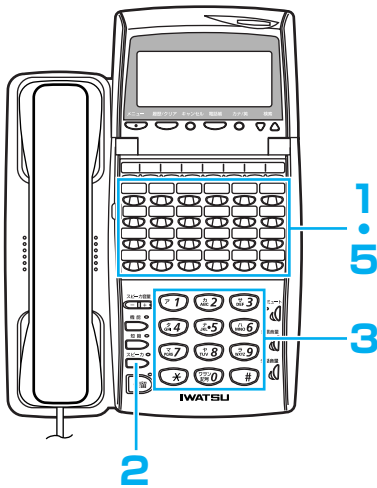
Note

- 応答する電話機の「外線応答番号」、「外線応答」ボタンに割り当てられていない外線には、応答できません。
- 「外線応答番号」、「外線応答」ボタンに複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。
- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ビルトインスピーカホン

オプション

受話器を置いたまま外線と通話できるようになります。



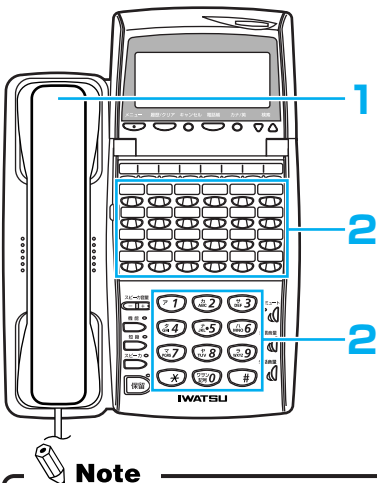
Note

- この機能を利用するためには、あらかじめビルトインスピーカホンユニットを取り付ける必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 「マイク」ボタン（または「機能」 + 「6」「1」ボタン）を押します。
電話機内蔵マイクがONとなり、「マイク」ボタンが赤色で点灯します。
- 2 「スピーカ」ボタンを押します。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線のときは、最後に「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながったら、そのままの状態でお話します。
※受話器を取り上げると内蔵マイクは自動的にOFFとなり、受話器での通話となります。
- 5 通話が終了したら「マイク」ボタン（または「機能」 + 「0」「6」「1」ボタン）を押します。
内蔵マイクがOFFとなります。

着信代理応答

鳴っている電話機の着信を、他の電話機で応答できます。



Note

- あらかじめ外線応答規制に登録されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 代理応答を行う場合は、あらかじめ代理応答できるグループを登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 該当する特番と必要な番号を押します。
 - グループ内への着信の場合
→「グループ内代理応答」ボタン（または「機能」 + 「3」「1」ボタン）を押します。
 - 他の内線代理応答グループ（部署など）への着信の場合
→「グループ外代理応答」ボタン（または「機能」 + 「3」「2」ボタン）と、応答したい2桁のグループ番号を押します。
 - 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
→「個別代理応答」ボタン（または「機能」 + 「3」「3」ボタン）と、着信している電話機の内線番号を押します。
- 3 お話します。

1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 多機能電話機
DISCユニット付き

5 中継台(ATT)

6 ISDN

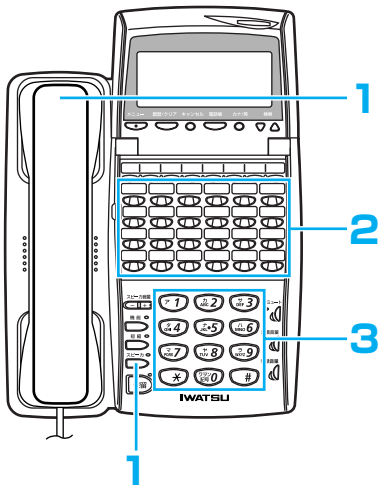
7 システム機能

8 ご参考に

電話機パスワード

外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

外線の発信規制

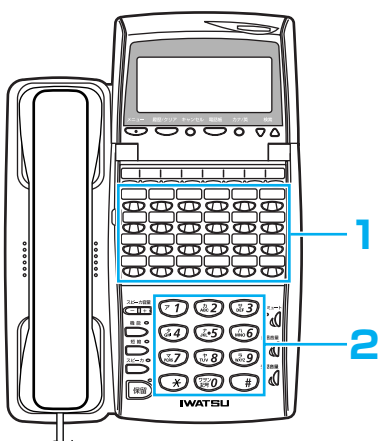


- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「パスワード」ボタン（または「機能」 + 「4」 「4」ボタン）を押します。
- 3 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。
その電話機からは外線の発信ができなくなり、「パスワード」ボタンのランプが赤色で点灯します。

Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

発信規制の解除方法



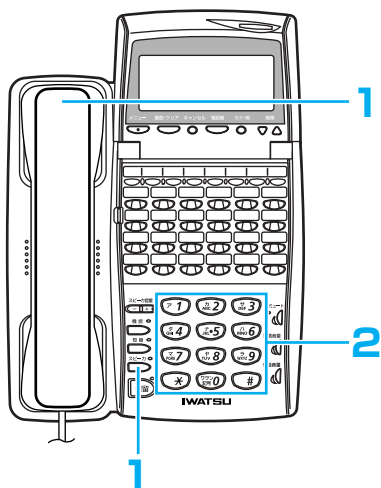
- 1 「パスワード」ボタン（または「機能」 + 「0」 「4」 「4」ボタン）を押します。
- 2 登録されているパスワード（最大6桁）を押します。
発信規制が解除され、「パスワード」ボタンが消灯します。その電話機からの外線発信が可能になります。

Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

空内線自動捕捉

空いている内線を自動的に捕捉することができます。



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルします。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATI)

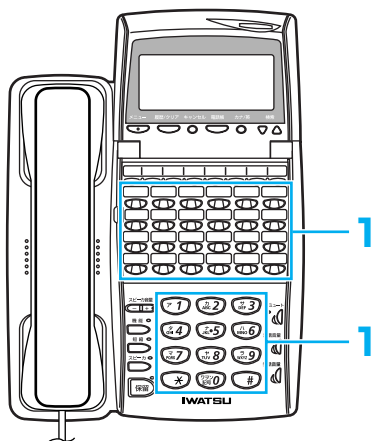
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

一斉呼び出し/グループ呼び出し/ページング呼び出し オプション

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに、一斉に呼びかけることができます。



1 内線または外線と通話の状態番号をダイヤル、または該当するボタンを押します。

- 一斉に呼び出す場合
→一斉呼び出し番号をダイヤル（または「一斉」ボタンか「ページング」ボタン）を押します。
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
→グループ呼び出し番号をダイヤル（または「内線グループ番号」ボタン）を押します。
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
→ページング呼び出し番号をダイヤル（または「ゾーン番号」ボタン）を押します（オプション）。

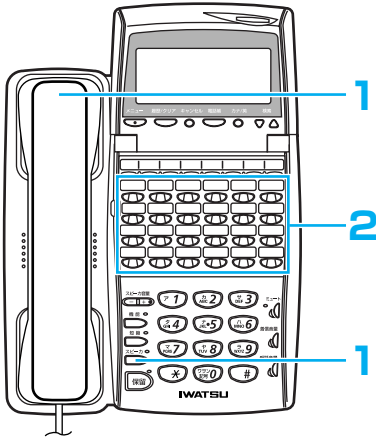
2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

Note

- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- グループ呼び出しの対象として登録できる多機能電話機は、最大30グループ、1グループあたり最大64台の電話機となります。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大30グループ、1グループあたり最大64台のスピーカとなります。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。
- 各ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

ミー・ミー・ミー

外部スピーカの呼び出しに回答することができます。



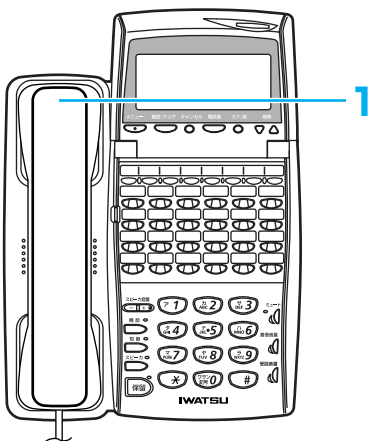
- 1 近くにある電話機の受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「ページ応答」ボタン（または「機能」+「3」「5」ボタン）を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。
- 3 お話します。

Note

- ミー・ミー・ミー機能は、一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しに回答するためのものです。使用する電話機は、どの呼び出しに回答するか、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「ページ応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線ホットライン

受話器を取り上げるだけで特定の内線電話機を呼び出すことができます。



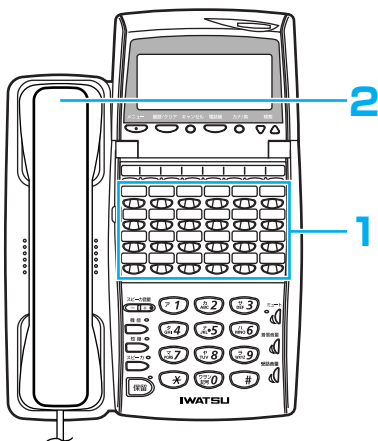
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 データ設定された内線番号を自動的に呼び出します。

Note

内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号に登録ができます。

内線コールバック

通話中の内線通話が終了したことをお知らせします。



設定方法

- 1 内線の相手が通話中または着信拒否をしている場合に、その状態で「内線呼び返し」ボタン（または「機能」+「4」「3」ボタン）を押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

- 2 受話器を置きます。

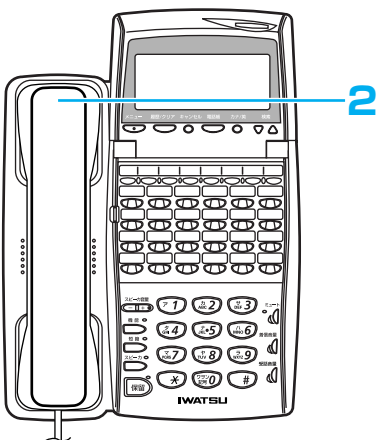
Note
「内線呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

呼び返しがきたら

- 1 内線コールバック音が鳴ります。

- 2 受話器を取り上げます。
「ブルルルル」という呼出音に切り替わります。
※データ設定により、あらかじめ登録された時間内に応答しないときは取り消されます。

- 3 相手とつながったら、お話しします。

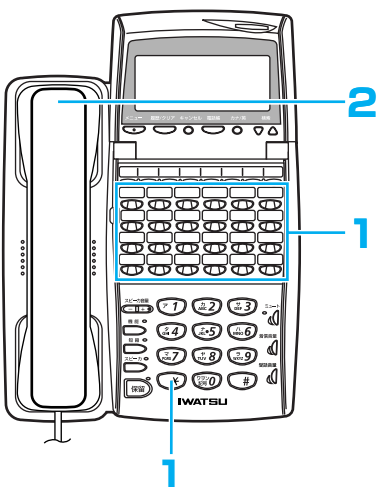


解除方法

- 1 「内線呼び返し」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「3」ボタン）に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

- 2 受話器を置きます。

Note
「内線呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

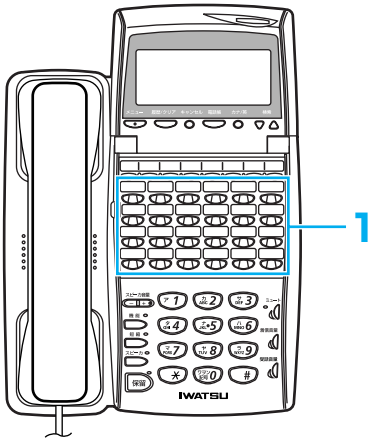
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

オーバーライド

応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出すことができます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機か、フレキシブルボタンに「強制呼び出し」ボタンを登録した電話機で利用できます。



1 呼び出し先が通話中の場合、「強制呼び出し」ボタンを押します。

※あらかじめオーバーライド可のデータ設定をしている電話機では、この操作は必要ありません。

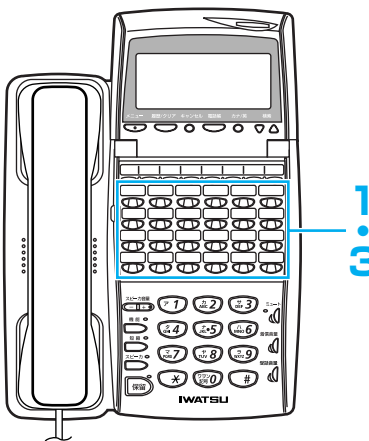
2 相手が通話中でも呼び出しを行います。

Note

「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線ハンズフリー応答

音声による内線呼び出しに対して、受話器を取り上げずに応答することができます。



1 「マイク」ボタン（または「機能」 + 「6」「1」ボタン）を押します。

電話機内蔵マイクがONになり、「マイク」ボタンが赤色で点灯します。

2 そのままお話しします。

3 通話が終わったら、「マイク」ボタン（または「機能」 + 「0」「6」「1」ボタン）を押します。

電話機内蔵マイクがOFFになり、「マイク」ボタンが消灯します。

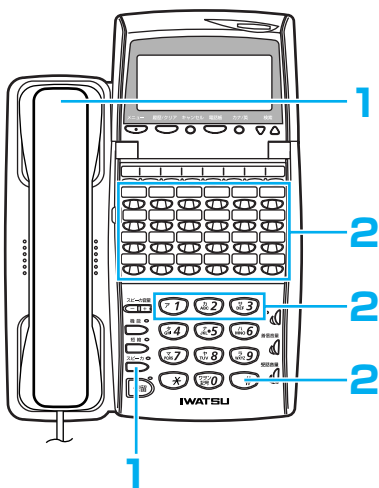
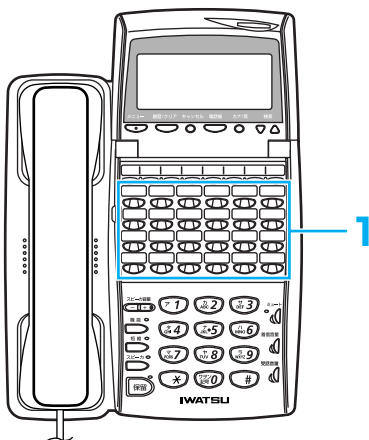
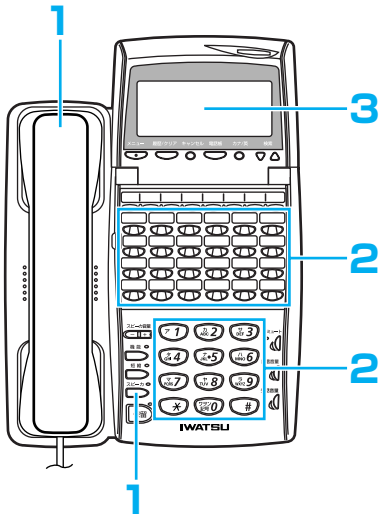
※「マイク」ボタンを押すごとに、マイクのON/OFFが切り替わります。

Note

「マイク」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

不在転送／話中転送／未応答転送

自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。



転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」ボタンを押し、続けて転送先の内線番号を押します。
※登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 ディスプレイに不在転送、または話中／未応答転送、または未応答転送であることが表示されます。

転送機能のON/OFF

- 1 「不在転送」ボタンを押すごとに、転送機能のON/OFFが切り替わります。
ONにすると、「不在転送」ボタンが赤色で点灯または点滅します。着信した外線は、登録された転送先に自動的に転送されます。



Note

「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

転送モードの切り替え方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」、「#」ボタン（2回押す）、該当する数字ボタンの順に押します。
 - 不在転送モード → 「1」ボタン
 - 話中/未応答転送モード → 「2」ボタン
 - 未応答転送モード → 「3」ボタン
 ※登録が完了すると確認音が聞こえます。



Note

- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送機能を使用する電話機は、不在転送可をデータ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- 未応答転送機能を使用する電話機は、未応答時間をデータ設定により、あらかじめ登録する必要があります。
- 内線通話規制されている電話機への転送はできません。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATI)

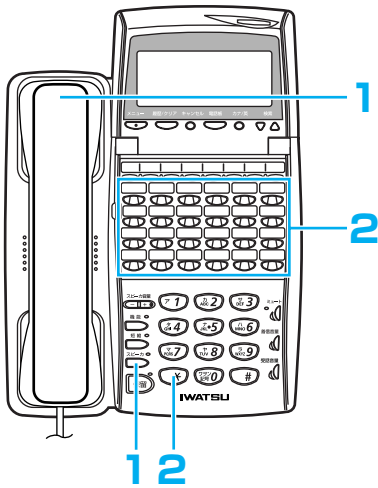
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

不在転送 / 話中転送 / 未応答転送

登録内容の取り消し方法

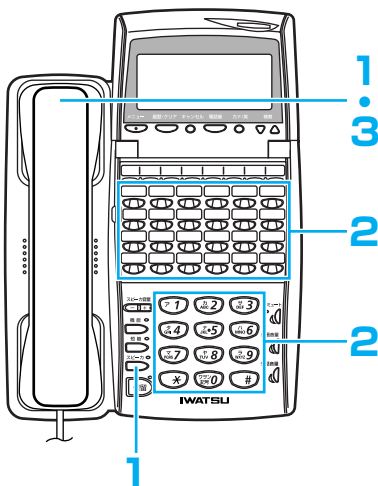


- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」、「*」ボタンの順に押します。

Note

「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

別の電話機から転送先を変更する方法



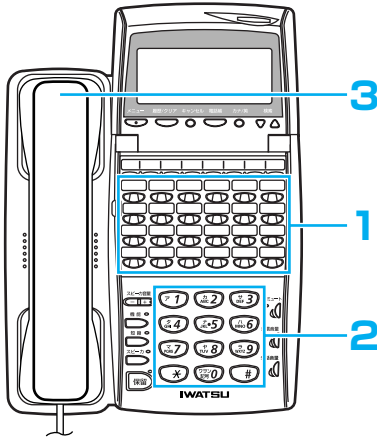
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在転送」、「#」ボタンの順に押し、続けて転送を登録している電話機の内線番号を押します。
※転送先を登録している電話機が転送機能を休止（OFFの状態）にしている場合は、別の電話機から転送先の変更はできません。
※登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。
転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。

Note

「不在転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

内線キャンブオン

通話中の内線を、他の電話機に強制的に転送することができます。この機能は、あらかじめオンフックキャンブオンを設定された電話機で利用できます。



1 内線通話の状態で「転送」ボタン（または「保留」ボタン）を押します。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。
※専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

3 受話器を置きます。

4 強制的に転送されます。



Note

- 転送先が通話中でも内線を転送することができます。
- 「転送」ボタンが赤色で点滅中のとき「転送」ボタンを押すと、保留した内線に再び応答できます。
- 「転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

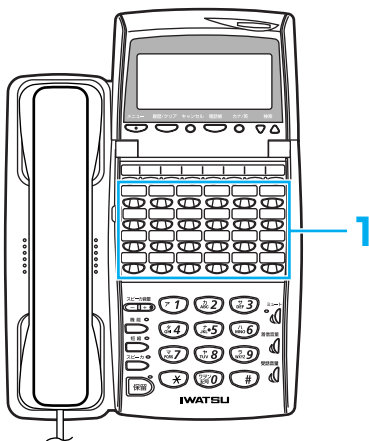
7
システム機能

8
ご参考に

リレーコントロール

オプション

ドアロックの解除など、電話機から別のユニットの電源などのON/OFFをすることができます。



1 「リレー番号」ボタンを押します。
「リレー番号」ボタンが、ONのときは赤色で点灯し、OFFのときは消灯します。

2 該当するリレースイッチがON/OFF、または一定時間ONになります。

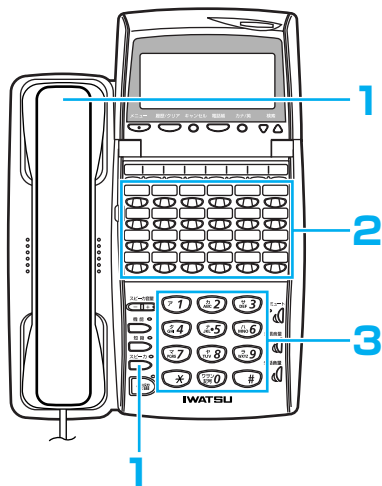


Note

- 操作できるリレーは最大8個です。
- リレーのスイッチ番号は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- リレーを一定時間ONにする場合は、あらかじめ時間をデータ設定します。
- 「リレー番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

タイムコール

登録した時刻に電話機のアラーム音を鳴らすことができます。アラーム音継続時間はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



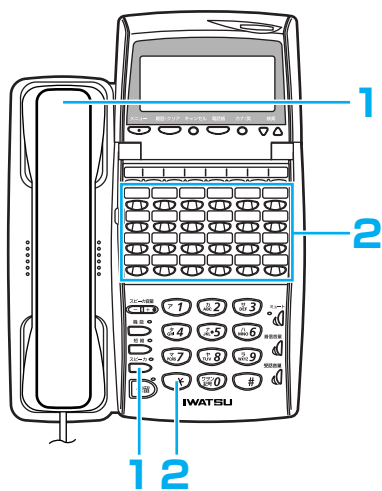
Note

- 「タイムコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。
- タイムコールの後、設定データは消去されます。

時刻の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「タイムコール」ボタン（または「機能」+「4」「1」ボタン）を押します。
- 3 アラーム音を鳴らす時刻を24時間表記で押します。
 <例> 午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
 設定が登録されると確認音が聞こえ、「タイムコール」ボタンが赤色で点灯します。
- 4 設定時刻に「ププププ」というアラーム音が鳴ります。

登録時刻の解除方法



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「タイムコール」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「1」ボタン）に押します。
 ※解除が完了すると確認音が聞こえます。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

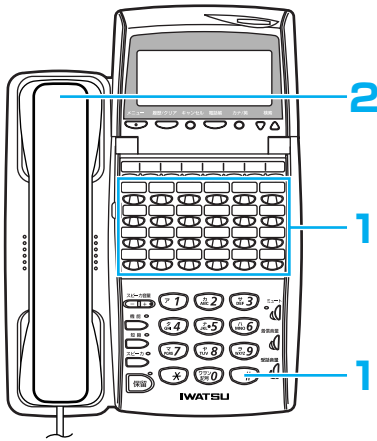
7
システム機能

8
ご参考に

メッセージウェイト

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

メッセージウェイトの設定方法



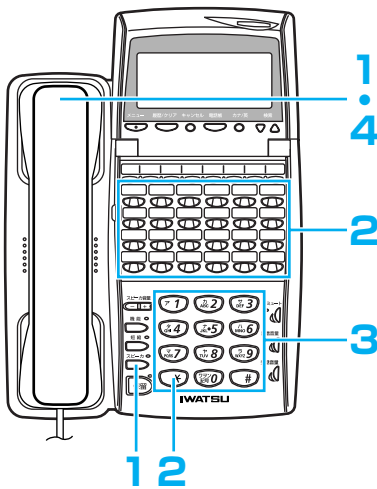
- 1 呼び出したい相手が通話中または応答しないとき、そのままの状態です。「伝言」、「#」ボタンの順に押します。
- 2 受話器を置きます。
相手の電話機の「伝言」ボタンが点灯します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。



Note

「伝言」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

メッセージウェイトの解除方法



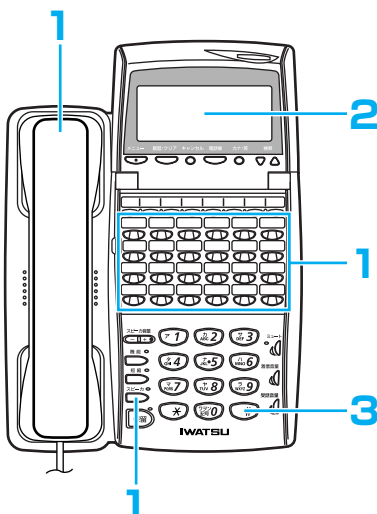
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「伝言」、「*」ボタンの順に押します。
- 3 メッセージウェイトに登録した先の内線番号を押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。
- 4 受話器を置きます。
登録が取り消され、相手の電話機の「伝言」ボタンが消灯します。



Note

「伝言」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

連絡を待っている相手の呼び出し



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押し、赤色で点灯する「伝言」ボタンを押します。
メッセージウェイトが登録されていると、「伝言」ボタンが押されるまでランプは点灯しています。
- 2 ディスプレイに内線番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
連絡を待っている相手の内線が自動的に呼び出されます。
※この操作で「*」ボタンを2回押し、メッセージを消すことができます。

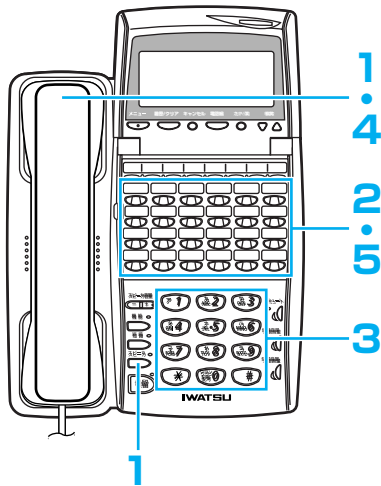


Note

- 1台の電話機に対して4通のメッセージウェイトを記憶させることができます。
- メッセージウェイトの登録、受け取りを行う電話機は、あらかじめデータ設定により、登録が必要です。
- 「伝言」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

不在メッセージ

内線をかけてきた相手に対し、不在中の連絡事項を相手の電話機のディスプレイにメッセージとして表示することができます。



不在メッセージの登録方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在メッセージ」ボタンを押します。
- 3 残したいメッセージを登録します。
※登録できる不在メッセージは1つだけです。
 - 戻り時間
→「1」ボタンを押し、続けて戻り時間を24時間表記で押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
 - 戻り日
→「2」ボタンを押し、続けて戻り日を2桁で押します。
〈例〉5日に戻る場合は、「0」「5」ボタンを押します。
 - 会議終了時間
→「3」ボタンを押し、続けて会議終了時間を24時間表記で押します。
 - 行き先電話番号
→「4」ボタンを押し、続けて行き先電話番号を11桁以内で押します。
11桁以内の場合は、最後に「#」ボタンを押してください。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。
- 4 受話器を置きます。
- 5 「不在メッセージ」ボタンの点滅を確認します。
- 6 内線で呼び出されると、相手の電話機のディスプレイに上記手順（3）で登録したメッセージ内容が表示されます。

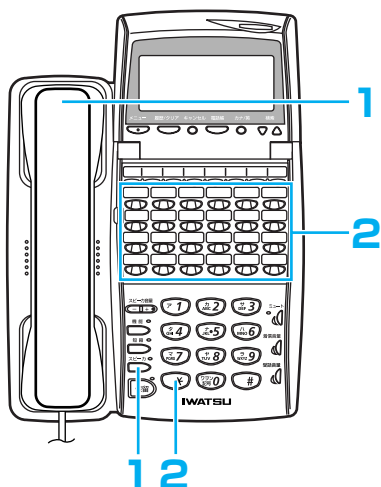
不在メッセージの消去方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「不在メッセージ」、「*」ボタンの順に押します。
※消去が完了すると確認音が聞こえます。



Note

「不在メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。



1 前に
ご利用いただく

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き
多機能電話機

5 中継台(ATT)

6 ISDN

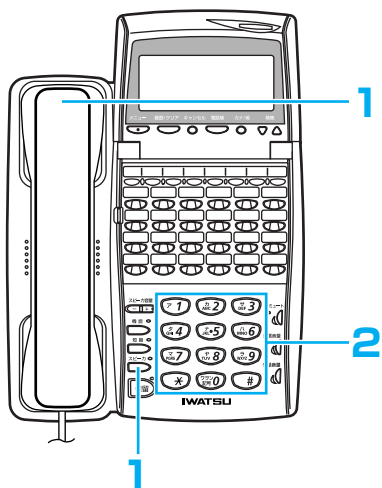
7 システム機能

8 ご参考に

ドアホン接続

オプション

内線からドアホンを呼び出すことができます。



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 相手が出たら、お話しします。



Note

- ドアホンと通話するには、データ設定により、あらかじめドアホンごとに内線番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

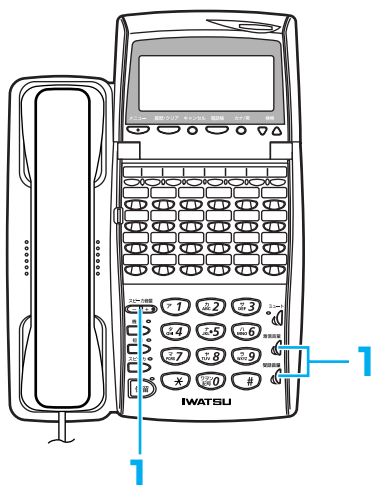
キータッチトーン

ダイヤルボタンが押されているか音で確認することができます。

※ダイヤルボタンを押すごとに、「ピッ」という音がします。キータッチトーンを送出するには、あらかじめ電話機ごとに、データ設定による登録が必要です。

電子ボリューム

着信音量、受話音量、スピーカ音量をそれぞれ調節することができます。



- 1 「着信音量」ボタンを押すと、着信音の音量を4段階に切り替えられます。
「受話音量」ボタンを押すと、通話を受けるときの音量を3段階に切り替えられます。
「スピーカ音量」ボタンを押すと、通話を受けるときの音量を16段階に切り替えられます。

※受話音量の調節は、初期値に戻るモードと変更した音量を維持するモードがあります。



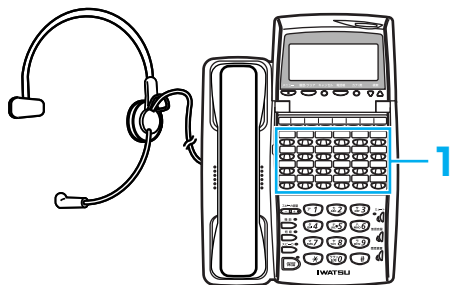
Note

- 受話音量の初期値およびモードは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 着信音量を「1」（最小）にした場合は、微かに聞こえる程度の音量になります。静かなオフィスで着信音を非常に小さくしたい場合にご使用ください。

ヘッドセット接続

オプション

ヘッドセットを使用して通話することができます。



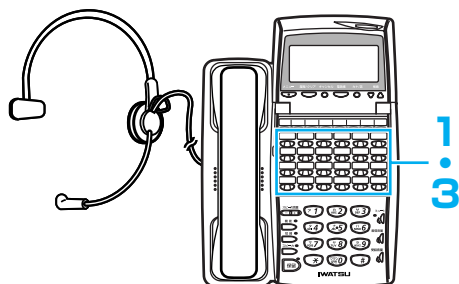
- 1 「ヘッドセット」ボタンを押します。
「ヘッドセット」ボタンが点灯します。

- 2 接続したヘッドセットを利用して、多機能電話機を使用します。

**Note**

「ヘッドセット」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

保留した外線を特定内線に自動転送する方法



- 1 通話の状態転送先の「内線番号」ボタンを押します。

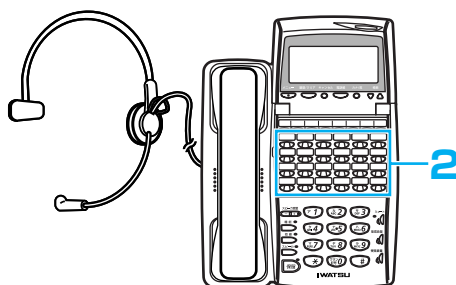
- 2 転送先の相手とつながったら「〇〇さん、××番に電話です」のように連絡します。

- 3 「接続」ボタンを押します。
転送された人は、そのまま通話を始めます。

**Note**

「内線番号」ボタン、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話中の外線または内線を切るとき



- 1 外線または内線で通話しています。
外線会議通話、複数外線会議通話、または内線会議通話の状態になっています。

- 2 「切断」ボタンを押します。

- 3 通話が切れます。
会議通話から抜けます。

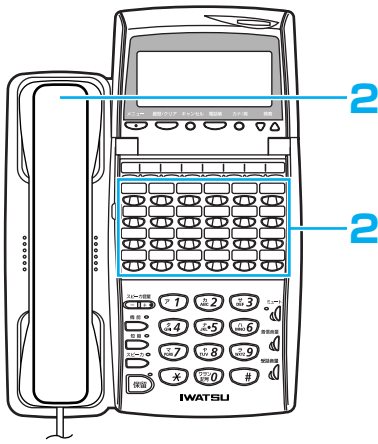
**Note**

「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DSSユニット付き
多機能電話機5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

秘書応答

設定された他の電話機（例えば上司の電話機）にかかってきた着信に応答することができます。この機能は、あらかじめデータ設定された電話機で利用できます。



他の内線電話機への着信に応答する場合

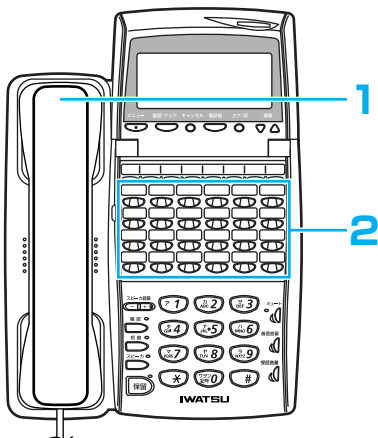
- 1 「秘書応答」ボタンが緑色に点滅し、秘書応答着信音が鳴ります。
※ランプが高速点滅のときは外線着信、低速点滅のときは内線着信です。
- 2 受話器を取り上げ「秘書応答」ボタンを押します。
- 3 お話します。



Note

「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

設定された他の内線電話機の呼び出し



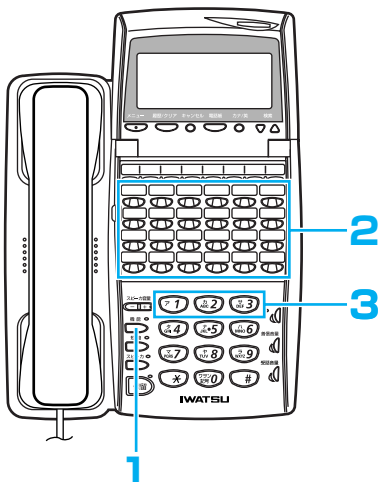
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「秘書応答」ボタンを押します。
- 3 相手が応答したら、お話できます。
※呼び出す電話機は、着信に応答する電話機（例えば上司の電話機）と同じです。



Note

「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

秘書応答着信音のモードの変更



- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「秘書応答」ボタンを押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ランプとディスプレイで表示されます。
- 3 設定したいモードに該当する数字ボタン（1～3）を押します。
秘書応答着信音のモード即時鳴音、遅延鳴音、無鳴音の3種類があります。
 - 即時鳴音 → 「1」ボタン
 - 遅延鳴音 → 「2」ボタン
 - 無鳴音 → 「3」ボタン

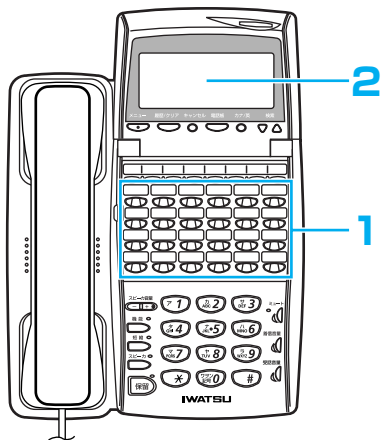


Note

「秘書応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

LCD表示切り替え

ディスプレイに表示する情報を切り替えることができます。



Note

「表示切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1 「表示切り替え」ボタン（または「機能」+「6」「3」ボタン）を押します。

2 ディスプレイに表示される情報が切り替わります。

● 表示内容の切り替えは、行ごとに行われます。ただし、該当する情報がない場合は、次のレベルの情報を繰り上げて表示します。

表示レベル	表示内容	
	1 行	2 行
4	データ表示 ガイダンス表示 通話料金管理表示	データ表示 入力データ表示
3	外線発信捕捉 内線発信 呼状態表示	タイムコール着信 不在メッセージ
2	外線着信 内線着信	外線通話中（通話時間） {内線通話中（名前）} 注1 {内線通話中（内線識別）} 注2
1	外線通話中 {内線通話中} 注2	外線着信（外線識別・名前） {内線着信（名前）} 注1
0	時計	状態表示

注1：名前は登録されている場合のみ表示されます。

注2：名前の登録がないときは2行目のレベル2のみ表示します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSUユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

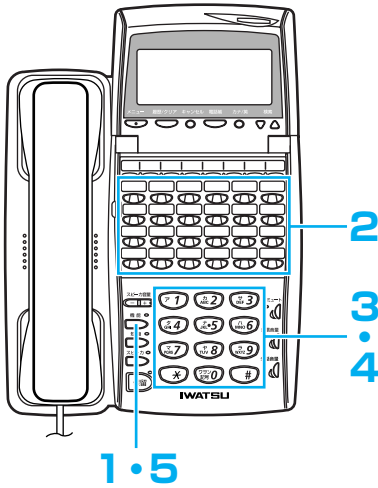
7
システム機能

8
ご参考に

ナンバー・ディスプレイを利用するとき

ナンバー・ディスプレイサービス（NTTとの契約が必要です）を利用して相手先の名称を表示することができます。

相手先の電話番号の登録方法



1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。

3 登録番号（001～999）を押します。

4 相手先の電話番号（12桁以内）を押します。

相手先の電話番号は市外局番を含めて入力してください。

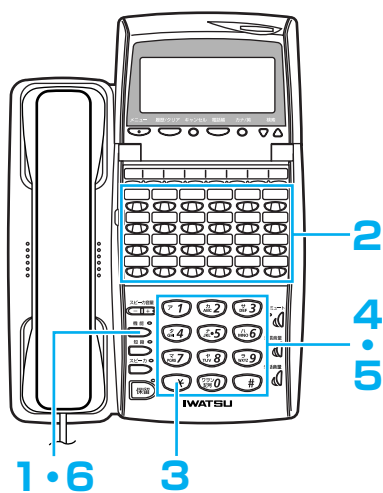
〈例〉相手先が大阪の場合は、「0」「6」…と押します。

5 「機能」ボタンを押します。

続けて「相手先名の登録方法」に従って相手先名を登録してください。

Note

- 相手先の電話番号および相手先名は指定電話機で登録します。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 夜間切り替え（130ページ）で夜モードのときに対象とする相手先の電話番号および相手先名は登録番号501～999で登録します。
- 手順（3）で登録番号のかわりに「#」ボタンを押すと、空いている登録番号が自動的に検索されディスプレイに表示されます（空きが無い場合は000が表示されます）。空き登録番号が検索できたら、その登録番号で手順（1）から登録してください。
- ISDN回線の場合は、短縮ダイヤルに登録されている相手先名も表示することができます。
- 漢字電話機を接続することにより、ネーム・ディスプレイがご利用になれます。



相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いたまま「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録番号（001～999）を押します。
- 5 相手先名（16文字以内）を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、「保留」ボタンで確定します。再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字がキャンセルされます。
 3. 文字対応表（19ページ）をご参照ください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DSS
ユニット付き
多機能
電話機

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

7
システム
機能

8
ご参考
に

ディスプレイ表示の主な例

Note

日、曜日、時刻はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

Note

- 表示はダイヤル数字が右から左へ流れていきます。
- 16桁以上になると左（先にダイヤルしたもの）が見えなくなります。
- 短縮番号など、登録されている番号でかけるときも表示されます。

カレンダー／時刻表示

- 使用していないときに年月日、時刻を表示します。

1 5 TUE 1 0 : 3 0 AM
1 2 3 4

内線番号

ダイヤルモニタ

- ダイヤルした番号が表示されます。

ダイヤル番号

0 3 1 2 3 4 5 6 7 8

内線相手番号表示

- 内線で着信

- 相手の内線番号および登録されている発信者氏名が表示されます。

※ 発信者氏名は、あらかじめデータ設定により、登録されている場合に表示されます。

登録発信者名

ナイチャク イワサキ
1 0 2 5

- 転送で着信

- 発信内線番号、および転送内線番号が表示されます。

登録発信者名

ナイチャク イワサキ
1 0 2 5 → 2 0 1 0

- 会議通話中

- 会議に参加している内線番号が表示されます。

ナイセンカイキ
1 0 2 5 2 0 1 0 2 0 2 0

会議参加している内線番号

通話時間／料金表示

100分以内の外線通話時間が表示されます。

- 国内電話、国際電話、自動車電話、船舶電話、NCC (KDDI、日本テレコム) に対する外線通話料金が表示されます。

発信外線番号

発信外線グループ番号

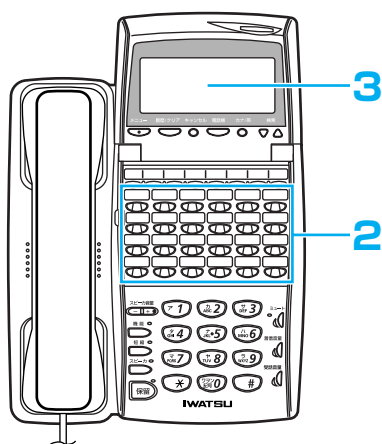
キョクセン # 3	GP. 1
15:32	320円

Note

- 通話時間が100分を超えると00:00表示に戻ります。
- 通話料金が1,000,000円を超えたとしても、999,999円表示のままとします。
- 内線電話機ごとに、外線通話中の料金表示の有無をデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 非課金ダイヤル (0120、114などの100番系など) をダイヤルしたときは、通話時間のみ表示します。

注意!!

- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更等は有償となります。



Note

論理番号、内線番号、発信者名は、あらかじめ登録されたものです。

電話機番号表示

自分の電話機の内線番号、および登録してある発信者名を表示することができます。

- 1 受話器は置いた状態にします。
- 2 「自番号」ボタン (または「機能」+「9」「9」ボタン) を押します。
- 3 約10秒間、下の例のようにディスプレイの表示が変わります。

論理番号

内線番号

EXT # 112	1025
イワサキ	

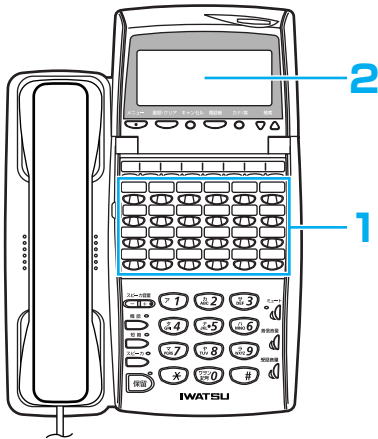
発信者名

ディスプレイ表示の主な例

通話料金集計表示

各電話機ごとに前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を表示することができます。

● 前回分の集計方法



1 「前回」ボタン（または「機能」+「7」「1」ボタン）を押します。

2 直前にかけた通話料金が表示されます。

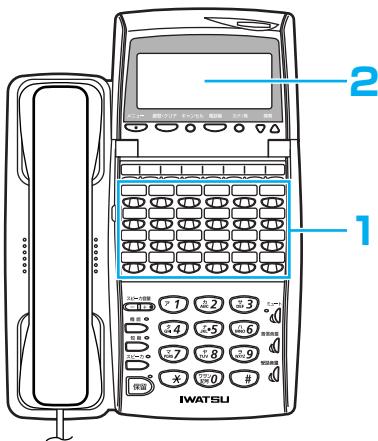
通話料金

ゼンカイ 80円

Note

- 中継台、DSSユニット付き多機能電話機の場合は、内線番号を指定することで他の電話機の通話料を集計できます。
- 通話料金は、999,999円を超えると999,999円表示のままとなります。
- 集計日（1～28日）、集計時刻（00～23時）はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「前回」、「本日」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

● 本日分の集計方法



1 「本日」ボタン（または「機能」+「7」「2」ボタン）を押します。

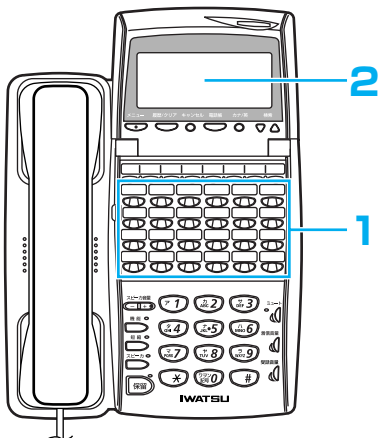
2 その日の通話ごとの料金集計が表示されます。

ホンジツ 2480円

Note

当日0時以降が集計範囲です。

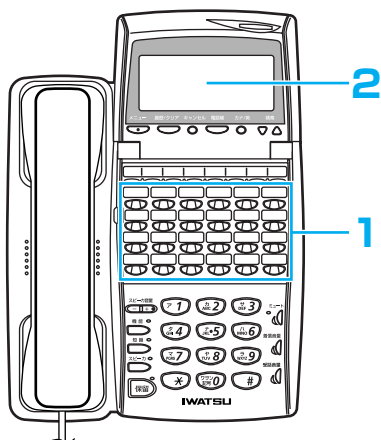
● 今月分の集計方法



1 「今月」ボタン（または「機能」+「7」「3」ボタン）を押します。

2 定時に集計した今月分の通話料金集計が表示されます。

コンゲツ 23480円



●先月分の集計方法

- 1 「先月」ボタン（または「機能」+「7」「4」ボタン）を押します。
- 2 決められた集計日、集計時刻まで1か月分の通話料金集計が表示されます。

センゲツ 32840円

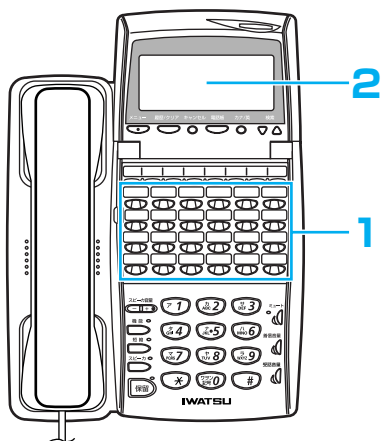


Note

「今月」、「先月」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

通話料金使用率表示

部署ごとなどに通話料金予算額を設定できます。また、それに対する使用率を表示することができます。



- 1 「使用率」ボタン（または「機能」+「7」「5」ボタン）を押します。
- 2 通話料金予算額に対する使用率が表示されます。

G03 90000円 180%



Note

- 通話料金予算額は指定電話機で設定します。予算額は百円単位で100円～999,900円まで設定できます。
- 通話予算額が0の場合は、使用率は表示されません。
- 予算額超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- 通話料金予算額管理のための内線グループ（部署などの分け方）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 指定電話機は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「使用率」ボタンはデータ設定により、あらかじめフレキシブルボタンに登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

ディスプレイ表示の主な例

Note

登録方法、消去方法は65ページをご参照ください。

不在メッセージ表示

- 登録した不在メッセージは常に表示されます。また、その間に内線呼び出しがあったときは、相手の多機能電話機に、同様の不在メッセージが表示されます。
- 登録できるメッセージは戻り時間、戻り日、会議終了時間、行き先電話番号の4種類です。

戻り時間

15 TUE 10:30 AM
13:30 マデ フザイ

戻り日

15 TUE 10:30 AM
15 ニチ マデ フザイ

会議終了時間

15 TUE 10:30 AM
11:00 マデ カイギ

行き先電話番号

15 TUE 10:30 AM
ユキサキ→0312345678

ナンバー・ディスプレイ表示

Note

- 「INSネット64」回線間の発信者を除いてナンバー・ディスプレイ表示はNTTとの契約が必要になります。
- 相手先の名前を表示するには、相手先の電話番号に対応した名前の登録があらかじめ必要です。登録方法は「ナンバー・ディスプレイを利用するとき」(70ページ)をご参照ください。
- 相手先の名前(または番号)が11桁を超える場合は'アイテサキ'の文字は表示されません。

外線着信で相手から発信者番号が通知されたときは、かかってきた相手の電話番号や名前を表示します。

かかってきた相手先の番号

アイテサキ 0612345678

かかってきた相手先の番号と名前

アイテサキ イワツウーニシニホン
0612345678

ネーム・ディスプレイ表示

ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、外線着信時に発信者番号とともに発信企業名(氏名)情報が通知されたときは、かかってきた相手の企業名(氏名)を表示します。

多機能電話機の音について

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DISAユニット付き
多機能電話機5
中継台(ATI)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

■多機能電話機を受話器で聞こえる音

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
内線発信音	400	ツツツツツツツツツ・・・	受話器を取り上げたとき
第2ダイヤルトーン	400	ツツツツツ・・・	通話を転送するとき
内線呼出音	432/480	ブルルルル、ブルルルル、・・・	電話機を呼び出しているとき
話中音	400	ツー、ツー、ツー、・・・	呼び出した相手が話し中のとき
警告音	400	ツーツ、ツーツ、ツーツ、・・・	操作が適切でないとき
確認音	800	プッププツ、	機能が完了したとき
秘話解除音	800	ブー、	外線通話中に秘話解除の操作をしたとき
転送音	800	ブー、	通話の転送が完了したとき
話中呼出音	432/480	ブル、ブル、ブル、・・・	通話中に電話がかかってきたとき
バイパス音	800	ブー、	通話中に他の電話機から割り込み操作が行なわれたとき
アッドオントーン	800	ブー、	会議通話の用意ができたとき
検索中トーン	400	ツ、ツ、ツ、・・・	DCL検索中のとき
ハウラ音	1532	キーン・・・	受話器が長い間外れているとき
保留音	メロディIC /外部	┌───────────┐ メロディー	通話を保留したとき
リクエストトーン/ DISA着信	800	プブ、プブ、プブ、・・・	外からDISA回線に着信がかかってきたとき
外線発信音	400	ツー・・・	外に電話をかけるとき
ドント・ディスタープ音	800	ブーツ、ブーツ、ブーツ、・・・	呼び出し先が着信拒否中のとき
ウェディングトーン	800	プブブブブ、プブブブブ、・・・	外線がすべて使用中のときに外線が空くのを待っているとき
不在メッセージトーン	800	ブーツ、ブーツ、ブーツ、・・・	呼び出し先に不在メッセージが登録されているとき
インタセプトトーン	A:624 B:400	ブルブル、	優先順位の高い電話機から割り込み着信があるとき
確認音 (長音)	800	プッププツ、プッププツ、・・・	登録操作が完了したとき
音声呼び出しパースト	400	ブー、	内線で呼び出したときに鳴るお知らせ音

多機能電話機の音について

多機能電話機の鳴る音

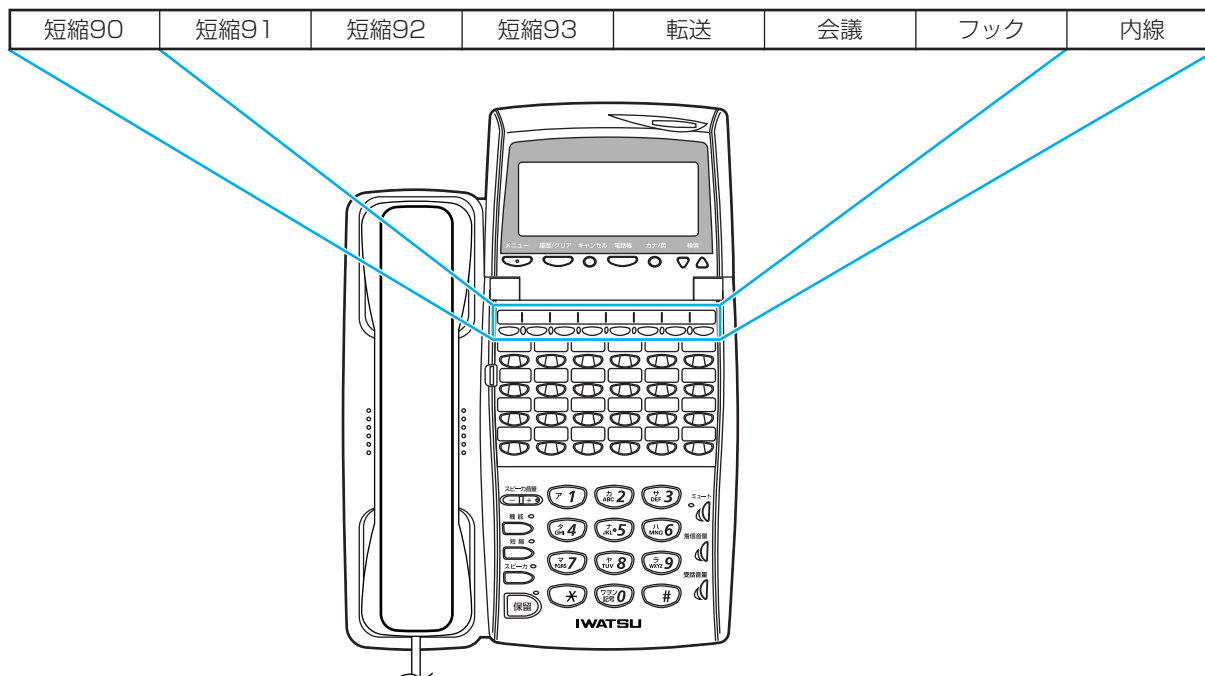
状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
タイムコール	800 (800)	ブブブブ、・・・ブ、ブブブブ・・・	タイムコールで設定した時刻に鳴るお知らせ音
長時間通話アラーム音	(800)	ブブブブ、	一定時間お話ししたことをお知らせするアラーム音
モーニングコール	400 (400)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、	設定時刻にシステムからのメッセージがあるとき
内線音声呼び (冒頭音)	480/624	トゥルルルル、	内線で音声呼び出したときに鳴るお知らせ音
転送保留リコール	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	通話の転送ができなかったとき、または転送操作を途中でやめたとき
外線保留警報	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	保留状態が一定時間を超えたとき
外線コールバック	432/624/16 (400/500)	ブブブブブ、ブブブブブ、・・・	外線に空きができたとき
外線キャンプオン1	400/496/16 (400/500)	ブルル、ブルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルルツ、トゥルルルルツ、・・・	外線通話が転送されてきたとき
外線キャンプオン4	保留音 (400/800)	┌─────────── └─メロディー	外線通話が転送されてきたとき
着信警報音	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	設定した電話機が一定時間以上応答しないとき
外線着信1	400/496/16 (400/500)	ブルブル、ブルブル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信2	432/480 (400/667/16)	ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信3	432/624/16 (400/500)	トゥルルルルツ、トゥルルルルツ、・・・	外線に電話がかかってきたとき
外線着信4	保留音 (400/800)	┌─────────── └─メロディー	外線に電話がかかってきたとき

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
内線リコール	480/624	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	内線通話の転送操作を途中でやめたとき
内線コールバック	480/624	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	お話し中の内線通話が終了したとき
内線キャンプオン	480/624 (400)	トゥルルルツ、トゥルルルツ、・・・	内線通話が転送されてきたとき
内線着信	480/624 (400)	トゥルトルトウル、トゥルトルトウル、・・・	内線から電話がかかってきたとき
ドアホン着信1	ピンポン1 (400)	ピンポーンピンポーン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信2	ピンポン2 (400)	ピンポンピンポンピンポン、	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信3	480/624 (400)	トゥルトルトウル、トゥルトルトウル、・・・	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ドアホン着信4	480/624 (400)	ポポポポポ、ポポポポポ、・・・	ドアホンからの呼び出しがあったとき
ページング	音声	┌ 音声	一斉/グループ/ページング呼び出しされているとき
BGM	音声	┌ ミュージック	バックグラウンドミュージック
優先内線着信 (トーン)	A:624, B:400 (667/400)	ブルブル、ツツツ、ブルブル、ツツツ、・・・	着信中に優先の高い割り込み着信がかかってきたとき
優先内線着信 (音声)	A:624, B:400	ブルブル、┌ 音声	着信中に優先の高い割り込み着信の音声呼び出しがあったとき

※ () 内の数値は話中着信時にKTのローカルトーンにより鳴音する音色です。

各種キーの概要

フレキシブルボタンの初期割り付け状態は以下のものになっています。



3. 単独電話機

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

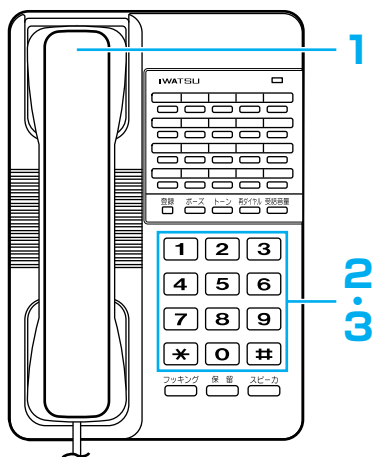
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

外へ電話をかけるとき 〈内線専用機の外線発信〉

外線発信／グループ外線発信でかけるとき 〈外線発信／グループ外線発信〉

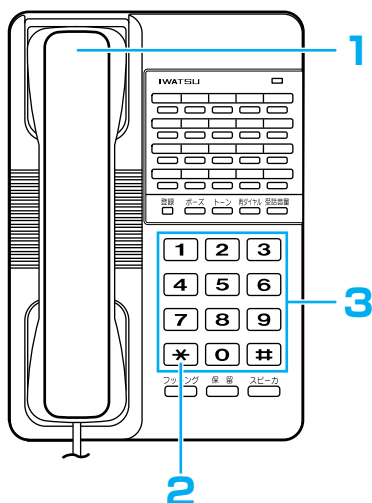


- 1 受話器を取り上げます。
「ツツツツツ」という外線発信音が聞こえます。
- 2 該当する番号を押します。
 - 外線発信の場合
→使用する外線アクセス番号（1～4桁）を押します。
 - グループ外線発信の場合
→使用する外線グループ番号（1～4桁）を押します。「ツー」という発信音に切り替わります。
※該当する外線（グループ内のすべての外線）が使用中の場合は、「ツーツー」という話中音が聞こえます。その場合は受話器を戻し、少し待ってから再び、上記手順（1）から操作してください。
- 3 相手の電話番号をダイヤルします。
- 4 お話します。

Note

- 外線アクセス番号は、外線をアクセスするための番号で、局番とは別に外線ごとに割り当てられます。
- 外線グループアクセス番号とは、グループ分けされている複数の外線全体に割り当てられる番号です。
- 使用できる外線アクセス番号、外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

短縮ダイヤルでかけるとき 〈短縮ダイヤル発信〉



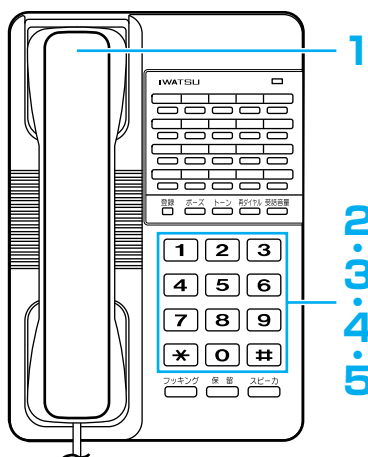
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「*」ボタンを押します。
※回転ダイヤル式でご使用のときは、短縮発信を行う特番をダイヤルします。
- 3 相手の短縮番号をダイヤルします。
登録されている電話番号が自動ダイヤルされます。
- 4 お話します。

Note

- 短縮番号登録用の特番は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

短縮ダイヤルを登録/変更するとき〈短縮ダイヤル登録〉

● 登録するとき



1 受話器を取り上げます。

2 短縮番号を登録する特番を押します。

3 登録する短縮番号(90~99)を押します。
※この短縮番号は電話機ごとに登録できます。

4 外線グループアクセス番号(1~4桁)を押します。

5 相手の電話番号を押します。

※1つの短縮番号には32桁以内で登録ができます。

※ISDN回線で短縮ダイヤルを利用する場合、押しボタンダイヤル(PB)式をご使用のときは、相手の電話番号のあとに「#」ボタンを登録してください。

● 登録を変更するとき

登録方法の手順を繰り返すことで、自動的に前の登録内容が書き換えられます。



Note

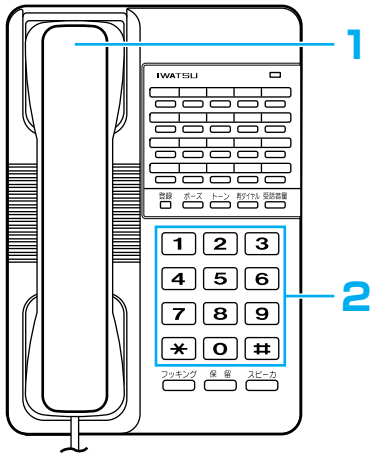
- 外線グループアクセス番号のある電話機の場合は「グループ有」の特番、外線グループアクセス番号のない電話機の場合は「グループ無」の特番になります。
- 短縮番号登録用の特番は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

さらに便利な使い方

- 3人または4人で通話できます。〈外線会議通話〉〈複数外線会議通話〉〈外線間会議通話〉……………95、96ページ
- 空いている外線を自動的に探せます。
〈空外線自動捕捉〉〈トランクキューイング〉〈タイムドトランクキューイング〉……………97、99、100ページ
- 最後に電話した相手に自動的に発信できます。〈ラストナンバリダイヤル〉……………98ページ
- 回線事業者を選択して電話することができます。〈ACR発信〉……………101ページ
- ダイヤルしないで特定の相手先に自動的に発信できます。〈外線自動発信〉……………101ページ

外からの電話を受けるとき〈外線着信〉

外からの電話を受けるとき〈外線着信指定応答〉

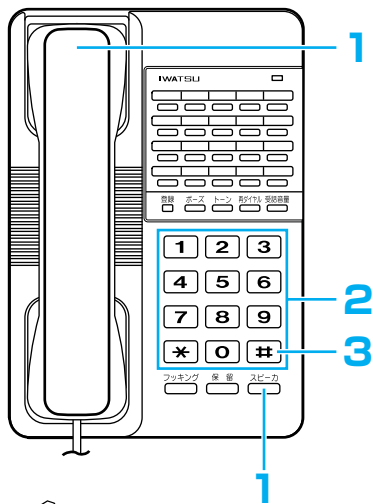


- 1 受話器を取り上げます。**
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 着信している外線アクセス番号を押します。**
※外線アクセス番号とは、外線をアクセスするための番号で、局線とは別に外線ごとに割り当てられます。
- 3 お話します。**

さらに便利な使い方

- 着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉……………111ページ
- 受話器を取り上げるだけで応答できます。〈外線着信自動応答〉……………97ページ
- 通話中でも他からの呼出音を鳴らすことができます。〈話中着信〉……………94ページ
- 鳴り方で外線を区別できます。〈外線着信音色指定〉……………102ページ
- ダイヤルイン方式の着信に他の電話機でも応答できます。〈着信代理応答〉……………102ページ
- 他の電話機にかかってきた外線に応答できます。〈外線着信グループ応答〉……………103ページ
- 着信を指定した電話機に転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉……………107ページ

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉



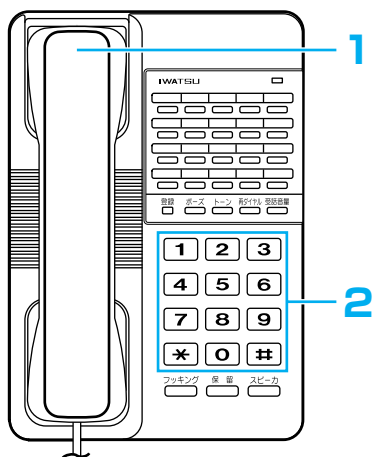
Note

- 内線番号の登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 他の内線電話機を音で呼び出すか、声で呼び出すかは、データ設定により、あらかじめ登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

音または声による呼び出し〈内線トーン呼び出し／内線音声呼び出し〉

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- 3 声で呼び出す場合は「#」ボタンを押します。
※受話器で「〇〇さん」のように呼びかけます。
※声での呼び出しは、相手が多機能電話機の場合のみ使用できます。
- 4 相手が応答したらお話しします。

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出すとき〈内線代表呼び出し〉



Note

- 内線グループは最大50グループ以内、1グループの電話機は最大32台以内です。
- 内線グループごとの代表番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げます。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 相手の内線グループ（部署など）の代表番号（1～4桁）をダイヤルします。
- 3 内線グループの空き電話機を呼び出します。
- 4 お話しします。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSUユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

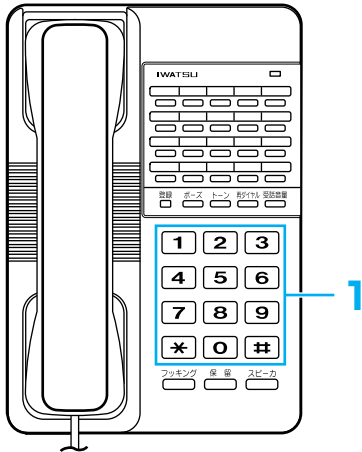
6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

内部の人を呼び出すとき〈内線発信〉

相手が通話中か応答がなく続けて別の内線を呼び出すとき〈クリアコール／シフトコール〉



- 1 そのままの状態
 - クリアコールの場合
→別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
 - シフトコールの場合
→最初にダイヤルした内線番号の下一桁のみダイヤルし直し、呼び出し先を変更します。
- 2 お話します。

Note

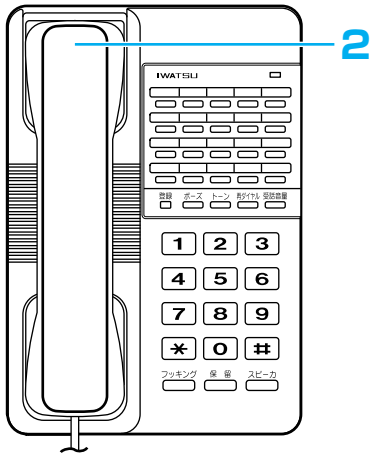
- クリアコールまたはシフトコールは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- クリアコールとシフトコールの両方を登録することはできません。

さらに便利な使い方

- 電話機および外部スピーカ（ドアホンなど）を、一斉に呼び出すことができます。〈一斉呼び出し〉……………104ページ
- グループ分けした電話機のみを一斉に呼び出すことができます。〈グループ呼び出し〉……………104ページ
- 外部スピーカを一斉に呼び出すことができます。〈ページング呼び出し〉……………104ページ
- ダイヤルしないで特定の内線電話機を呼び出すことができます。〈内線ホットライン〉……………105ページ
- 通話中の内線の通話が終了したことを知ることができます。〈内線コールバック〉……………106ページ
- 着信拒否や通話中の内線を強制的に呼び出すことができます。〈オーバーライド〉……………107ページ
- 連絡を待っている内線に自動的にダイヤルできます。〈メッセージウェイト〉……………112ページ
- ドアホンを呼び出すことができます。〈ドアホン接続〉……………113ページ

内部からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉

受話器を取り上げて応答するとき〈内線自動応答〉



- 1 着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話しします。

さらに便利な使い方

- 着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉……………111ページ
- 忙しいときに、着信を拒否できます。〈ドント・ディスターブ (DND)〉……………94ページ
- 外部スピーカの呼び出しに応答できます。〈ミート・ミー応答〉……………105ページ
- 着信を指定した電話機へ転送できます。〈不在転送／話中転送／未応答転送〉……………107ページ
- 設定した時刻に電話機を鳴らすことができます。〈モーニングコール〉……………111ページ

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DS
ユニット
付き
多機能
電話機

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

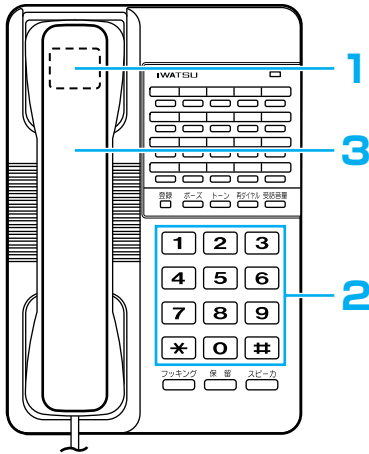
7
システム
機能

8
ご参考
に

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉

外線の保留／再びお話しするとき〈外線保留／応答〉

● 外線の保留〈外線自己保留〉



1 通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※ 回転ダイヤル式でご使用の場合、この操作をしないで直接保留応答のための特番をダイヤルする方法がデータ設定により、登録できます。

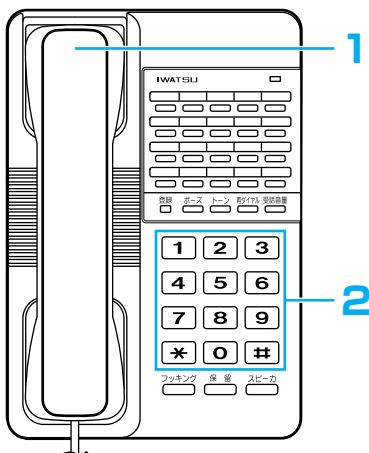
2 「保留応答特番」を押します。

3 受話器を置きます。

保留中は受話器を置いても外線はつながっています。また保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

※ 保留警報機能がデータ設定により、あらかじめ登録されている場合は、保留状態が設定時間を超えると「ブルブルブル」と警報が鳴ります。その後、共通保留となり、他の電話機による応答が可能になります。

● 保留した外線の応答〈保留外線応答〉



1 受話器を取り上げます。

2 「保留応答特番」を押します。

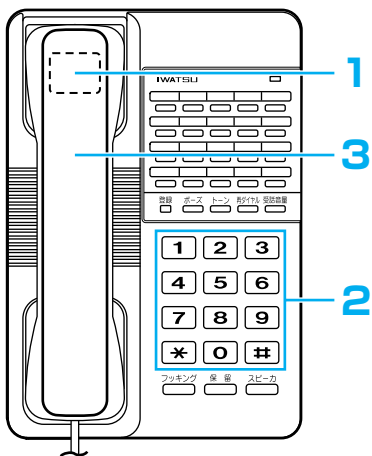
3 お話しします。

Note

- 単独電話機で自己保留できる外線は1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線の保留／再びお話しするとき〈内線保留／応答〉

● 内線の保留〈内線自己保留〉



1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

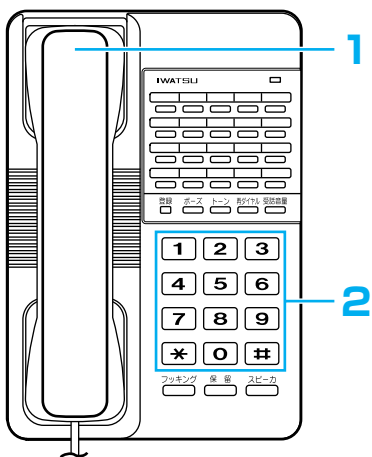
2 「保留応答特番」を押します。

3 受話器を置きます。
保留中は、受話器を置いても内線はつながっています。また保留中は、相手には保留音のみが聞こえます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

● 保留内線の応答〈保留内線応答〉



1 受話器を取り上げます。

2 「保留応答特番」を押します。

3 お話しします。

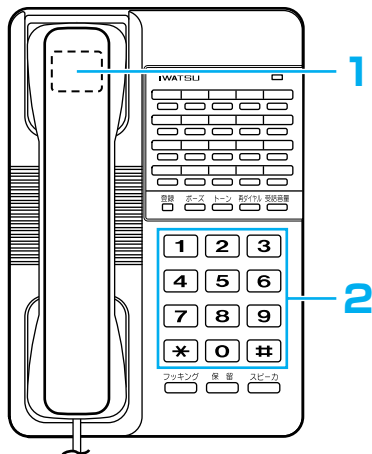
Note

- 「保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

お待ちいただくとき／再びお話しするとき〈保留／応答〉

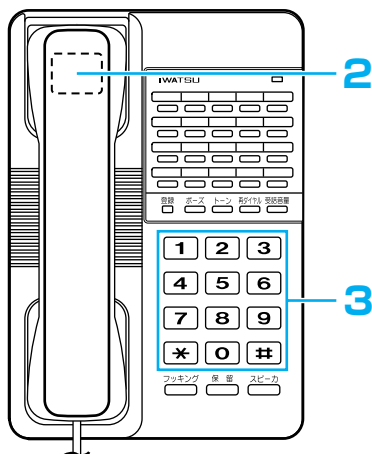
保留した電話を他の人が受けないようにするとき〈個別パーク保留〉

● 外線または内線を個別パーク保留するとき〈個別パーク保留〉



1 通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「個別パーク保留応答特番」を押します。
個別パーク保留となり、他の電話機から応答できなくなります。



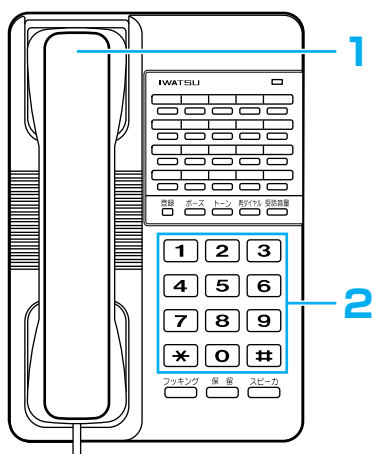
● 個別パーク保留して通話相手を変えるとき

1 他の外線または内線で通話します。

2 新規の相手と通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

3 「個別パーク保留応答特番」を押します。

4 もとの通話相手とつながります。
今度は新規の通話相手が個別パーク保留されます。
※上記手順（2）～（4）の操作を繰り返すことにより、2つの通話相手との保留、応答が瞬時に切り替えられます。



● 個別パーク保留した外線または内線に応答するとき 〈個別パーク応答／個別パークリモート応答〉

1 受話器を取り上げます。

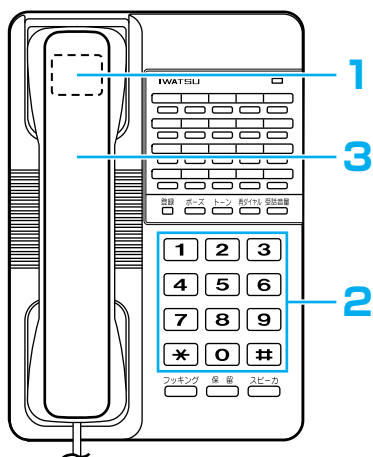
2 該当する特番または必要な番号を押します。
● 個別パーク保留した電話機で応答する場合
→ 個別パーク保留応答のための特番を押します。
● 他の電話機から個別パーク保留に応答するリモート応答の場合
→ 1. 個別パークリモート応答のための特番を押します。
2. 個別パーク保留した電話機の内線番号を押します。

3 お話しします。

Note

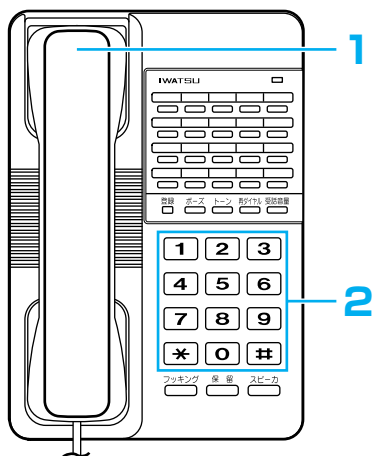
- 単独電話機で個別パーク保留できる外線または内線は、1つだけです。フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「個別パーク保留応答特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線グループで保留した電話を他のグループの電話機で応答できないようにするとき〈グループパーク保留〉



●グループパーク保留を行うとき〈グループパーク保留〉

- 1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
- 2 使用するパークオービット番号を押します。
グループパーク保留となり、内線グループ外の電話機から応答できなくなります。
- 3 受話器を置きます。



●再びお話しするとき〈グループパーク保留応答〉

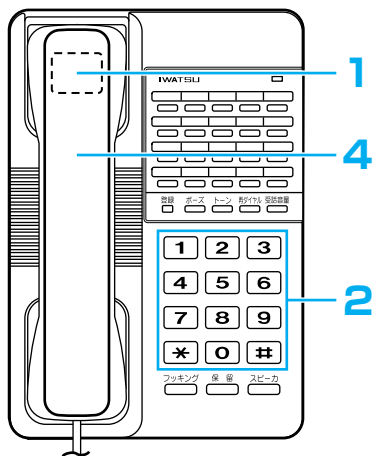
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 パークオービット番号を押します。
- 3 お話しします。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- パークオービット番号はデータ設定により、あらかじめ最大60個以内で登録が必要です。
- 内線通話をグループパーク保留するときは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話を他の人に回すとき〈外線転送〉

特定の内線電話機に回すとき〈外線自動転送/外線キャンプオン〉



1 通話の状態ですフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
 ※回転ダイヤル式でご使用の場合、データ設定によりフッキングをしないで直接転送先の電話番号をダイヤルする方法もあります。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

※専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。
 ※強制的に転送する場合（外線キャンプオン）は、このあと受話器を置きます。転送先が別の通話をしているときは、転送を知らせる音が聞こえます。あらかじめ登録されているキャンプオン着信音監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、他の電話機でも応答できるようになります。

3 内線がつながったら、「〇〇さん、電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、受話器を置くと「プププ」という呼出音が鳴ります。受話器を取り上げて応答すると、転送保留した外線と通話できます。

4 受話器を置きます。

転送された人は、そのままお話しできます。

Note

- 転送保留機能、外線キャンプオン機能を使用する単独電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- あらかじめ内線グループ分けのデータ設定で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

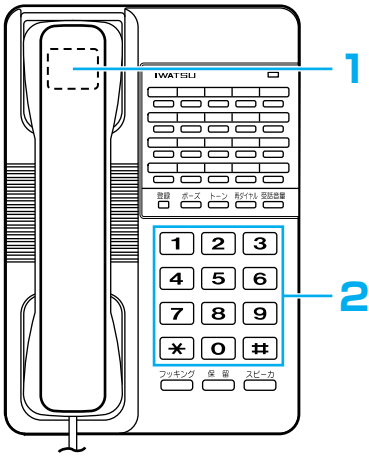
さらに便利な使い方

- 通話中の内線を強制的に他の内線へ転送できます。〈内線キャンプオン〉……………109ページ
- 着信音の鳴る前に電話機を鳴らすことができます。〈プレシグナル〉……………111ページ
- 忙しいときに、着信を拒否できます。〈ドント・ディスターブ（DND）〉……………94ページ
- 外部スピーカの呼び出しに応答できます。〈ミー・ミー応答〉……………105ページ
- 着信を指定した電話機へ転送できます。〈不在転送/話中転送/未応答転送〉……………107ページ

機能特番の使い方

機能特番とは、システムに入っている機能をアクセスしたいときにダイヤルする番号です。
以下の機能は工事によって登録する必要があります。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

機能特番をダイヤルするとき



1 通話中の場合はフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※使用していない場合は、受話器を取り上げます。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 機能特番を押します。

以下の機能の機能特番が使用できます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 以下の機能の機能特番が使用できます

表の特番空欄部には、登録したダイヤル番号を書き込めます。
※ダイヤル番号は、データ設定により登録されます。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

特番	機能	特番	機能
	キャンセル特番		コールバック特番
	短縮番号発信特番		メッセージウェイト特番
	短縮番号登録特番（グループ無）		転送先変更特番
	短縮番号登録特番（グループ有）		転送モード切り替え特番
	ラストナンバリダイヤル特番		転送特番
	トランクキューイング特番		ドント・ディスタープ特番
	タイムドトランクキューイング特番		ミーティング・ミー応答特番
	保留応答特番		案内サービス特番
	グループ内代理応答特番		モーニングコール特番
	グループ外代理応答特番		電話機パスワード登録特番
	個別代理応答特番		代行発信
	個別パーク保留応答特番		代行切断
	個別パークリモート応答特番		中継台呼び出し
	ロングフラッシュ特番		すべての外線グループに対応する応答特番
	ショートフラッシュ特番		
	複数外線会議特番		

1 ご利用いただく前に

2 多機能電話機

3 単独電話機

4 DSSユニット付き多機能電話機

5 中継台（ATT）

6 ISDN

7 システム機能

8 ご参考に

外線／内線に共通な機能

話中着信

通話中でも他の呼出音を鳴らすことができます。

通話中に他の着信があると、「プププ」という小さな着信音が受話器から聞こえます。



Note

話中着信機能をさせたくない電話機を、データ設定により、登録することができます。

内線からの話中着信機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ドント・ディスターブ (DND)

一時的に着信を拒否することができます。

● 設定方法

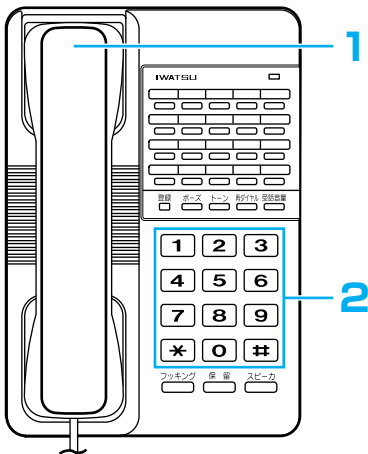
1 受話器を取り上げます。

2 「ドント・ディスターブ特番」を押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

● 解除方法

1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「ドント・ディスターブ特番」の順に押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえ、通常の状態になります。

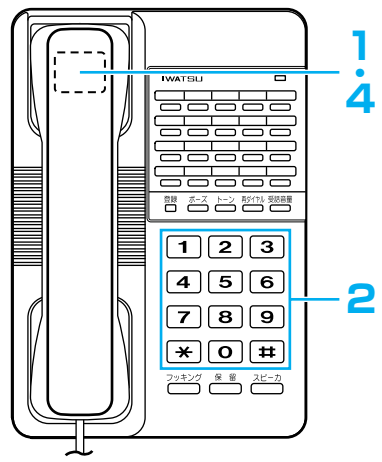


Note

- 着信拒否中でも、リコールは着信拒否できません。
- 着信拒否中の電話機に内線電話した場合は、発信電話機に「ブーブーブーツ」という着信拒否音が聞こえます。
- 着信拒否中の電話機でも発信に関する制約はありません。
- 着信拒否の設定、解除をするための特番は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「ドント・ディスターブ特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線会議通話

外線と通話中に他の内線電話機を呼び出して3人または4人で通話することができます。



4人で通話するとき

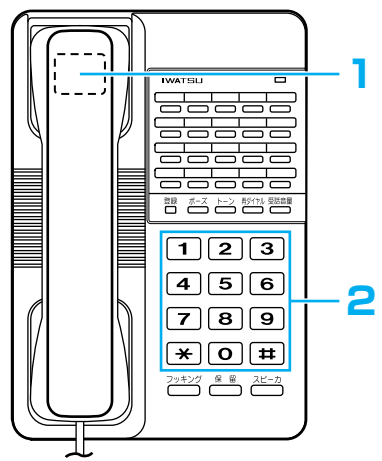
- 1 通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わります。
- 2 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3 つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 4 内線通話の状態でも再びフッキングをします。
会議通話の準備ができると、外線および内線に「ブー」というお知らせ音が聞こえます。
- 5 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人での会議通話が行えます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

Note

- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 内線グループが完全に分かれている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることもできます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

複数外線会議通話

外線と通話中に他の外線呼び出して3人または4人で通話することができます。



4人で通話するとき

- 1 外線の自己保留があり、さらに別の外線と通話の状態にあるとき、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
- 2 「複数外線会議特番」をダイヤルします。
- 3 会議通話を始めます。
※この状態で、さらに内線呼び出すと、2外線、2内線による4人の会議通話ができます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

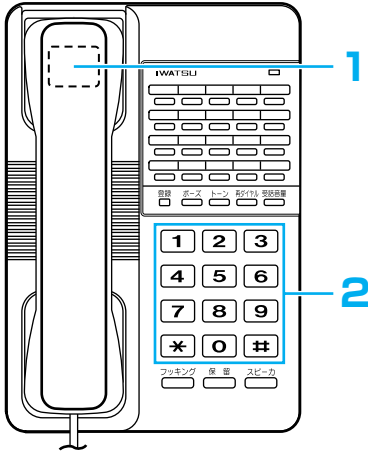
Note

- 内線グループが完全に分かれている場合を除き、外線応答規制されている内線電話も会議に参加させることもできます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 複数外線会議特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線／内線に共通な機能

外線間会議通話

会議通話終了後に外の人（外線） どうして通話していただけます。



1 複数外線会議（外線2人、内線1人）の通話の状態
でフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）を
します。

外線どうしは通話状態のままです。

2 「保留応答特番」をダイヤルします。

3 外線どうしでお話ししていただけます。

自分の電話機は保留状態になります。

※外線どうしで通話中に「保留応答特番」を押すと、再び会議に参加できます。

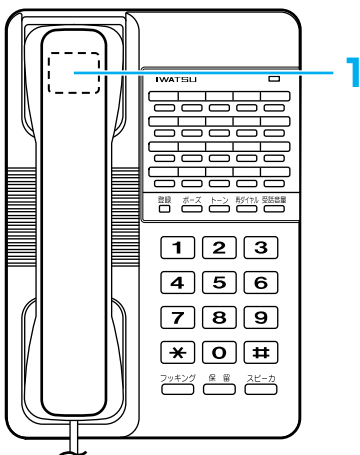


Note

- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。
- フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- 「保留応答特番」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

応答保留

通話中に他の着信（話中着信）があったとき、現在の通話を保留にして話中着信に応答することができます。



1 通話中に他の着信（話中着信）があり、それに応答したい場合は、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

通話中の通話は保留されます。

2 着信していた相手とお話しします。

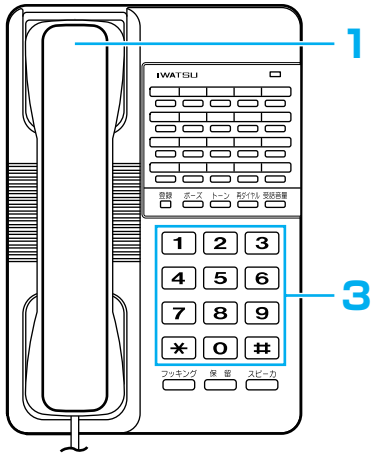
※このあと通話状態のときに再びフッキングすると、保留していた最初の相手とお話しを再開することができます。
ただし話中着信の相手は保留にならず切断されます。



Note

応答保留する場合はデータ設定が必要です。

外線に関する機能



Note

空外線自動捕捉機能を使用する場合は、電話機ごとに、使用する外線アクセス番号、または外線グループアクセス番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

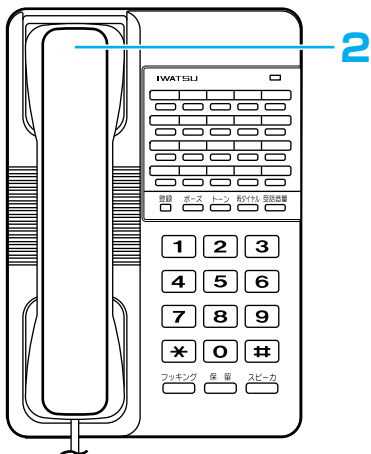
空外線自動捕捉

受話器を取り上げるだけで自動的に空いている外線を探すことができます。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 空いている外線が自動的に捕捉されます。
「ツー」という外線発信音が聞こえます。
※すべての外線が使用中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。
- 3 電話番号をダイヤルします。
※ISDN回線で押しボタンダイヤル（PB）式をご使用の場合は、最後に「#」ボタンを押します。

外線着信自動応答

受話器を取り上げるだけで自動的にかかってきた外線に応答することができます。



- 1 着信鳴音指定されている外線に着信があると、着信音が鳴ります。
- 2 受話器を取り上げます。
- 3 お話します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSUユニット付き

5
中継台（ATT）

6
ISDN

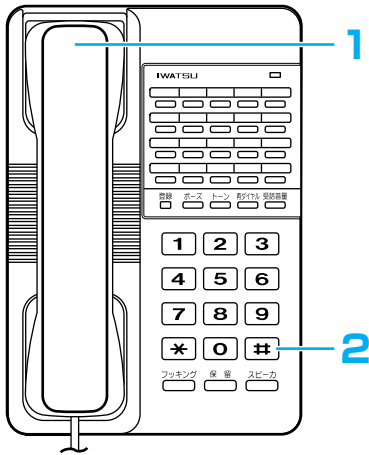
7
システム機能

8
ご参考に

外線に関する機能

ラストナンバリダイヤル

簡単な操作で最後に電話した相手に再びかけ直すことができます。



1 受話器を取り上げます。

2 「#」ボタンを押します。
回転ダイヤル式でご使用の場合は「ラストナンバリダイヤル特番」をダイヤルします。

3 自動的にダイヤルされます。
※最後にダイヤルした外線アクセス番号、外線グループアクセス番号に該当する外線につながりますので、該当する外線が使用中の場合は「ツーツー」という話中音が聞こえます。この場合は通話先がお話し中とは限りません。

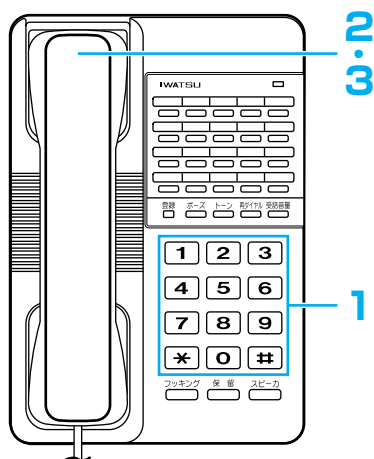
Note

- この機能は常に最後にダイヤルした電話番号が対象となります。
- 転送中、通話中のダイヤルは、ラストナンバリダイヤルの対象とはなりません。
- 記憶される有効ダイヤル桁数は48桁以内です。
- 「ラストナンバリダイヤル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

トランクキューイング

外線が空いたことを知ることができます。

● 外線の予約方法



1 外線が空いていない状態で「トランクキューイング特番」を押します。

※設定が完了すると確認音が聞こえます。

2 受話器を置きます。

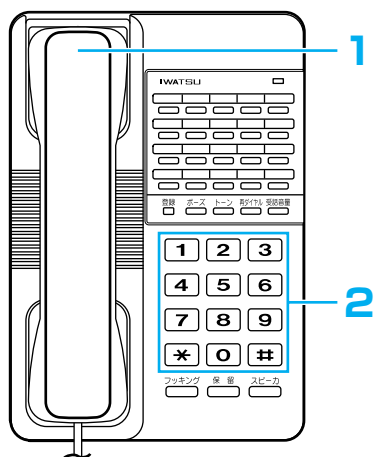
3 「プルプル」というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。

※お知らせ音は、指定した外線が空くか、外線グループに空き外線が見つかりと鳴ります。

※短縮ダイヤルまたはラストナンバーダイヤルを行い、外線が空いていなかったためこの操作をした場合は、お知らせ音にตอบสนองしただけでその番号を自動ダイヤルします。

Note

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ設定してある時間内に応答してください。
- トランクキューイングおよび後述のタイムドトランクキューイングは、電話機ごとに1つしか予約できません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、あらかじめデータ設定されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。
- 「キャンセル特番」、「トランクキューイング特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 外線予約の解除方法

1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「トランクキューイング特番」の順に押します。

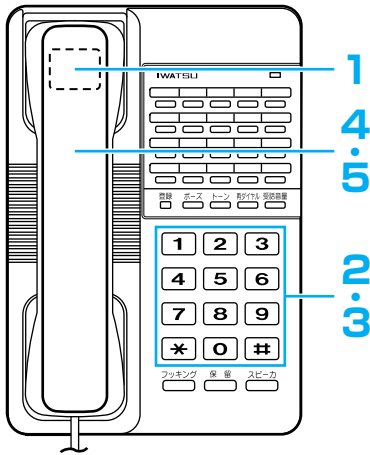
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

外線に関する機能

タイムドランクキューイング

指定時間後に外線を使用する予約をすることができます。

● 外線時間予約方法



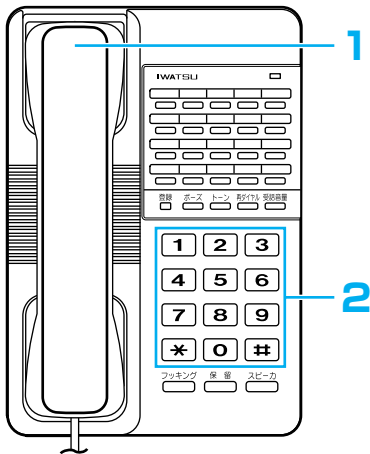
1 電話をかけた相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態ですべてのフックスイッチをポンと一瞬押します。

2 「タイムドランクキューイング特番」をダイヤルします。

3 何分後（1～9分）に知らせてもらうかを、該当する数字ボタンで押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

4 受話器を置きます。

5 「プルプル」 というお知らせ音が鳴ったら受話器を取り上げます。
お知らせ音は、指定した外線が空くか、または外線グループに空き外線が見つかったと鳴ります。



● 外線時間予約の解除方法

1 受話器を取り上げます。

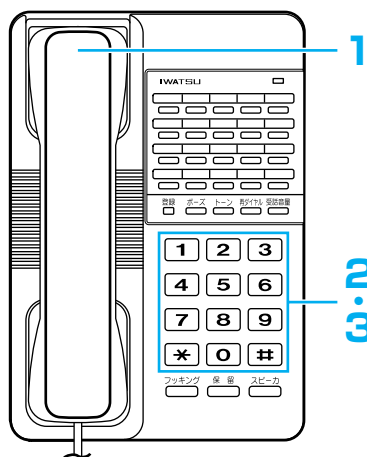
2 「キャンセル特番」、「タイムドランクキューイング特番」の順に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

Note

- お知らせ音が鳴ったら、あらかじめ設定してある時間内に応答してください。
- タイムドランクキューイングおよび前述のトランクキューイングは、電話機ごとに1つしか予約できません。
- 複数の電話機が同一外線の予約をしている場合は、あらかじめ登録されている電話機の優先順に、外線の空きが知らされます。
- 「キャンセル特番」、「タイムドランクキューイング特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

ACR発信

回線事業者を選択して電話をすることができます。この機能は、NTT（日本電信電話）、KDDI（ケーディーディーアイ）、JT（日本テレコム）など、複数のNCC各社と契約している場合に使用できます。



1 受話器を取り上げます。

2 「LCR発信特番」をダイヤルします。

※データ設定により、あらかじめ自動LCRモードに登録されている電話機の場合は、この操作を省略し、外線アクセス番号または外線グループアクセス番号をダイヤルし、相手の電話番号をダイヤルするだけです。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

3 相手の電話番号をダイヤルします。

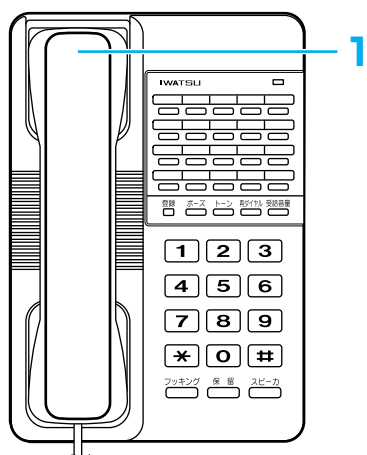
NTTおよびNCC各社の中から回線を自動的に選んで発信します。
※ISDN回線のとこで押しボタンダイヤル（PB）式をご使用の場合は、最後に「#」ボタンを押します。

Note

「LCR発信特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線自動発信

受話器を取り上げるだけで、特定の相手に自動的に発信することができます。



1 受話器を取り上げます。

2 個別短縮番号（99）に登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。

※外線自動発信を行う電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線に関する機能

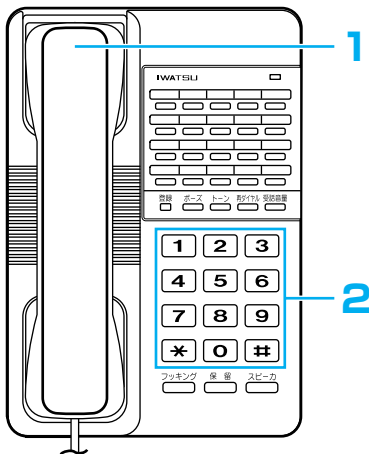
外線別着信音色指定

着信音の鳴り方を外線ごとに分けられます。別の内線グループが近くにあって、鳴り方で区別できます（3種類まで）。

※あらかじめ外線ごとの鳴り方はデータ設定されます。鳴り方は「単独電話機の鳴る音」（114ページ）をご参照ください。

着信代理応答

個別着信に対し他の電話機で応答することができます。



1 受話器を取り上げます。

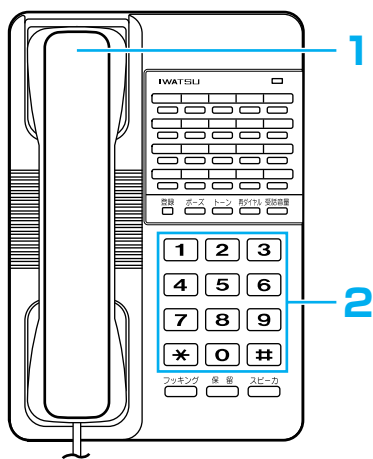
2 該当する特番と必要な番号を押します。

- グループ内への着信の場合
→「グループ内代理応答特番」
- 他の内線グループ（部署など）への着信の場合
→「グループ外代理応答特番」と、着信している電話機のグループ番号
- 着信している電話機の内線番号を指定して応答する場合
→「個別代理特番」と、着信している電話機の内線番号

3 お話します。

Note

- あらかじめ外線応答規制されている外線には代理応答できません。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「グループ内代理応答特番」、「グループ外代理応答特番」、「個別代理応答特番」と、内線番号は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



Note

- 複数の着信がある場合は、先着順の応答となります。
- すべての外線グループに対応する応答特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線着信グループ応答

他の電話機にかかってきた外線に応答することができます。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「すべての外線グループに対応する応答特番」を押します。
- 3 お話します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DSS
ユニット付き
多機能
電話機

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

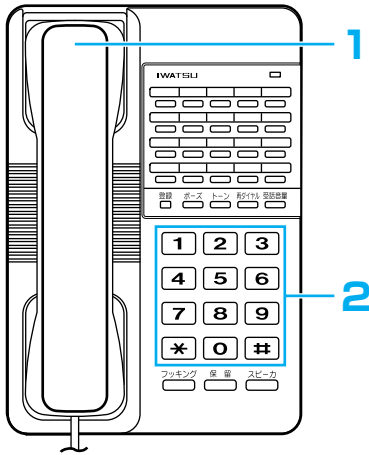
7
システム
機能

8
ご参考
に

内線に関する機能

空内線自動捕捉

内線を自動的に捕捉することができます。



1 受話器を取り上げます。
「ブー」という内線発信音が聞こえます。

2 内線番号をダイヤルします。

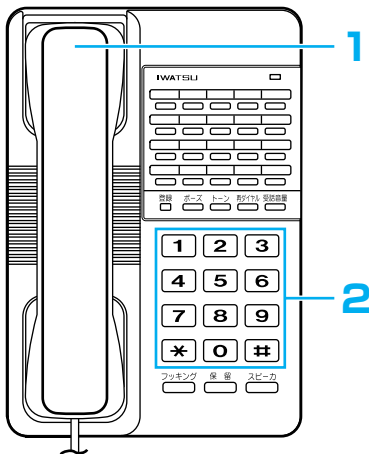


Note

外線と接続中のときは、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をすることで内線につながります。
フッキングはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。



1 受話器を取り上げます。

2 該当する特番をダイヤルします。

- 電話機および外部スピーカを一斉に呼び出す場合
→「一斉呼び出し特番」
- グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合
→「グループ呼び出し特番」
- 外部スピーカを対象に呼び出す場合
→「ページング呼び出し特番」

3 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。

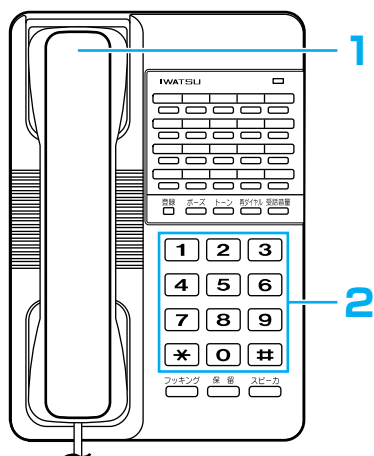


Note

- 各呼び出しの対象となる多機能電話機と外部スピーカは、データ設定により登録が必要です。
- グループ呼び出しの対象として登録できる多機能電話機は、最大30グループ、1グループあたり最大64台の電話機となります。
- ページング呼び出しの対象として登録できる外部スピーカは、最大30グループ、1グループあたり最大64のスピーカとなります。
- 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」は、データ設定により登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- これらの呼び出しにはミート・ミー応答でしか応答できません。

ミーート・ミー応答

外部スピーカの呼び出しに応答することができます。



1 近くにある単独電話機の受話器を取り上げます。

2 「ミーート・ミー応答特番」を押します。
呼び出しもとの電話機とつながります。

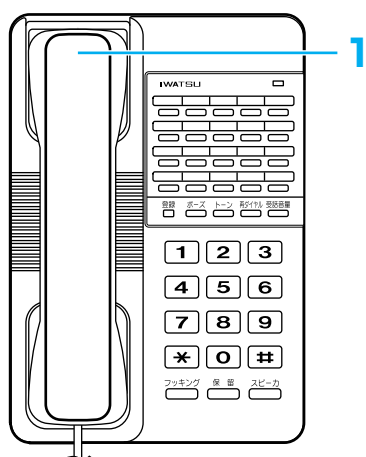
3 お話します。

Note

- ミート・ミー応答機能は、一斉呼び出し、ページング呼び出しに応答するためのものです。使用する電話機は、どの呼び出しに応答するかデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「ミーート・ミー応答特番」は、データ設定により、登録が必要です。

内線ホットライン

受話器を取り上げるだけで、特定の内線電話機を呼び出すことができます。



1 受話器を取り上げます。

2 登録されている内線番号を自動的に呼び出します。

Note

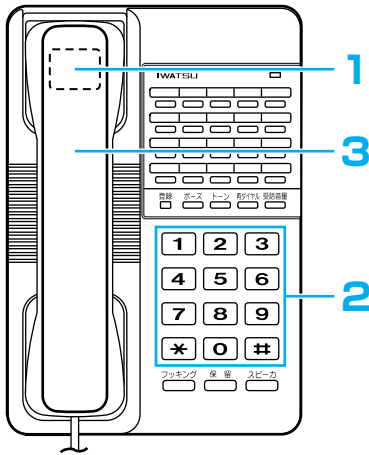
- 内線ホットライン機能を使用するには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。内線番号、パイロット番号、一斉呼び出し番号、グループ呼び出し番号、ページング呼び出し番号を登録できます。

内線に関する機能

内線コールバック

通話中の内線が終了したことをお知らせします。

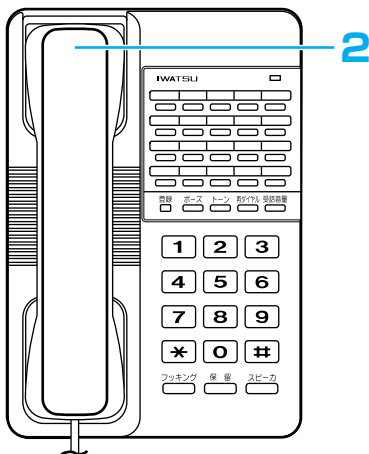
● 設定方法



1 内線の相手が通話の状態の場合に、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「コールバック特番」を押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

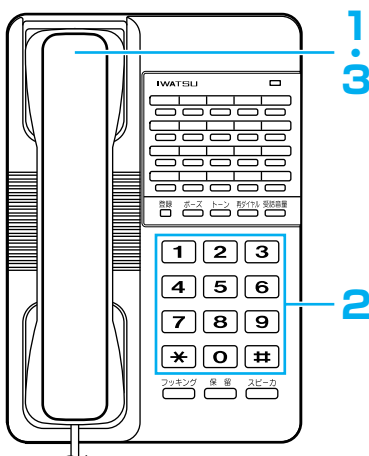


● 呼び返しが来たら

1 内線コールバック音が鳴ります。

2 受話器を取り上げます。
「トルルトルル」という呼出音に切り替わります。
※あらかじめ登録された時間内に応答しないと、取り消されます。

3 相手とつながったら、お話しします。



● 解除方法

1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「コールバック特番」の順に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。



Note

- フッキングはデータ設定により、登録が必要です。
- 「コールバック特番」、「キャンセル特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

オーバーライド

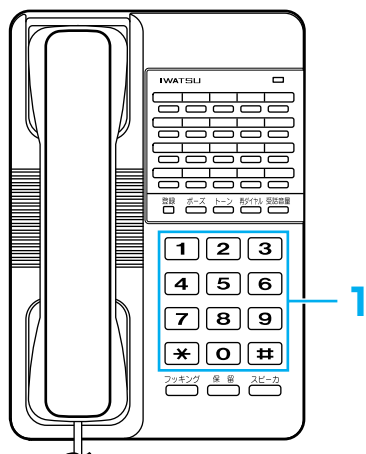
応答しない内線電話機（着信拒否、通話中）を強制的に呼び出せます。この機能はオーバーライド可のデータ設定をされた電話機で利用することができます。

- 1 呼び出したい内線番号をダイヤルします。
- 2 相手が通話の状態でも呼び出しを行います。



Note

オーバーライドを行う単独電話機にはオーバーライド可の登録があらかじめ必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



不在転送／話中転送／未応答転送

自席に不在中または通話中のときなど、かかってきた電話を指定した電話機へ自動的に転送することができます。この機能は不在転送可の設定がされた電話機で利用できます。

● 転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送特番」、転送先の内線番号の順に押します。
※登録が完了すると確認音が聞こえます。

● 転送モードの切り替え方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送モード切り替え特番」を押し、続けて該当する数字ボタンを押します。

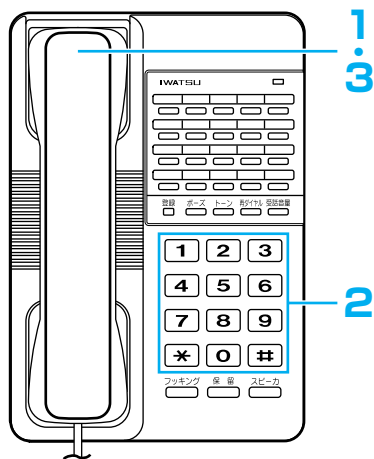
●不在転送モード → 「1」ボタン

●話中/未応答転送モード → 「2」ボタン

●未応答転送モード → 「3」ボタン

※登録が完了すると確認音が聞こえます。

- 3 受話器を置きます。

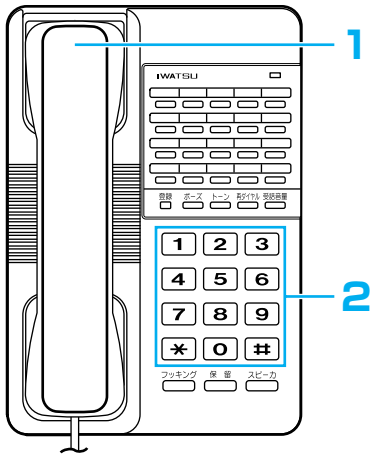


Note

「転送特番」、「転送モード切り替え特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線に関する機能

(前ページの続き)

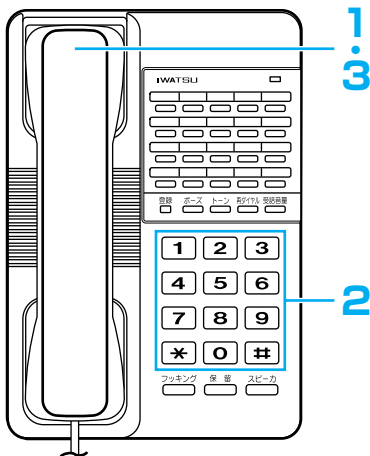


● 転送の取り消し方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「キャンセル特番」、「転送特番」の順に押します。
※取り消しが完了すると確認音が聞こえます。

Note

「キャンセル特番」、「転送特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 別の電話機から転送先を変更する方法

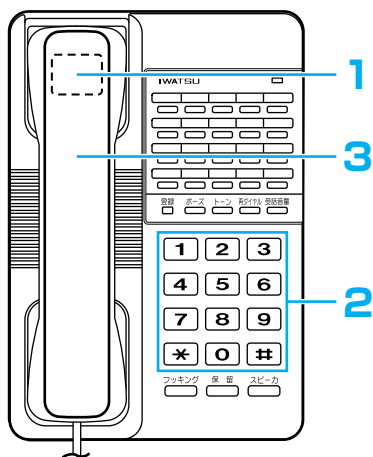
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送先変更特番」、操作している電話機の内線番号の順に押します。
※登録が完了すると確認音が聞こえます。
- 3 受話器を置きます。
転送変更の操作を行った電話機が新しい転送先になります。

Note

- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ不在転送可の登録が必要です。
- 未応答転送機能を使用する電話機は、あらかじめ未応答時間の登録が必要です。
- 内線通話規制されている電話機へは転送できません。
- 「転送先変更特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線キャンプオン

通話中の内線を、他の電話機に強制的に転送することができます。この機能はオンフックキャンプオンにあらかじめ登録された電話機で利用できます。



1 内線通話の状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

※回転ダイヤル式でご使用の場合は、この操作をしないで直接転送先の電話番号をダイヤルする方法をデータ設定により、登録できます。

2 転送先の内線番号をダイヤルします。

※専用線に転送する場合は、タンデム変換ダイヤルまたは専用線アクセス番号、転送先番号の順にダイヤルします。

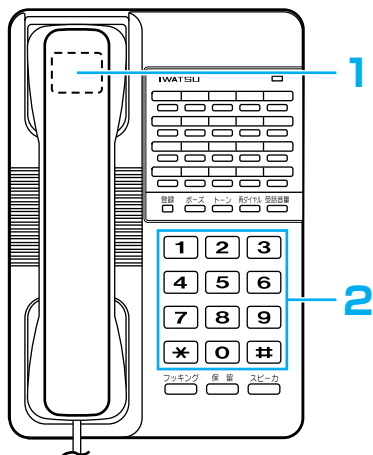
3 受話器を置きます。

Note

フッキングはデータ設定によりあらかじめ登録が必要です。

内線フラッシュ

内線番号のダイヤル途中で電話をかけ直すことができます。



1 そのままの状態でもフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

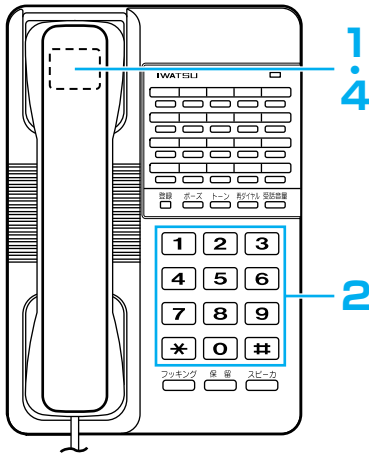
発信状態に戻り「プー」という内線発信音が聞こえます。

2 相手の電話番号をダイヤルし直します。

内線に関する機能

内線会議通話

内線通話中に他の内線電話機を呼び出して、3人または4人で会議通話することができます。



Note

単独電話機がフッキングにより内線転送保留を行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1** 内線通話の状態ですッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
「ツツツツツ」という内線発信音に切り替わり、内線転送保留状態になります。
- 2** 会議通話に参加させたい内線電話番号をダイヤルします。
- 3** つながったら「会議通話に参加してください」のように連絡します。
- 4** 内線通話の状態ですべてフッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。
会議通話の準備ができると、「プー」というお知らせ音が聞こえます。
- 5** 内線会議通話を始めます。
※この状態で、会議に参加している単独電話機のいずれかで、さらに上記手順（1）～（4）の操作を行うと、4人による内線会議通話が行えます。
※会議通話は合計4人まで参加できます。

その他の機能

プレシグナル

着信することを事前にお知らせします。実際に着信音が鳴る2～4秒前に、短い着信音を鳴らすことができます。

モーニングコール

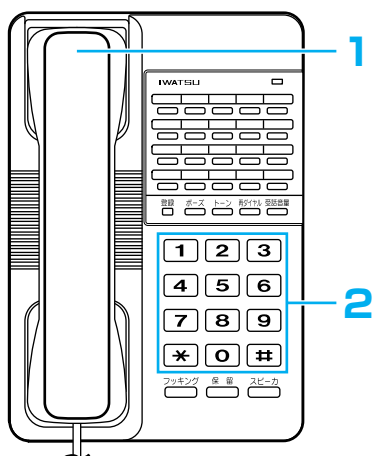
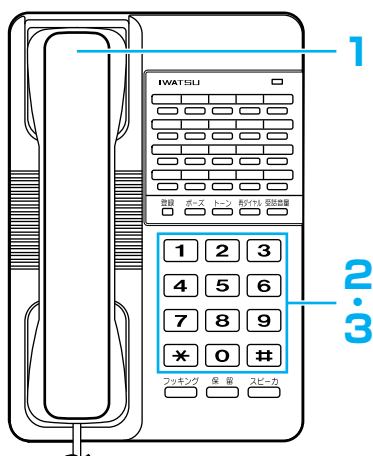
登録した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流すことができます。

●時刻の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「モーニングコール特番」を押します。
- 3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。
- 4 登録した時刻に着信音が鳴ります。
登録時刻の5分前に「ブーブー」という内線着信音が鳴ります。応答しない場合は、登録時刻に再び内線着信音が鳴ります。
※応答がない場合に着信音を鳴らしておく時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●登録時刻の解除方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「キャンセル特番」、「モーニングコール特番」の順に押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。



Note

「モーニングコール特番」、「キャンセル特番」は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

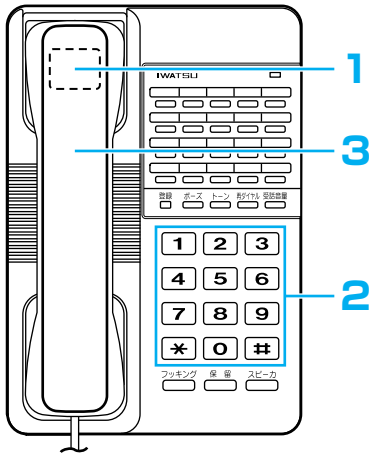
1
前に
ご利用いただく2
多機能
電話機3
単独
電話機4
多機能
電話機
DSSTユニット付き5
中継台
(ATT)6
ISDN7
システム
機能8
ご参考
に

その他の機能

メッセージウェイト

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

●メッセージウェイトの設定方法

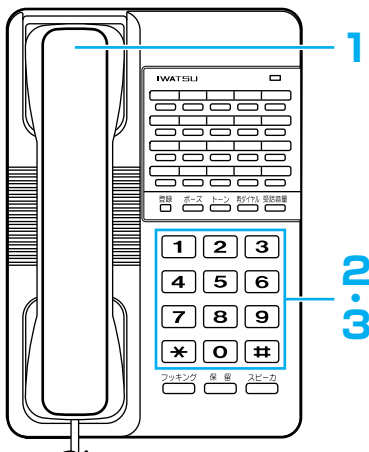


1 呼び出したい相手が通話の状態または応答しないとき、そのままの状態、フッキング（フックスイッチをポンと一瞬押す）をします。

2 「メッセージウェイト特番」を押します。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

3 受話器を置きます。

●メッセージウェイトの解除方法

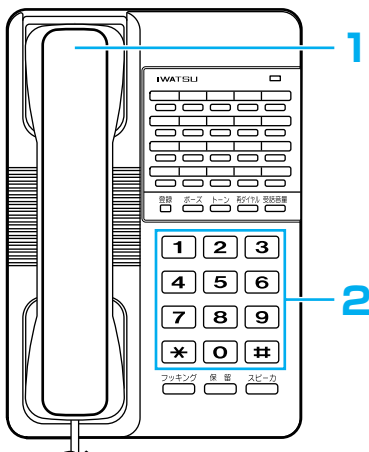


1 受話器を取り上げます。

2 「キャンセル特番」、「メッセージウェイト特番」の順に押します。

3 メッセージウェイトを登録した先の内線番号を押します。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。

●連絡を待っている相手の呼び出し



1 受話器を取り上げます。

2 「メッセージウェイト特番」を押します。
連絡を待っている相手の内線が自動的に呼び出されます。

Note

- 1台の電話機に対して4通のメッセージウェイトを記憶させることができます。
- 「メッセージウェイト特番」、「キャンセル特番」受け取りを行う電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

電話機パスワード

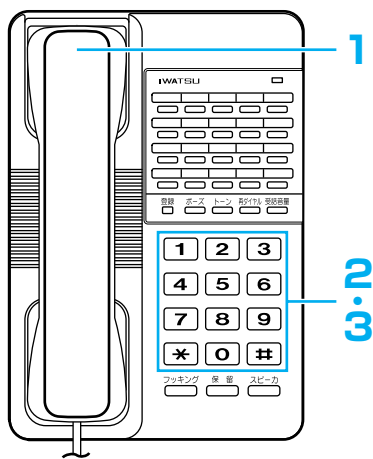
外線の無断使用をパスワードで規制することができます。

● 外線、専用線の発信規制

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「電話機パスワード登録特番」を押します。
- 3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
その電話機からは外線の発信ができなくなります。
※設定が完了すると確認音が聞こえます。

● 発信規制の解除方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「キャンセル特番」、「電話機パスワード登録特番」の順にダイヤルします。
- 3 決められたパスワード（最大6桁）を押します。
発信規制が解除され、その電話機からの外線発信が可能になります。
※解除が完了すると確認音が聞こえます。



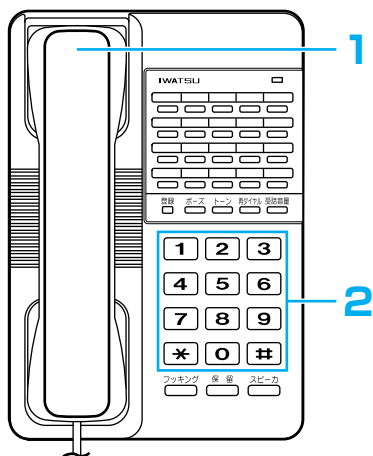
Note

- 電話機ごとのパスワード（最大6桁以内の番号）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「電話機パスワード登録特番」、「キャンセル特番」およびパスワードは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ドアホン接続

内線からドアホンを呼び出すことができます。

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 呼び出すドアホンの内線番号をダイヤルします。
- 3 相手が出たら、お話しします。



Note

- ドアホンと通話するには、データ設定により、あらかじめドアホンごとに内線番号の登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- ドアホン1台ごとに、呼び出せる内線電話機は16台までです。

単独電話機の音について

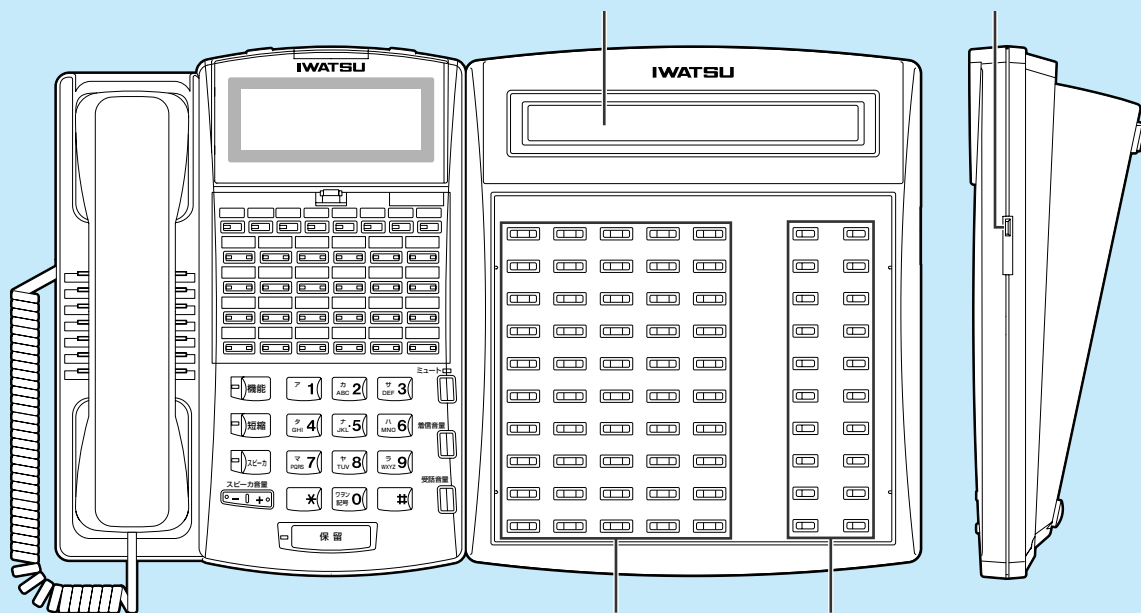
単独電話機で受話器から聞こえる音

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
単独電話機の通話路に送出される外線による呼び出しに関する機能	800	プブ、プブ、・・・	通話中に外線から電話がかかってきたとき
単独電話機の通話路に送出される内線による呼び出しに関する機能	400	ツツツ、ツツツ・・・	通話中に内線から電話がかかってきたとき
長時間アラーム音	800	プブブ、	一定時間、通話したことをお知らせするアラーム音

単独電話機の鳴る音

状態	音色 (Hz)	鳴り方	こんなとき聞こえます
モーニングコール	単独電話機の着信音色はすべて20Hz	ブルブル、ブルブル、・・・	設定時刻にシステムからのメッセージがあるとき
転送保留リコール・着信警報音・外線リコール・外線コールバック		トゥルトルトウル、トゥルトルトウル、・・・	警報着信がかかったとき
外線着信1／外線キャンブオン1		ブルルルル、ブルルルル、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン2		トゥルルルルツ、トゥルルルルツ、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン3		ブルブル、ブルブル、・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
外線着信1／外線キャンブオン4		ブルルルル、ブルルルル・・・	外線通話が転送、あるいは外線に電話がかかってきたとき
内線リコール		トゥルトルトウル、トゥルトルトウル、・・・	内線通話の転送操作を途中でやめたとき
内線コールバック		ブルブル、ブルブル、・・・	通話中の内線通話が終了したとき
内線キャンブオン		ブルブル、ブルブル、・・・	呼び出し先の通話が終了したとき
内線着信		トゥルトルトウル、トゥルトルトウル、・・・	内線からの呼び出し
ドアホン着信1-4		ブルブル、ブルブル、・・・	ドアホンからの呼び出しがあったとき

4.DSSユニット付き 多機能電話機



LCDディスプレイ
時刻、ダイヤルした番号、
通話状態を表示します。

**ディスプレイ輝度調整
ボリューム**

DSSボタン
内線電話機をワンタッチで呼び出
すDSSボタンで、フレキシブルボ
タン登録により設定します。
LEDにより各電話機の使用状態を
表示します。
DSS以外の機能を割り当てること
もできます。

フレキシブルボタン
フレキシブルボタン登録により、機能割
り当てることにより、操作をワンタッチで
行います。

DSSユニットの概要

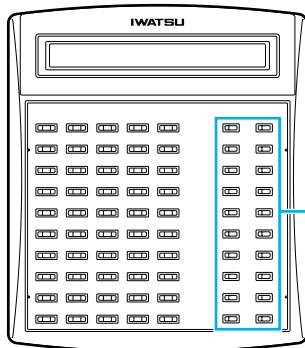
- 1台の多機能電話機に、最大4台のDSSユニットを取り付けることができます。
- DSSユニットには50個の「DSS」ボタン（赤色、緑色ランプ付き）と20個の「機能」ボタン（赤色ランプ付き）があります。
- 基本的な操作に関しては、多機能電話機の使い方（16ページ）をご参照ください。
- 50個の「DSS」ボタンは「画面1」ボタン（1～50）、「画面2」ボタン（51～100）を押すことで合計100個のボタンとして使用することができます。

Note

- システムに付けられる中継台、DSSユニット、BLFは最大8台までです。
ただし、メインメモリの種類により最大15台まで拡張できます。

DSSユニットの「DSS」ボタンに登録されているもの

20個の「DSS」ボタンには以下のボタンが割り付けられています。



「画面1」ボタン
「時刻調整」ボタン
「強制解放」ボタン
「プログラミング」ボタン
「メッセージウェイトコントロール」ボタン
「着信音止」ボタン
グループパーク58
グループパーク59
グループパーク60
「接続」ボタン

「画面2」ボタン
「夜間切り替え」ボタン
「分散切り替え」ボタン
「サービスクラス切り替え」ボタン
「外線アクセス制御」ボタン
「スプリット」ボタン
「シリアルコール」ボタン
「リコール応答」ボタン
「強制呼び出し」ボタン
「切断」ボタン

DSSユニットの「DSS」ボタンに登録できるもの

データ設定により、DSSユニットの「DSS」ボタンには以下のボタンを割り付けることができます。

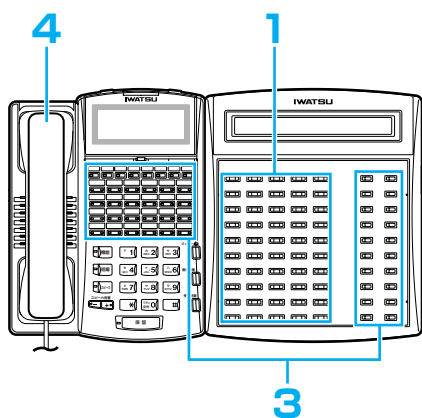
「接続」ボタン	「スプリット」ボタン	「シリアルコール」ボタン	「強制呼び出し」ボタン	「プログラミング」ボタン
「応答」ボタン	「呼び監視」ボタン	「応答メッセージ」ボタン	「モーニングコール」ボタン	—
「ディステーション」ボタン	「切断」ボタン	「リコール応答」ボタン	「ソース」ボタン	—
「着信音止」ボタン	「夜間切り替え」ボタン	「分散切り替え」ボタン	「グループパーク」ボタン	—
「外線アクセス制御」ボタン	「パスワード」ボタン	「メッセージウェイトコントロール」ボタン	「サービスクラス切り替え」ボタン	—
「時刻調整」ボタン	「音声案内録音」ボタン	CRT（「不在転送強制解放」ボタン）	「強制解放」ボタン	—
TRL（「外線強制解放」ボタン）	SRL（「内線強制解放」ボタン）	「画面1」ボタン	「画面2」ボタン	—

外からの電話に応答／転送するとき 〈外線着信／転送〉

外からの電話を受けるとき 〈外線着信〉

多機能電話機と同様の操作です。22ページをご参照ください。

通話を特定の内線電話機に回すとき 〈保留した外線の自動転送／外線キャンプオン〉



1 通話の状態です転送先の「内線番号」ボタンを押します。

2 内線とつながったら、「〇〇さん××番に電話です」のように連絡します。

※転送できない場合は、「切断」ボタンを押せば保留した外線に応答できます。

※強制的に転送する場合（外線キャンプオン）は、手順（2）の操作は省略してすぐに「接続」ボタンを押します。

3 「接続」ボタンを押します。

4 受話器を置きます。
転送された人はそのままお話しできます。

Note

- あらかじめ内線グループ分けの登録で、保留中の外線が外線応答規制されている電話機には転送できません。内線グループ分けの登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- あらかじめデータ設定されている着信応答監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、「ププププ」という呼び返し音が鳴ります。
- 「内線番号」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 通話中でも他の着信に応答することができます。〈自動自己保留〉……………122ページ
- 外線を他の中継台に転送することができます。〈台間転送〉……………124ページ
- 着信が多くて処理できない場合、他の電話機に着信を転送することができます。〈オーバーフロー転送〉……………125ページ
- 着信音を停止することができます。〈着信音停止〉……………126ページ
- 転送先が転送した外線との通話を終了したあとに、再び外線と通話することができます。〈シリアルコール〉……………129ページ
- 昼間と夜間で着信音を鳴らす電話機を切り替えることができます。〈夜間切り替え〉〈分散切り替え〉……………130ページ
- 休日などに流すメッセージを切り替えることができます。〈外線自動応答レベル切り替え〉……………134ページ
- 音声案内の録音・消去を行うことができます。〈音声案内登録〉……………135ページ

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

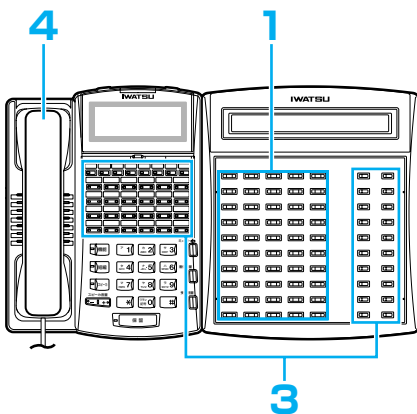
8
ご参考に

内部からの呼び出しに応答／転送するとき〈内線着信／転送〉

内線からの呼び出しを受けるとき〈内線応答〉

多機能電話機と同様の操作です。26ページをご参照ください。

通話を特定の内線電話機に回すとき



1 通話の状態です転送先の「内線番号」ボタンを押します。

2 内線とつながったら、「〇〇さんから電話です」のように連絡します。

※ 転送できない場合は、「切断」ボタンを押せば保留した内線に応答できます。

※ 強制的に転送する場合（内線キャンプオン）は、手順（2）の操作は省略してすぐに「接続」ボタンを押します。

3 「接続」ボタンを押します。

4 受話器を置きます。
転送された人はそのままお話しできます。

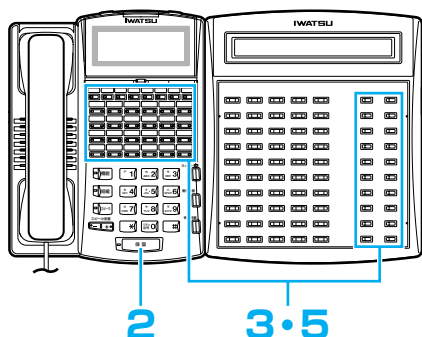
Note

- あらかじめ内線グループ分けの登録で、保留中の内線が外線応答規制されている場合でも転送できます。
- あらかじめ登録されている着信応答監視時間を経過しても、転送先が応答しない場合は、「ププププ」という呼び返し音が鳴ります。
- 「内線番号」、「切断」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 通話中でも他の着信に応答することができます。〈自動自己保留〉…………… | 22ページ
- 着信音を停止することができます。〈着信音停止〉…………… | 26ページ
- ランプ表示で他の電話機の状態を知ることができます。〈DSSのランプ表示〉…………… | 27ページ

外線に発信するとき〈外線発信〉

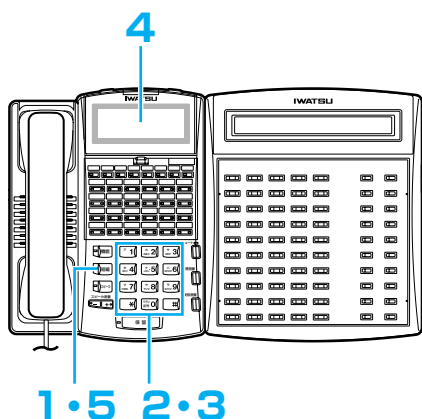

Note

「外線」、「外線番号」、「外線」、「接続」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線または専用線からの依頼で外に電話するとき〈スルーダイヤリング〉

- 1 内線の着信に応答します。
- 2 「保留」ボタンを押します。
- 3 「外線」ボタン（または、「外線番号」ボタンまたは「外線」ボタン）を押します。
- 4 「ツー」という発信音を確認します。
- 5 該当するボタンと必要な番号をダイヤルします。
 - 内線からの場合
 - 「接続」ボタンを押します。
 - 専用線からの依頼で外に電話する場合
 - 依頼された電話番号をダイヤルし「接続」ボタンを押します。
- 6 内線の依頼人に外線が自動的に回ります。

短縮ダイヤルでかけるとき〈スクロール発信〉



- 1 「短縮」ボタンを押します。
※「短縮」ボタンを押す前に発信外線を選択したときは、短縮番号に登録した発信グループ番号は無視されます。
- 2 「＊」ボタンを押します。
- 3 短縮番号をダイヤルします。
- 4 ディスプレイに電話番号と相手先名が表示されます。
※登録内容の表示中、「＃」ボタンを押すと次の短縮番号の登録内容が、「＊」ボタンを押すと1つ前の短縮番号の登録内容が表示されます。
- 5 「短縮」ボタンを押します。
- 6 自動的に使用できる外線を選択して、登録されている電話番号がダイヤルされます。

(次ページへ続く)

外線に発信するとき〈外線発信〉

(前ページの続き)

さらに便利な使い方

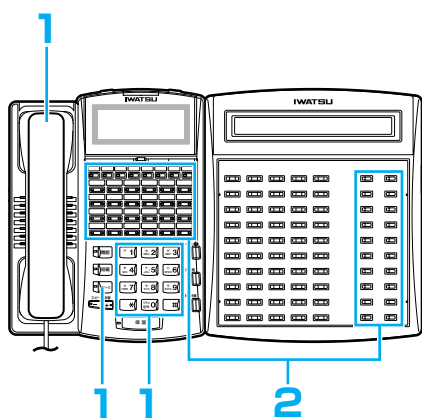
- 電話機ごと、または内線グループごとの市外発信規制を切り替えることができます。〈内線サービスクラス切り替え〉…… 131ページ
- 電話機の外線発信を禁止することができます。〈外線アクセス使用禁止制御〉…… 132ページ
- パスワードのある電話機の外線、専用線の使用を規制することができます。〈電話機パスワード〉…… 133ページ
- 短縮ダイヤルを登録することができます。〈短縮ダイヤル登録〉…… 136ページ
- 外線を使用できる状態・できない状態に切り替えることができます。〈トランク強制解放〉…… 140ページ

内部の人を呼び出すとき〈内線呼び出し〉

内部の人にダイヤルするとき〈内線発信〉

多機能電話機と同様の操作です。23ページをご参照ください。

応答しない相手（着信拒否、話中呼び出し禁止、オフフックかスピーカオン中）を強制的に呼び出すとき〈内線強制呼び出し〉



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押し、呼び出し先の内線番号をダイヤルします。

※呼び出し先の電話機が登録により保護（プロテクト）されている場合は、強制呼び出しはできません。

2 「強制呼び出し」ボタンを押します。

※すでに他の内線電話機から強制呼び出しされている場合は、この操作は無効となります。

Note

- ドアホンを呼び出すことはできません。
- 「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

さらに便利な使い方

- 電話機のスピーカおよび外部スピーカを一齐に呼び出すことができます。
 〈一齐呼び出し〉〈グループ呼び出し〉〈ページング呼び出し〉……………123ページ
- 相手が通話中または応答がない場合、続けて別の内線を呼び出すことができます。
 〈クリアコール〉〈シフトコール〉……………127ページ
- 相手が不在中または通話中の場合、折り返し連絡してもらえるようにメッセージを残せます。
 〈メッセージウェイトコントロール〉……………128ページ
- 他の電話機に登録されている不在転送や着信拒否を解除することができます。〈コールフォワード強制解放〉……………139ページ
- 他の電話機にモーニングコールを設定することができます。〈モーニングコール〉……………143ページ
- 内線グループごとの通話料金予算額の設定と使用率表示を行うことができます。〈通話料金使用率表示〉……………144ページ
- 電話機ごとの通話料金集計額を表示することができます。〈通話料金集計〉……………146ページ
- ホテルの在室状態表示として利用できます。〈ホテル在室表示〉……………144ページ

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

外線／内線に共通な機能

自動自己保留

通話中に着信があった場合、通話を保留にして着信に应答することができます。

- 通話中に他の「外線」、「内線」、「着信応答」ボタンを押すと、通話中の外線または内線は、保留状態になります。



Note

「外線」、「内線」、「着信応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

コールリリース

通話中の外線または内線を切ることができます。

- 1 外線または内線（外線会議通話、複数外線会議通話または内線会議通話）で通話しています。

- 2 「切断」ボタンを押します。

通話が切れます。または会議通話から抜けます。

※ 転送保留した外線、内線がある場合は、その外線または内線通話に戻ります。



Note

「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

アテンダントリコール

外線着信に一定時間应答しないときや、保留警報に一定時間应答しないときに、DSSユニット付き多機能電話機が呼び出されます。

- 1 「ププププ」という呼び返し音が鳴り、「リコール応答」ボタンが赤色で点滅したら、「リコール応答」ボタンを押します。

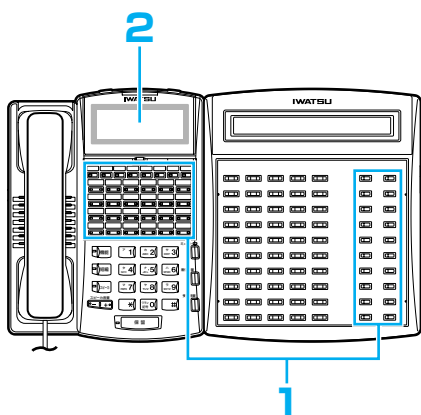
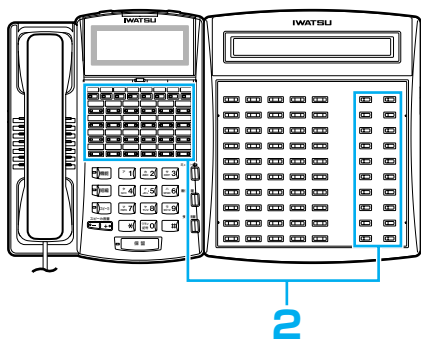
中継台をリコールしている外線または内線につながります。

- 2 外線番号または内線番号がディスプレイに表示され、相手とつながったら、お話しします。



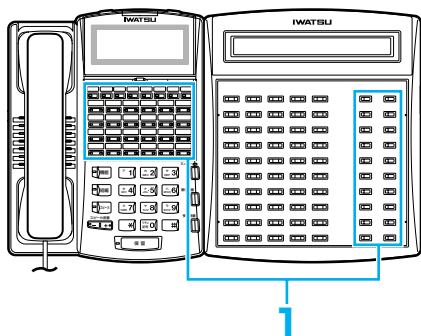
Note

- アテンダントリコールを行うためには外線ごとに、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- アテンダントリコールを行うための時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し ①

多機能電話機のスピーカおよび外部スピーカに一斉に呼びかけることができます。



●一斉に呼び出す場合〈一斉呼び出し〉

1 内線または外線と通話の状態ですべての「一斉」ボタン（または「ページング」ボタン）を押します。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

- 「一斉」、「ページング」、「内線グループ番号」、「ゾーン番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 一斉呼び出しの対象となる電話機と外部スピーカは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●グループ分けした電話機を対象に呼び出す場合〈グループ呼び出し〉

1 内線または外線と通話の状態ですべての「内線グループ番号」ボタンを押します。

2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

グループ呼び出しの対象となる電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。最大30グループで、1グループ当たり最大64台の電話機を登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

●外部スピーカを対象に呼び出す場合

1 内線または外線と通話の状態ですべての「ゾーン番号」ボタンを押します。

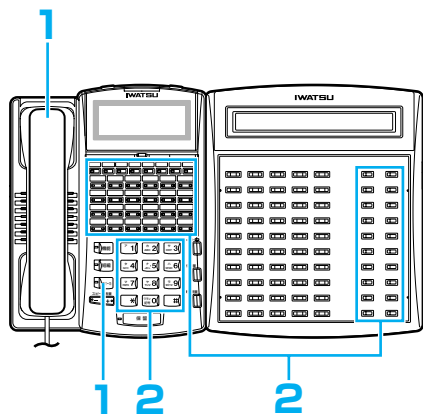
2 「〇〇さん応答してください」のように呼びかけます。



Note

- 外線との通話中に一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うと通話を自動的に中継台パーク保留にすることができます。
- 中継台パーク保留にするためには、あらかじめデータ設定が必要です。
- ページング呼び出しの対象となる外部スピーカは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。最大30グループで、1グループ当たり最大64のスピーカを登録できます。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線／内線に共通な機能



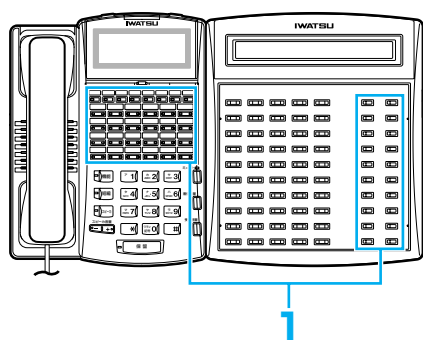
Note

- 中継台パーク保留は、グループパーク保留の一種です。
- 「コールパークピックアップ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出し ②

- 一斉呼び出し、グループ呼び出し、ゾーン呼び出しで中継台パーク保留中の外線に再接続する方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「コールパークピックアップ」ボタンを押し、続けてピックアップオービット番号をダイヤルします。内線に接続し、ピックアップオービット番号をダイヤルします。
- 3 相手とつながったら、再び通話を始めてください。



Note

- 「グループパーク番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

台間転送

外線または内線を、他の中継台に転送できます。

- 台間転送保留方法

- 1 内線または外線と通話の状態、「グループパーク番号」ボタンを押します。
※ 他中継台に「グループパーク番号」ボタンが割り付けてある場合は、そのボタンが点灯します。

- 台間転送保留の応答方法

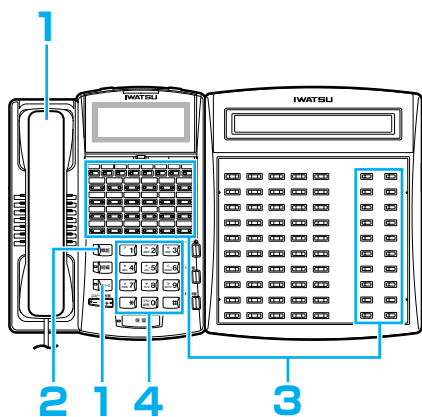
- 1 点灯している「グループパーク番号」ボタンを押します。
- 2 お話しします。

オーバーフロー転送

着信の回線数が多くて処理できなくなったときは、他の内線電話機、または中継台に着信を転送することができます。

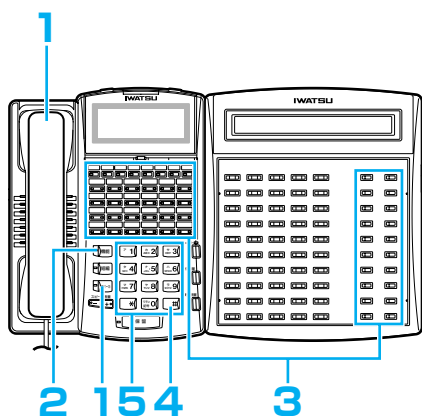
● 転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「機能」ボタンを押します。
- 3 「強制呼び出し」ボタンを押します。
- 4 転送先の内線番号を押します。



Note

- 転送保留リコール、自己保留した外線のリコール、強制転送中のリコール、コールバック着信、プライベートラインの着信、一斉呼び出し、グループ呼び出し、タイムコール着信はオーバーフロー転送されません。
- オーバーフロー転送するための回線数、および転送先の内線番号はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。DSSユニット付き多機能電話機で登録することもできます。
- 「強制呼び出し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● オーバーフロー転送する回線数の登録方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「機能」ボタンを押します。
- 3 「強制呼び出し」ボタンを押します。
- 4 「#」ボタンを押します。
- 5 回線数（2桁）を押します。
※ 入力する回線数が1桁の場合は、十の位として0を押します。
〈例〉5の場合は05となります。

外線／内線に共通な機能

Note

- 中継台インターセプトによるリコール状態（原因、呼び出し先番号、呼び出し元番号）がディスプレイに表示されます。
- あらかじめ中継台インターセプト不可に登録されている外線は中継台リコールされません。
- システムが夜モードになっている場合は、中継台インターセプトは行われません。
- 中継台インターセプトでリコール着信する中継台は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

中継台インターセプト

外線、専用線を中継台に回すことができます。

- 外線着信に未応答の場合は、中継台が呼び出しされ「リコール応答」ボタンが点滅します（外線の呼び出し先が未応答・話中・着信拒否中・未登録の場合、および外線の呼び出し先入力がない場合、外線が発信する外線が使用中・発信規制されている場合も同様です）。

着信音停止

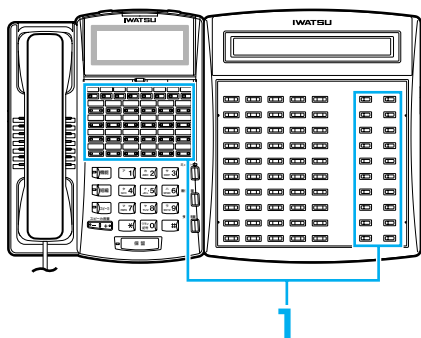
着信音を停止させることができます。

- 着信音を停止する方法

1 「着信音止め」ボタンを押します。

- 着信音の停止を解除する方法

1 赤色に点灯している「着信音止め」ボタンを押します。



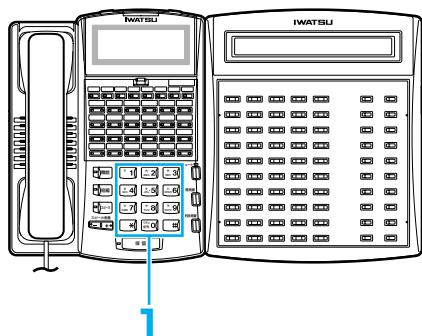
Note

- 他の電話機による音声呼び出しは行われません。
- 各ランプ表示、ディスプレイ表示は行われます。
- 停止できる着信音は外線・内線着信、外線・内線キャンプオン、外線・内線コールバック、外線・内線リコール、ドアホン着信、中継台リコール着信警報音です。
- 「着信音止め」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

内線に関する機能

クリアコール/シフトコール

相手が通話中か応答がない場合、続けて別の内線を呼び出すことができます。



1 そのままの状態ダイヤルし直します。

- クリアコールする場合
 - 別の内線番号（1～4桁）をダイヤルします。
- シフトコールする場合
 - 最初にダイヤルした内線番号の下一桁のみダイヤルをし、呼び出し先を変更します（この操作で呼び出し先が変更されます）。

2 お話します。

※ クリアコールとシフトコールは同時に使用することはできません。

Note

「クリアコール」、「シフトコール」は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSのランプ表示

ランプ表示で他の電話機の状態を知ることができます。

- DSSユニットに割り付けた「内線番号」ボタンのランプにより、内線電話機の使用状態を知ることができます。
- キーランプは以下のように表示されます。

状態	ランプ点灯優先順位	ラップパターン	ランプの色
空	5	点灯しない	DSS：赤 BLF：赤
通話中、外線着信、内線着信、キャンブオン（強制転送）	3	連続点灯	DSS：赤（通話中） 緑（着信） BLF：赤
ドント・ディスターブ（着信拒否）、不在メッセージ、不在転送	2	点滅	DSS：赤 BLF：赤
電話機パスワード、内線強制解放	1	点滅、滅灯の交互繰り返し	DSS：赤 BLF：赤
メッセージウェイト、録音登録	4		DSS：緑 BLF：赤

Note

「内線番号」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

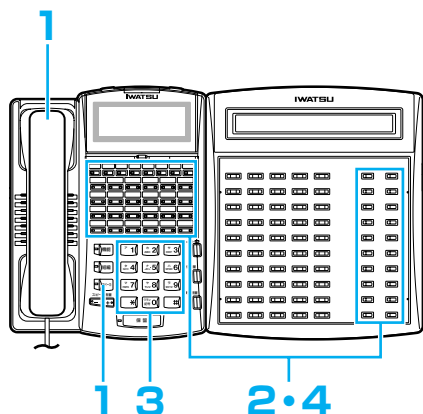
8
ご参考に

内線に関する機能

メッセージウェイトコントロール

不在または通話中で応答しない内線相手に、折り返し連絡してほしい旨のメッセージを伝えることができます。

●メッセージウェイトの設定方法



1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「メッセージウェイトコントロール」ボタンを押します。

3 登録先の内線番号を押します。

4 「接続」ボタンを押します。
相手の電話番号の「伝言」ボタンが点滅します。

●メッセージウェイトの解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「メッセージウェイトコントロール」ボタンを押します。

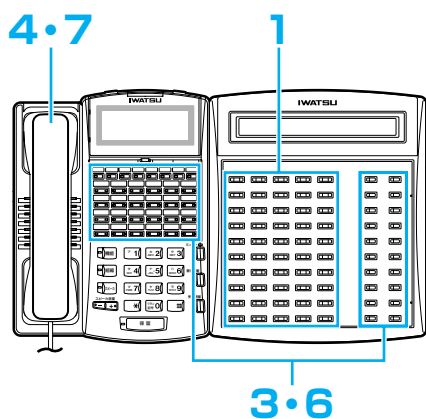
3 登録先の内線番号を押します。

4 「切断」ボタンを押します。

Note

- 1台の電話機で4通りのメッセージウェイトを受けられます
- メッセージウェイトの登録、受け取りを行う電話機は、あらかじめデータ設定が必要です。
- 「メッセージウェイトコントロール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線に関する機能



 **Note**

「内線番号」、「シリアルコール」、「リコール応答」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

シリアルコール

外線を転送したあとで、再びその外線と通話したい場合に便利な機能です。転送先との通話が終了した時点で、再び外線が転送元の電話機とつながります。

●外線、専用線の発信規制方法

- 1 外線と通話の状態で「内線番号」ボタンを押します。
 - 2 内線がつながったら「〇〇さん××番に電話です」のように連絡します。
※外線キャンブオンの場合は手順（2）の操作は省略します。
 - 3 「シリアルコール」ボタンを押します。
 - 4 受話器を置きます。
- シリアルコールの応答方法
- 5 転送先との通話が終わると「リコール応答」ボタンが赤色で点滅します。
 - 6 赤色で点滅している「リコール応答」ボタンを押します。
 - 7 受話器を取り上げます。
DSSユニットのディスプレイにシリアルコールと表示されます。
 - 8 転送した外線と再びつながったら、お話しします。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DSSユニット付き
多機能電話機5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

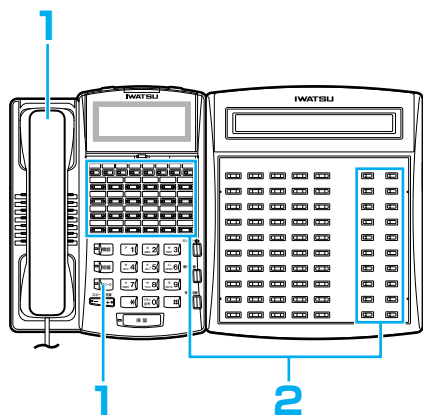
DSSユニットからシステムの機能进行操作するとき〈内線着信／転送〉

夜間切り替え／分散切り替え

DSSユニットで、昼間と夜間で着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を、手動で切り替えることができます。

●夜間切り替え方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「夜間切り替え」ボタンを押します。
※切り替えが完了すると内線発信音が聞こえ、「夜間切り替え」ボタンが赤色で点灯し、ディスプレイにモードが表示されます。

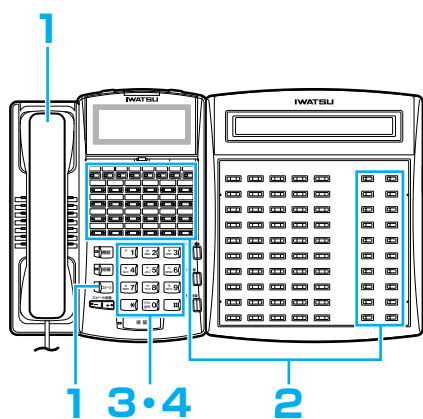


Note

- 昼間モード、夜間モードの切り替え時間をデータ設定により、あらかじめ登録している場合は、システムが自動的に設定時刻で切り替えを行います。
- 「夜間切り替え」、「分散切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●分散切り替え方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「分散切り替え」ボタンを押します。
- 3 外線グループ番号を押します。
- 4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。
※モード番号が「1」のときは昼間モード、「2」のときは夜間モードとなります。
※切り替えが完了すると内線発信音が聞こえ、ディスプレイにモードが表示されます。



Note

昼モード、夜モードで着信音を鳴らす電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線サービスクラス切り替え

電話機ごと、または内線グループごとの市外発信規制範囲を切り替えることができます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません
1~4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます
5	システム短縮ダイヤルのみ発信できます
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信および外線自動転送の着信には応答できます

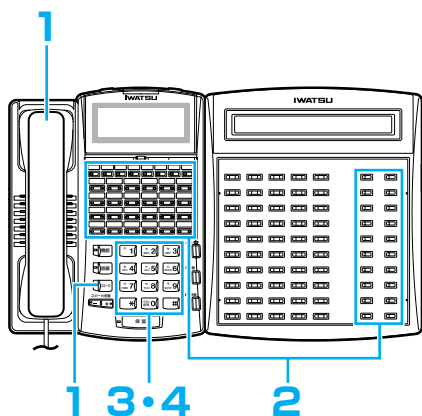
●設定されている2つのサービスクラスの切り替え方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「サービスクラス切り替え」ボタンを押します。
内線グループごとの切り替えは「サービスクラス切り替え」ボタンを押し、続けて「*」ボタンを押します。

3 切り替え対象の内線番号を押します。
内線グループごとの切り替えは、切り替え対象の内線グループ番号をダイヤルします。

4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。
※モード番号が「1」のときは昼間モード、「2」のときは夜間モードの市外発信クラスとなります。
※切り替えが完了すると内線発信音が聞こえます。



Note

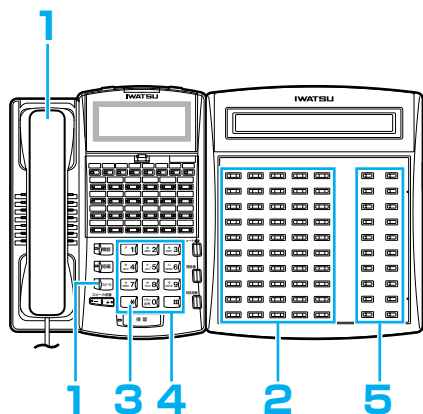
- 市外発信クラスは、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 内線電話機ごと、または内線グループごとに切り替えるかは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「サービスクラス切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットからシステムの機能を実行するとき〈内線着信／転送〉

外線アクセス使用禁止制御

電話機の外線発信を禁止することができます。

●外線グループ単位での使用禁止方法


Note

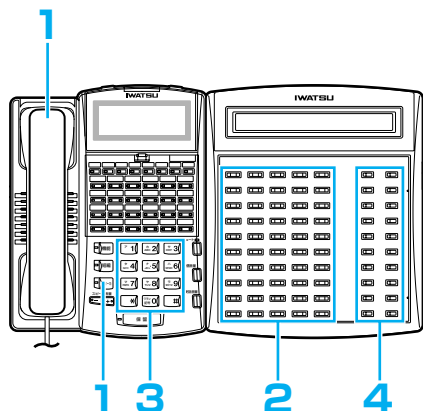
「外線アクセス制御」ボタン、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 外線グループ番号を押します。
- 5 「切断」ボタンを押します。

●外線グループ単位での使用禁止の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 外線グループ番号を押します。
- 5 「接続」ボタンを押します。

●外線単位での使用禁止方法



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 外線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。

●外線単位での使用禁止の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「外線アクセス制御」ボタンを押します。
- 3 外線番号を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。

電話機パスワード

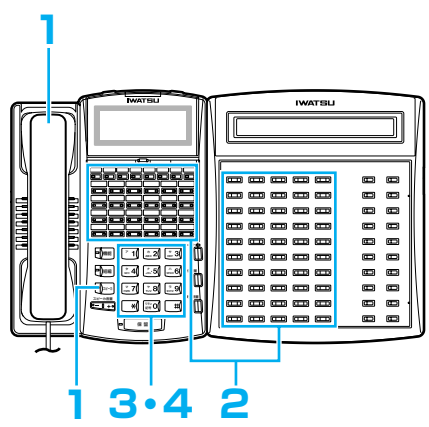
電話機の外線発信を禁止することができます。

●電話機単位での使用禁止方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「電話機パスワード」ボタン（または「機能」ボタン+
「4」「4」ボタン）を押します。
※発信規制を解除するときは、続けて「0」をダイヤルします。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 外線、専用線の発信を禁止する電話機の内線番号を押
します。

 Note

- DSSユニット付き多機能電話機は、パスワードをダイヤルしなくても、パスワード付き電話機による外線、専用線の発信を禁止することができます。
- 「電話機パスワード」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

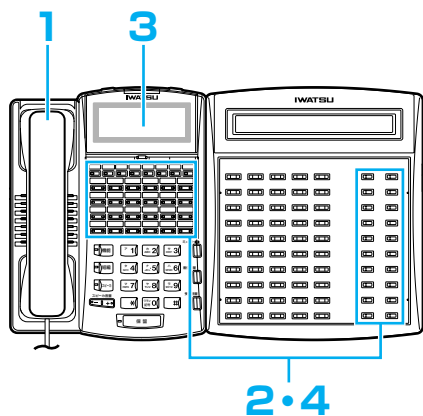


DSSユニットからシステムの機能进行操作するとき〈内線着信／転送〉

外線自動応答レベル切り替え オプション

休日や営業時間外に流す音声メッセージを切り替えられます。

●メッセージの切り替え



1 受話器を取り上げます。

2 「応答メッセージ」 ボタンを押します。

3 ディスプレイにその時点での自動応答番号が表示されます。

4 応答番号を変更する場合は、さらに「応答メッセージ」ボタンを押します。

※「応答メッセージ」ボタンを押すごとに、応答1（ランプ点滅）、応答2（ランプ点灯）、応答OFF（ランプ消灯）に切り替わります。

 **Note**

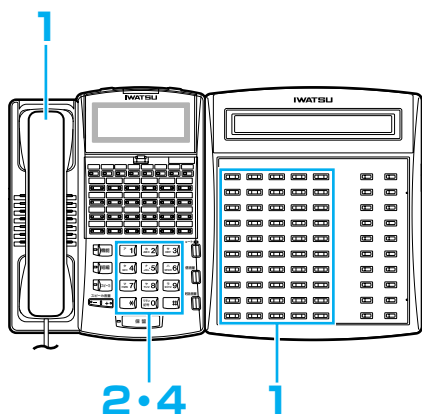
- 音声案内登録機能で録音できるメッセージ番号は01～49まであります。
- 固定メッセージは182ページをご参照ください。
- 外線自動応答用は06～09が応答1、10～13が応答2となります。
- 録音したメッセージを使用するか、固定メッセージを使用するかはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 応答する外線および応答するまでの時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 時間および曜日による使用メッセージは、4種類設定できます。
- 「応答メッセージ」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

音声案内登録

オプション

音声案内の録音、消去ができます。

●メッセージの録音方法



1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。

2 登録するメッセージ番号 (01~49) を押します。

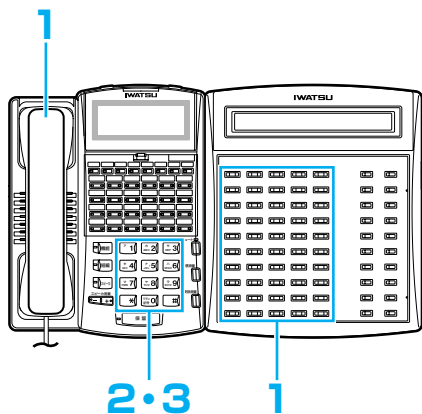
3 録音する案内を120秒以内で話します。

4 「#」ボタンを押します。



Note

- 登録できるメッセージ番号は01~49までありますが、外線自動応答用は06~09がレベル1、10~13がレベル2となります。
- メッセージは何度でも吹き替えることができます。
- 「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



●メッセージの確認方法

1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。

2 「#」ボタンを押します。

3 確認するメッセージ番号 (01~49) を押します。

※メッセージ番号の代わりに「#」ボタンを押すと、すべての可変メッセージを聞くことができます。

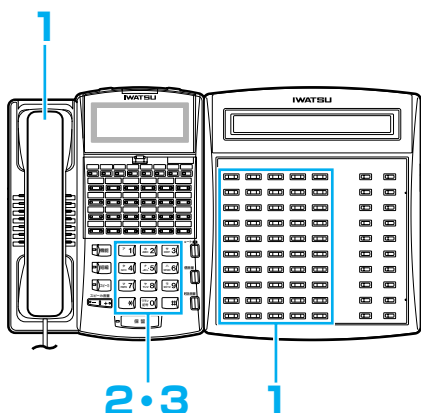
※メッセージ番号の代わりに「*」ボタンを押すと、すべての固定メッセージを聞くことができます。固定メッセージは、システムにあらかじめ登録してある音声案内です。

4 登録されている内容が聞こえます。

(次ページへ続く)

DSSユニットからシステムの機能进行操作するとき〈内線着信／転送〉

(前ページの続き)



Note

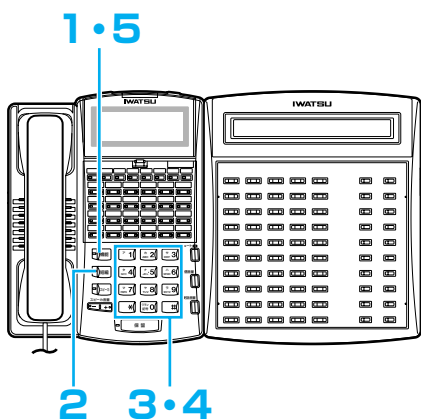
「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●メッセージの消去方法

- 1 受話器を取り上げ「音声案内録音」ボタンを押します。
- 2 「*」ボタンを押します。
- 3 消去するメッセージ番号（01～49）を押します。
- 4 登録されている内容が消去されます。

短縮ダイヤル登録 ①

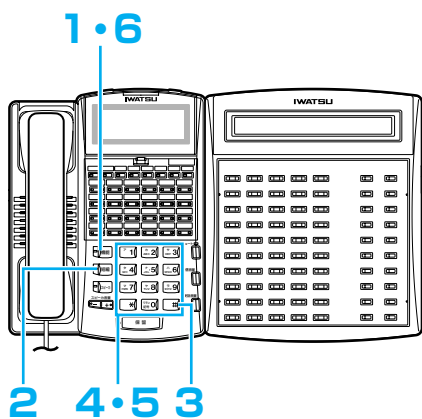
システム短縮番号（00～89）または（000～899）を登録することができます。



Note

- システム全体の共通短縮番号（00～89）または（000～899）は中継台、簡易中継台、データ設定で登録します。
- 個別短縮番号（90～99）は電話機ごとに登録できます。
- 1つの短縮番号には32桁以内のダイヤル、10桁以内文字が登録できます。
- 共通短縮番号（00～89）または（000～899）のどちらを使用するかは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 登録する短縮番号（00～89または000～899）を押します。
- 4 相手の電話番号（32桁以内）を押します。
※以下の登録もできます。
 - 1.ダイヤルするまでの待ち時間（ポーズ時間）
「保留」ボタンを押し、続けて「1」～「9」ボタン（ポーズの秒数）を押します。
 - 2.プッシュホンサービスの番号
「保留」、「*」ボタンを押し、続けてプッシュホンサービスの番号を押します。
 - 3.他の短縮ダイヤル
「保留」、「短縮」ボタンを押し、続けて他の短縮番号を押します。
- 5 再び電話機の「機能」ボタンを押します。



短縮ダイヤル登録 ②

●外線グループ番号の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89または000～899）を押します。
- 5 使用する外線グループ番号（01～60）を押します。
- 6 「機能」ボタンを押します。

●相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「短縮」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録する短縮番号（00～89または000～899）を押します。
- 5 必要な文字（10桁以内）を入力します。
 1. 「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 2. ダイヤルボタンで文字を選択し、「保留」ボタンで確定します。
 3. 再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
 4. 入力したすべての文字を取り消す場合は、受話器を上げ下げしてください。
 ※文字対応表は138ページを参照してください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DSU
ユニット付き
多機能
電話機

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

7
システム
機能

8
ご参考
に

(次ページへ続く)

DSSユニットからシステムの機能进行操作するとき〈内線着信／転送〉

(前ページの続き)

■文字対応表

数字 (0~9) を押すごとに、対応する表示文字が変わります。例えば、英数字モードのとき「2」ボタンを押すと、「A→B→C→2」の順に、カタカナモードのとき「2」ボタンを押すと「カ→キ→ク→ケ→コ→2」の順に表示が変わります。

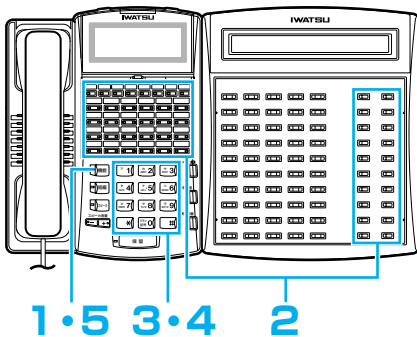
ABC2	カキクケコ2
1 (1) (2) (3) DEF3	アイウエオ1 (1) (2) (3) サシスセソ3
JKL5	ナニヌネノ5
GHI4 (4) (5) (6) MNO6	タチツテト4 (4) (5) (6) ハヒフヘホ6
TUV8	ヤユヨ8
PQRS7 (7) (8) (9) WXYZ9	マミムメモ7 (7) (8) (9) ラリルレロ9
-、口&0	ワラン * -0
カタカナモードへの切り替え (X) (0) (#) 大文字／小文字切り替え	英数字モードへの切り替え (X) (0) (#) 大文字／小文字(アウIや13)の切り替え

※口は、スペースです。

ナンバー・ディスプレイ登録

ナンバー・ディスプレイ (NTTとの契約が必要です) を利用して相手先の名称を表示することができます。

●相手先の電話番号の登録方法



1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。

2 「呼び返し」ボタンを押します。

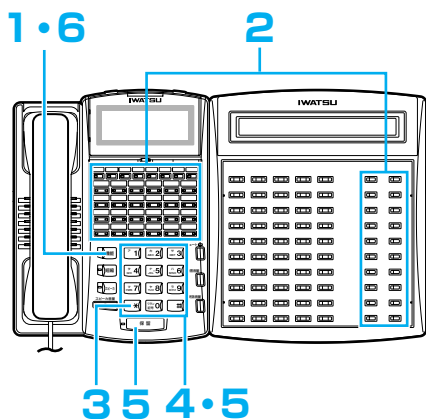
3 登録番号 (001~999) を押します。

4 相手の電話番号 (12桁以内) を押します。
相手の電話番号は市外局番を含めて入力してください。
〈例〉相手先が大阪の場合は、「0」「6」ボタンを押します。

5 「機能」ボタンを押します。
続けて「相手先の登録方法」にしたがって相手先名を登録してください。

Note

- 相手先の電話番号および相手先名は指定電話機で登録します。指定電話機はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 夜間切り替え (130ページ) で夜モードのときに対象とする相手先の電話番号および相手先名は登録番号501~999で登録します。
- 手順 (3) で登録番号の代わりに「#」ボタンを押すと、空いている登録番号が自動的に検索されディスプレイに表示されます (空きがない場合は000が表示されます)。空き登録番号が検索できたら、その登録番号で手順 (1) から登録してください。
- 「呼び返し」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

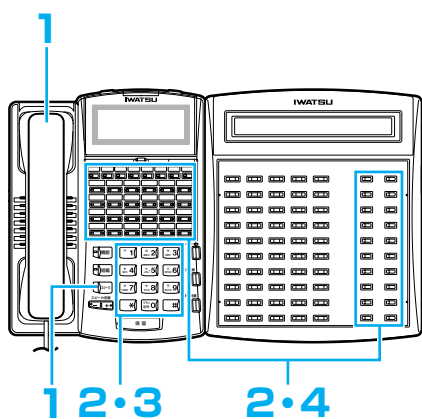


●相手先名の登録方法

- 1 受話器を置いた状態で「機能」ボタンを押します。
- 2 「呼び返し」ボタンを押します。
- 3 「*」ボタンを押します。
- 4 登録番号（001～999）を押します。
- 5 相手先名（16文字以内）を入力します。
 - 1.「*」ボタンでカタカナ入力モード、英数字入力モードを選択します（最初は英数字モードになっています）。
 - 2.ダイヤルボタンで文字を選択し、「保留」ボタンで確定します。再度「保留」ボタンを押すと1つ前の文字が取り消されます。
 - 3.文字対応表（138ページ）をご参照ください。
- 6 「機能」ボタンを押します。

コールフォワード強制解放

他の電話機に登録されている不在転送、話中転送、未応答転送、着信拒否を解除できます。



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」ボタンを押し、続けて「3」ボタンを押します。
- 3 不在転送中、話中転送中、未応答転送中、着信拒否中である電話機の内線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。

Note

- 着信拒否、不在転送、話中転送、未応答転送は、多機能電話機のさらに便利な使い方（38、59ページ）を参照してください。
- 「強制解放」、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

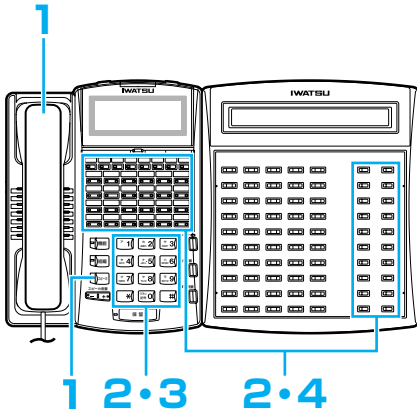
8
ご参考に

DSSユニットからシステムの機能を実行するとき〈内線着信／転送〉

トランク強制解放

外線または外線グループを強制解放することにより、他の電話機による外線または外線グループの、発着信を禁止することができます。

●外線／または外線グループの強制解放の設定方法


 **Note**

「強制解放」、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「強制解放」、「2」ボタンの順に押します。

3 該当するボタンと必要な番号を押します。

- 外線の場合
→外線番号を押します。
- 外線グループの場合
→「＊」ボタンを押し、外線グループ番号を押します。

4 「切断」ボタンを押します。

●外線／または外線グループの強制解放の解除方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 「強制解放」、「2」ボタンの順に押します。

3 該当するボタンと必要な番号を押します。

- 外線の場合
→外線番号を押します。
- 外線グループの場合
→「＊」ボタンを押し、外線グループ番号を押します。

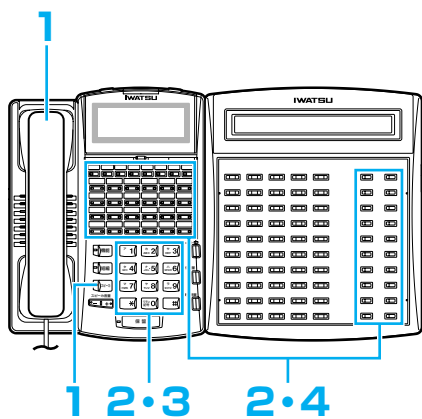
4 「接続」ボタンを押します。

ステーション強制解放

強制解放することにより、その電話機による外線および内線の発着信を禁止することができます。

●強制解放の設定方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「1」ボタンの順に押します。
- 3 強制解放する内線番号を押します。
- 4 「切断」ボタンを押します。



Note

「強制解放」、「切断」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●強制解放の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「強制解放」、「1」ボタンの順に押します。
- 3 強制解放する内線番号を押します。
- 4 「接続」ボタンを押します。

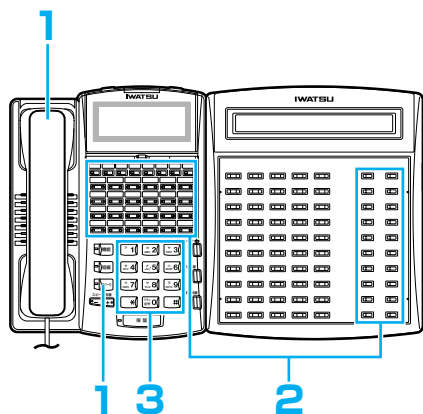
DSSユニットからシステムの機能进行操作するとき〈内線着信／転送〉

時刻調整

システム内の時計をセット、または微調整できます。

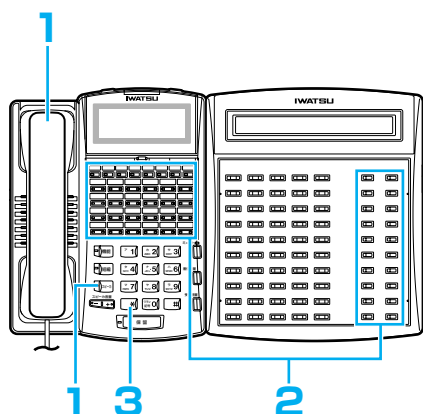
●時刻のセット方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「時刻調整」ボタン（または「機能」＋「6」「4」ボタン）を押します。
- 3 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。
時刻がセットされると、「ブブブブ」 という確認音が聞こえます。



●時刻の微調整方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「時刻調整」ボタン（または「機能」＋「6」「4」ボタン）を押します。
- 3 「*」ボタンを2回押します。


 **Note**

- 時刻の微調整を行った時点で0～29秒のときは分はそのままの表示、また30～59秒のときは分はプラス1されて表示されます。いずれの場合も、秒は0にリセットされます。
- 「時刻調整」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

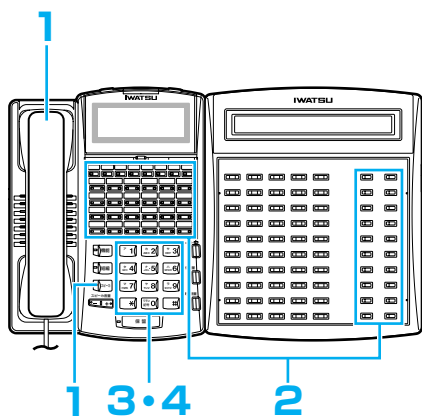
1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DSSユニット付き
多機能電話機5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

モーニングコール

依頼されたモーニングコールの内容を相手先の内線電話機に設定することができます。

●時刻の設定

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「モーニングコール」ボタン（または「機能」+「4」
「6」ボタン）を押します。
- 3 呼び出す電話機（依頼元）の内線電話番号を押します。
- 4 24時間表記で時刻を押します。
〈例〉午後3時30分の場合は、「1」「5」「3」「0」ボタンを押します。

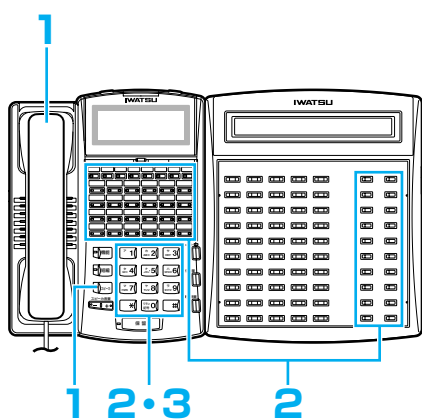


Note

- 設定時刻の5分前にブープーという内線着信音が鳴ります。応答しない場合は、設定時刻に再び内線着信音が鳴ります。
- 応答のない場合に着信音を鳴らしておく時間は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

●設定時刻の解除方法

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「モーニングコール」、「*」ボタンの順（または「機能」+「0」「4」「6」ボタン）に押します。
- 3 モーニングコールを取り消す電話機の内線番号を押します。



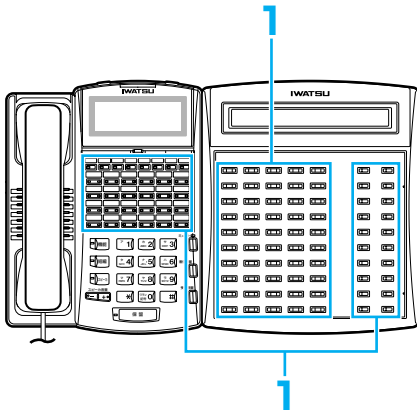
Note

- 「モーニングコール」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DSSユニットのシステムに関するその他の機能

ホテル在室表示

DSSユニットの「内線番号」ボタンのランプを利用して、空室、クリーニング中、外出中、在室中などの状態を表示することができます。



- 1 「内線番号」ボタン、該当するボタンの順に押します。
 - 空室になった場合
 - 「空室」ボタンを押します。
 - 「内線番号」ボタンの緑色ランプが消灯し、赤色ランプが高速点滅します。
 - クリーニング中の場合
 - 「清掃」ボタンを押します。
 - 「内線番号」ボタンのランプが赤色で高速点滅します。
 - 外出中の場合
 - 「外出中」ボタンを押します。
 - 「内線番号」ボタンのランプが緑色で点滅します。
 - 在室中の場合
 - 「在室中」ボタンを押します。
 - 「内線番号」ボタンのランプ緑色で点灯します。



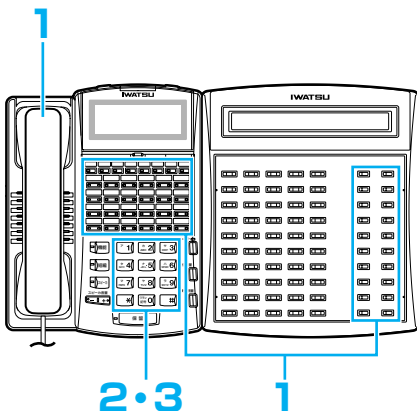
Note

- 各室の電話機から、クリーニング終了特番をダイヤルすると、清掃確認状態になります。「内線番号」ボタンの赤色ランプが低速点滅します。
- 各室の電話機からクリーニング確認特番をダイヤルすると、清掃済み状態になります。「内線番号」ボタンの赤色ランプが消灯します。
- 「内線番号」ボタン、「空室」ボタン、「清掃」ボタン、「外出中」ボタン、「在室中」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話料金使用率表示

内線グループごとの通話料金予算額の設定と使用率を表示することができます。

●通話料金予算額の設定方法

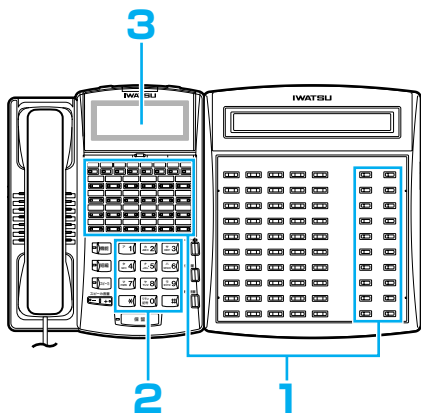


- 1 受話器を取り上げ「使用率」ボタン（または「機能」ボタン+「7」「5」ボタン）を押します。
- 2 通話料金予算額を設定する内線グループ番号を押します。
- 3 通話料金予算額（4桁）を押します。



Note

- 受話器を置いた状態で、「使用率」ボタンを押し、手順(2)の操作を行ったあと、「＊」ボタンをダイヤルすると、通話料金グループ使用額がクリアされます。
- 「使用率」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。



● 予算額に対する使用率の表示方法

- 1 受話器を置いた状態で「使用率」ボタン（または「機能」+「7」「5」ボタン）を押します。
- 2 通話料金予算額を表示する内線グループ番号を押します。
- 3 ディスプレイに通話料金予算額に対する使用率が表示されます。



Note

- 通話料金予算額はDSSユニット付き多機能電話機で設定します。
- 通話予算額が0の場合は、使用率は表示されません。
- 内線グループごとの予算額は100円から999,900円まで設定できます。
- 予算額超過の場合は、使用率200%まで表示できます。
- 通話料金予算額管理のための内線グループは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「使用率」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

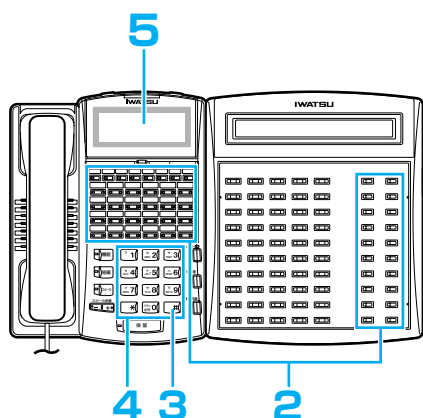
DSSユニットのシステムに関するその他の機能

通話料金集計

DSSユニット付き多機能電話機は、内線番号を指定することで電話機ごとの前回分、本日分、今月分、先月分の通話料金を集計することができます。

※通話料金は、1,000,000円を超えると0表示に戻ります。

●集計方法

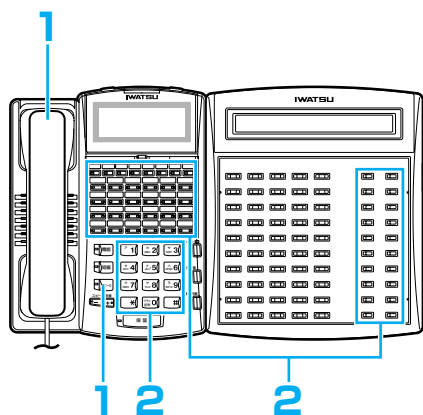


Note

- 本日は当日0時以降が集計範囲です。
- 今月分の集計結果は、その集計時点で先月分に積算されます。
- 集計日（1～28）、集計時刻（00～23時）は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「前回」、「本日」、「今月」、「先月」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

注意！！

- 表示される通話料金は、電話局の通話料金と異なることがあります。異なった場合でも、公式データとして電話局などに提出・申し立てすることはできません。
- 通話料金の改訂などに伴うプログラム変更などは有償となります。



1 受話器は置いた状態にします。

2 該当するボタンを押します。

- 前回分の場合
→「前回」ボタン（または「機能」+「7」「1」ボタン）を押します。
- 本日分の場合
→「本日」ボタン（または「機能」+「7」「2」ボタン）を押します。
- 今月分の場合
→「今月」ボタン（または「機能」+「7」「3」ボタン）を押します。
- 先月分の場合
→「先月」ボタン（または「機能」+「7」「4」ボタン）を押します。

3 「#」ボタンを押します。

4 料金表示を行いたい内線電話機の内線番号を押します。

5 ディスプレイに通話料金が表示されます。

●他の電話機の集計額をクリアする（0に戻す）方法

1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 クリアしたい集計操作を行い、最後に「*」ボタンを押します。

5. 中継台 (ATT)

積滞呼表示

扱者の応答を待っている呼の数を表示するバーグラフです。

アラーム表示

システムに障害が発生したとき、その程度を表示します。

受話器

受話器うけ

受話器を置くハンガーです。左右どちら側にも設置できます。

DSSボタン

フレキシブルボタン登録により自由に機能を割り当てることができますが、通常はDSSボタンとして割り当てます。短縮ダイヤルの名前登録のときにも使用します。

受話音量調節

受話器またはヘッドセットの受話音量を調節できます。押すごとに小→中→大→特大→小…に切り替わります。

着信音量調節

外線着信などの着信音量を調節できます。押すごとに小→中→大→特大→小…に切り替わります。

電子ボリューム

スピーカの音量調節に使います。
▲を押すごとに大きくなり、
▼を押すごとに小さくなります。

LCDディスプレイ

時刻、通話状態、設定メニューなどを表示します。

ソフトボタン

ディスプレイの4行目に表示されるメニューを選択します。

ヘッドセットジャック

ヘッドセットを装着します。左右両側にありますのでどちら側でも使用できます。

ディスプレイ輝度調節 ボリューム

モニタスイッチ

モニタ側にすると、受話器とヘッドセットからの声が伝わらなくなります。左右両側にあり、操作したスイッチのある側の受話器、ヘッドセットのみ影響します。

受話器用モジュラ・ジャック

左右両側にあります。使いやすい側を使用してください。

外線ボタン

外線や外線グループの回線ボタンとして使用できます。これら8個のボタンには赤色と緑色のLEDが付いています。

マイク

ハンズフリー機能のときの送話用マイクです。

フレキシブルボタン

フレキシブルボタン登録により機能を割り当て、操作をワンタッチで行うことができます。これら4個のボタンには応答、ソース、テストネーション、復旧など特に使用頻度の高い機能を割り当てます。赤色のLEDが付いています。

ダイヤルボタン

フレキシブルボタン

フレキシブルボタン登録により機能を割り当て、操作をワンタッチで行うことができます。赤色のLEDが付いています。

スピーカ

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台 (ATT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

中継台の概要

- 中継台には8個の外線ボタン（赤色、緑色ランプ付き）、16個のフレキシブルボタン（赤色ランプ付き）、30個のDSSボタン（ランプなし）、8個のソフトボタン（ランプなし）があります。ソフトボタン以外のボタンには、あらかじめ外線、内線および中継台で行うさまざまな機能を割り付ける必要があります。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 外線ボタンの赤色と緑色のランプ、フレキシブルボタンの赤色のランプにより、各状態がひと目でわかります。
- 200個のランプを備えたBLF（内線話中箱）を取り付けることができます。BLFのランプは画面切り替えにより400個の内線の使用状態を表示することができます。



Note

- このシステムに取り付けられる中継台、DSSユニット、BLFは合計最大8台までです。
- 中継台として使うためには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 「機能」ボタンはフレキシブルボタンに割り付けられます。

各種キーの概要

ATTの外線ボタン

- 8個の外線ボタンに「外線」、「索線」、「索線番号」ボタンを割り付けます。
- 外線ボタンの初期割り付け状態は、すべて「索線」ボタンとなっています。

ATTのソフトボタン

- 8個のソフトボタンには、以下のようにボタンが割り付けられています。ボタンメニューは3画面あり、各機能の変更はできません。
- 「ETC」ボタンを押すと、ソフトボタンに対応する機能メニューが10秒間ディスプレイに表示されます。さらに「ETC」ボタンを押すと機能メニューが切り替わります。
- 現在行っている登録処理を終了するには「END」ボタンを押します。

ソフトボタン	機能メニュー1	機能メニュー2	機能メニュー3
ソフトボタン1	GNT (分散切り替え)	LOCK (パスワード)	TIM (時刻調整)
ソフトボタン2	SSC (サービスクラス切り替え)	SRL (内線強制解放)	VSSR (音声案内登録)
ソフトボタン3	TAC (外線アクセス制御)	TRL (外線強制解放)	—
ソフトボタン4	NWC (メッセージウェイトコントロール)	CRL (不在転送強制解放)	—
ソフトボタン5	SPDR (短縮ダイヤル登録)	—	—
ソフトボタン6	—	—	—
ソフトボタン7	ETC (その他)	ETC (その他)	ETC (その他)
ソフトボタン8	END (終了)	END (終了)	END (終了)

 **Note**

「ETC」ボタンはデータ設定により、あらかじめソフトボタンの登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
多機能電話機
DSUユニット付き5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

各種キーの概要

ATTのDSSボタン

30個のDSSボタンには、あらかじめデータ設定により、内線、外線、専用線のオートダイヤルを登録できます。

ATTの機能ボタン

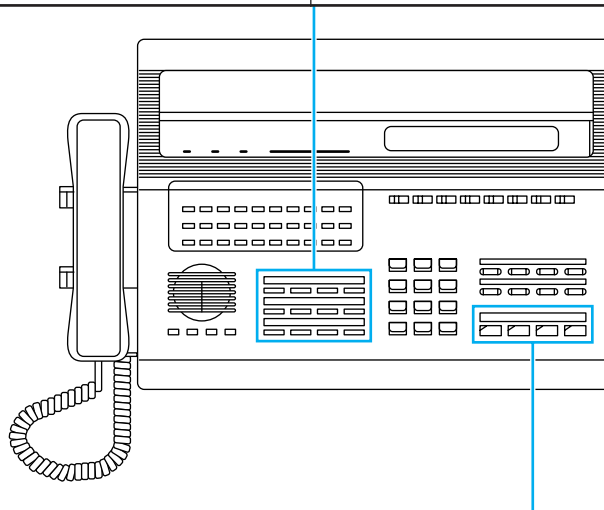
● 16個のフレキシブルボタンには、以下の機能を割り付けられます。

※「接続」ボタン	※「スプリット」ボタン	※「シリアルコール」ボタン	※「強制呼び出し」ボタン
※「復旧 (S)」ボタン	「呼び監視」ボタン	※「応答メッセージ」ボタン	※「モーニングコール」ボタン
「応答」ボタン	「オペレータ」ボタン	「復旧」ボタン	「ソース」ボタン
「ディスティネーション」ボタン	「切断」ボタン	「リコール応答」ボタン	「グループパーク」ボタン
「着信音止」ボタン	「夜間切り替え」ボタン	「分散切り替え」ボタン	「サービスクラス切り替え」ボタン
「外線アクセス制御」ボタン	「パスワード」ボタン	「メッセージウェイトコントロール」ボタン	「強制解放」ボタン
「時刻調整」ボタン	「音声案内録音」ボタン	「SPDR (短縮ダイヤル登録)」ボタン	「CRL (不在転送強制解放)」ボタン
「TRL (外線強制解放)」ボタン	「SRL (内線強制解放)」ボタン	—	—

※印のボタン以外はソフトボタンまたはフレキシブルボタンに初期割り付けされます。

● フレキシブルボタンの初期割付け状態は以下のものになっています。

「短縮」ボタン	「サービスクラス切り替え」ボタン	「分散切り替え」ボタン	「夜間切り替え」ボタン
「機能」ボタン	「着信音止」ボタン	「会議」ボタン	「リコール応答」ボタン
「フック」ボタン	「グループパーク」ボタン	「切断」ボタン	「オペレータ」ボタン



「応答」ボタン	「ソース」ボタン	「ディスティネーション」ボタン	「復旧」ボタン
---------	----------	-----------------	---------

中継台LCD表示の概要

ATTのディスプレイに表示される情報

中継台には40文字×4行のディスプレイがあり、表示レベルの高いものが優先的に表示されます。
 使い方の詳細については、中継台添付の取扱説明書をご参照ください。

表示レベル	表示レベル			
	1行	2行	3行	4行
	中継台登録機能			
4	—	データ表示 ガイダンス表示 未応答コールパーク表示	データ表示 入力データ表示 内線サービスクラス表示 ATTリコール応答表示 ATTコールパークオービット表示	ソフトメニュー表示 (登録)
3	—	外線発信捕捉 内線発信	タイムコール着信	—
2	—	外線通話中 (通話時間) (着信識別) 内線通話中	—	—
1	—	—	外線着信 (外線識別) 内線着信	—
0	時計表示 ナイトモード表示	状態表示	—	ソフトボタン メニュー表示 (通常)

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
多機能電話機
DSUユニット付き5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

6. ISDN

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSUユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

基本サービス

NTTのISDN回線「INSネット64」および「INSネット1500」を収容すると、電話をかけるだけでなく、高精細なファックス通信、高速データ通信も行えます。また、かけてきた相手の電話番号や相手の名前を表示したり、サブアドレスと呼ばれる番号を付加してダイヤルすることによって内線を呼び出すなど、便利なサービスが利用できます。

その他にもNTTと契約すれば様々な付加サービスを利用することができます。

- ISDN回線の特長**：「INSネット64」回線は、2つの情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
 「INSネット1500」回線は、23の情報チャンネル（Bチャンネル）と1つの信号チャンネル（Dチャンネル）により構成されています。
 INSネット64の1本の回線には2つの情報チャンネルがありますので、2つの外線を持つこととなります。
 INSネット1500の1本の回線には23の情報チャンネルがありますので、23の外線を持つこととなります。
- 発信者番号通知**：着信の場合、かけてきた相手の電話番号が電話機に表示されます（ただし、相手から発信者番号が通知された場合のみです）。
 発信者番号が通知された場合、発信者番号に対応した名称表示がデータ設定されていれば、その名称表示を行います。
 また、本システムからかける場合、相手にこちらの電話番号を表示するかは工事段階で設定しますが、かける際の操作によって184（発信者番号非通知）、186（発信者番号通知）を相手電話番号の前につけることによって、その電話に限ってこれを切り替えることができます。
- サブアドレス通知**：発信の際、サブアドレスと呼ばれる相手先の各端末に付けられた番号を付加してダイヤルすることで、内線を個別に呼び出すことができます。サブアドレスは、相手先電話番号をダイヤルしたあとに、「＊」ボタンに続けてサブアドレスをダイヤルし、「＃」ボタンを最後にダイヤルします。

Note

- 相手が一般回線でかけてきた場合の発信者番号表示は、NTTとの契約が必要になります。
- 相手先にISDN回線が収容されていない場合、サブアドレスによる個別呼び出しはできません。また相手が一般電話でかけてきた場合、サブアドレスによる本システムの内線を個別に呼び出すことはできません。

ISDN機器の接続

「IX-ISUB64」ユニットには、G4FAXやターミナルアダプタなどのISDN機器を接続することができます。ISDN機器の接続に関しては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

付加サービス

ISDN回線を収容すると、基本サービス以外にも以下の付加サービスが利用できます。

- ダイヤルインサービス
- グローバル着信サービス
- INSフレックスホンサービス（INSフレックスホンサービスの契約をした場合、通話中転送機能、三者通話機能、着信転送機能の各サービスが利用できます。）
- INSボイスワープサービス
- i・ナンバーサービス
- ナンバー・ディスプレイ
- ネーム・ディスプレイ

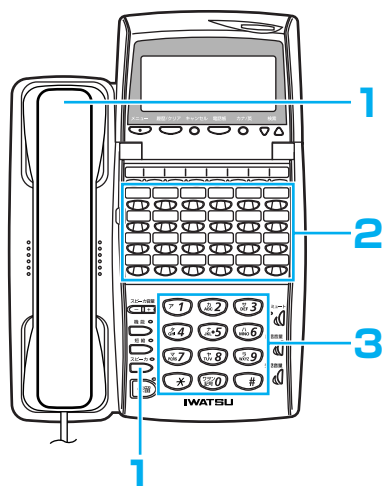
※ これらの付加サービスを利用するには、各サービスごとにNTTとの契約が必要になります。

- **ダイヤルインサービス** : 契約電話番号とは別の電話番号（ダイヤルイン番号）を使用できます。使用できる数は最大1000個です。
ダイヤルイン番号へ電話がかかってきた場合、ダイヤルイン番号ごとにそれぞれ特定の電話機を呼び出すことができます。
- **グローバル着信サービス** : 複数のダイヤルイン番号を使用しているシステムで、1つのダイヤルイン番号に着信があると、各ダイヤルイン番号によって個別呼び出しするようにデータ設定した電話機すべてを呼び出すことができます。
- **通話中転送機能** : 通話を別の相手に転送することができます。
- **三者通話機能** : 通話中に別の相手呼び出して、三者間で通話相手を切り替えてお話しすることができます（切替モード）。
通話中に別の相手呼び出して、三者で通話することができます（ミキシングモード）。
- **着信転送機能** : かかってきた電話を、この電話機にあらかじめ登録してある他の電話番号に自動的に転送することができます。
- **i・ナンバーサービス** : 契約電話番号（ポート1）とは別の電話番号（ポート2、ポート3）で特定の電話機を呼び出すことができます。
- **ナンバー・ディスプレイ** : 電話をかけてきた相手方の電話番号がディスプレイに表示されます。
- **ネーム・ディスプレイ** : ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであり、着信時に発信電話番号とともに発信企業名（氏名）情報を受信し、ディスプレイに表示されます。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
多機能電話機
DSUユニット付き5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

着信転送

転送先の電話番号をあらかじめ登録することにより、ダイヤルインでかかってきた着信に应答しないで、転送することができます。



Note

「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

着信転送動作を登録するとき

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「着信転送」ボタンを押します。
- 3 転送メッセージ登録番号（1～4）を押します。

着信転送動作を解除するとき

- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
- 2 「着信転送」、「0」ボタンの順に押します。

Note

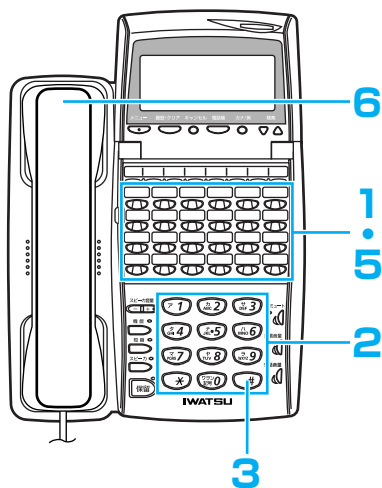
- フレックスホンサービスの着信転送サービスの場合、他の転送電話の場合と違い、転送先へは本システムからではなく、局から発信します。したがって、工事段階で転送電話の発信側に指定されている外線は、着信転送時の発信に使用されません。
- 転送先の番号は着信転送を登録した電話機の短縮98が使用されます。あらかじめ短縮98に転送先の電話番号を登録してください。
- 着信転送を登録した電話機へダイヤルインの設定を行ってください。
- 着信転送が登録されているときは「着信転送」ボタンが点灯します。
- 網が提供する転送メッセージには以下の種類があります。

登録番号	被転送先	転送先
1	メッセージなし	メッセージなし
2	メッセージあり	メッセージなし
3	メッセージなし	メッセージあり
4	メッセージあり	メッセージあり

- 「着信転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話中転送

相手からかかってきた外線通話を、システム外の別の外線に転送することができます。



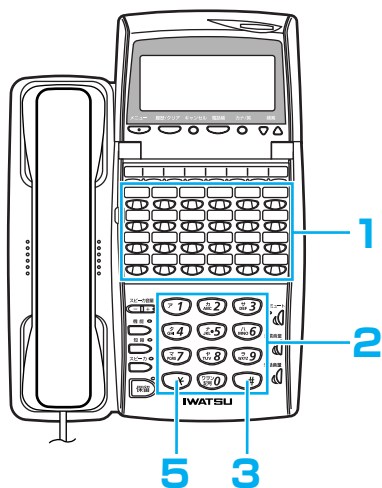
Note

「ショートフラッシュ」、「通話中転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 外線と通話の状態です「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「2」ボタン）を押します。
- 2 転送先の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながったら転送することを伝えます。
※相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「通話中転送」ボタンを押します。
通話が転送されます。
- 6 受話器を置きます。

三者通話

外線と通話中に、別の外線を呼び出して3人で通話することができます。



Note

「ショートフラッシュ」、「通話中転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 外線と通話の状態です「ショートフラッシュ」ボタン（または「機能」＋「1」「2」ボタン）を押します。
- 2 通話に加えたい相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 3 「#」ボタンを押します。
- 4 相手とつながったら3人で通話することを伝えます。
※相手が通話中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を取り上げればもとの通話に戻ります。
- 5 「*」ボタンを押します。
3人で通話します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DS
Sユニット付き
多機能
電話機

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

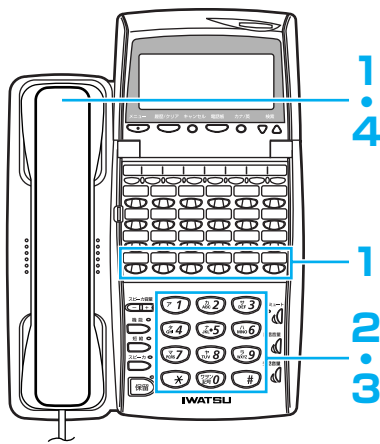
7
システム
機能

8
ご参考
に

INSボイスワープ

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。
詳しくは、NTTの「INSボイスワープ使用説明書」をご参照ください。

INSボイスワープ開始操作



1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツー」という発信音が聞こえます。

2 「1」「4」「2」「1」ボタンを押します。

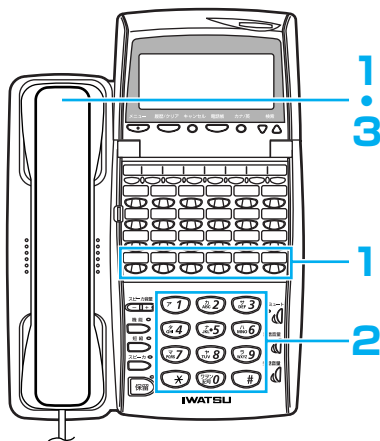
3 転送方法を指定する番号（1～4）と「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。

4 受話器を置きます。

Note

- 転送方法を指定する番号と動作は、以下のとおりです。
「1」：無条件転送
「2」：無応答時転送
「3」：話中時転送
「4」：無応答時および話中時転送
- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

INSボイスワープ停止操作



1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツー」という発信音が聞こえます。

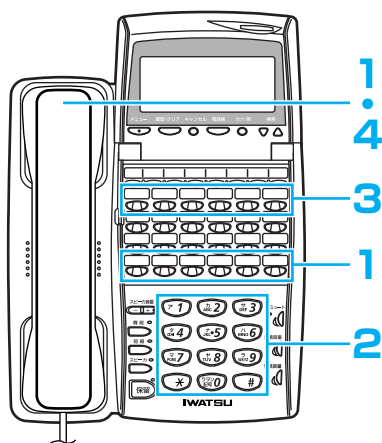
2 「1」「4」「2」「0」「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。

3 受話器を置きます。

Note

- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

INSボイスワープ転送先電話番号の登録操作



Note

- 本操作では局の転送先リスト「0」に登録されます。
転送先電話番号の登録方法は、短縮のほかに転送先電話番号を通話中ダイヤル操作でも行えます。この場合、アナウンスを聞いてから転送先電話番号をダイヤルし、最終ダイヤルから一定時間経過後に局へ転送先電話番号を通知します。
- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

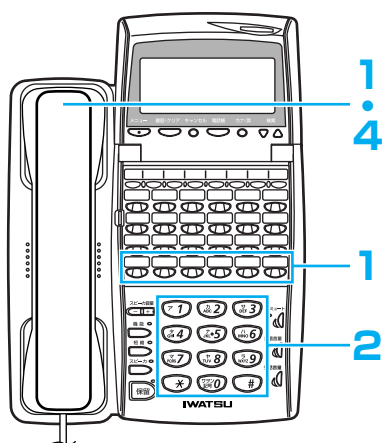
1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツー」という発信音が聞こえます。

2 「1」「4」「2」「2」「#」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。

3 転送先電話番号を登録してある短縮ダイヤルの「短縮」ボタンを押します。
局からアナウンスが聞こえます。
〈例〉短縮90に転送先電話番号を登録してある場合、「短縮」「9」「0」ボタンを押します。

4 受話器を置きます。

INSボイスワープ確認操作



Note

- 「外線」ボタンは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 受話器を取り上げ、サービス契約のあるISDN回線の「外線」ボタンを押します。
「ツー」という発信音が聞こえます。

2 「1」「4」「2」「8」「#」ボタンを押します。

3 局から現在の設定内容がアナウンスされます。

4 受話器を置きます。

7.システム機能

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSSユニット付き

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

オプション

マークがついている項目は、機器の追加が必要です。

システムに関する概要

このシステムで使用できる回線

- NTT一般回線
- NTTダイヤルイン回線
- セントレックス回線（ビル電話）
- PBX内線
- DISA（ダイレクトインワードシステムアクセス）回線
- LD/SR/IB専用線
- 総合デジタル通話回線（ISDN）〔回線交換（基本・一次群）〕
- IP電話サービス
- IWATSUねっと
- IPNET（専用線相当）

システム障害に関して

- システムに障害が生じた場合は、中継台またはDSSユニットのディスプレイに表示します。または、機種によってはシステムの発光ダイオードが光ります（システム障害表示）。
- システムに異常が生じた場合は、受信可能なパソコンを設置してある部署に、診断時または定時にお知らせすることができます（障害自動発報）。

システムのデータ設定に関して

システムのデータ設定を簡易中継台から行うことができます（システムデータ設定）。

外線に関する機能

市外発信クラス切り替え／市外発信規制

電話機ごとに外線発信できる範囲を、以下のように規制することができます。

サービスクラス	規制内容
0	規制はありません
1~4	指定外線に、あらかじめ設定された48桁以内の規制ダイヤルコードと一致する番号がダイヤルされた場合は、市外発信できます
5	システム短縮ダイヤルのみで発信できます
6	外線発信は全面的に禁止されます。ただし、外線着信には応答できます
7	外線発信、外線着信ともに全面禁止です。ただし、鳴音指定されている外線の着信、および外線自動転送の着信には応答できます



Note

電話機ごとに、市外発信クラスは1つまたは2つをデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線グループ分け

部署ごとに発信できる外線を決めることができます。

- 最大40個に分けた外線グループの中から、使用できる外線グループを決めておくと、内線グループ（部署など）ごとの使用通話料が管理しやすくなります。



Note

電話機ごとの外線発信規制は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

オフフックトランクキューイング

捕捉しようとした外線が使用中の場合に、受話器を取り上げた状態のままや、「スピーカ」ボタンを押した状態のまま、外線が空くの待つことができます。



Note

データ設定により、あらかじめ登録された時間を経過すると、自動的に解除されます。

簡易着信呼均等分配（ACD:オートマチックコールディストリビューション）

外線着信に対し設定した応答時間を超えると、システムが自動的に応答してメッセージを流すようにすることができます。



Note

- ACDを行う外線、応答時間は、データ設定により、登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

注意！！

- 切断信号が検出されない外線では、データ設定された時間で強制切断されますのでご注意ください。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台（ATT）

6
ISDN

7
システム機能

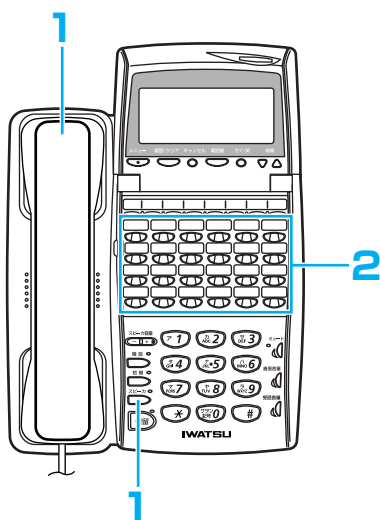
8
ご参考に

外線に関する機能

夜間切り替え／分散切り替え

- データ設定により、あらかじめ登録されている時刻に着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を切り替えられます。
- 指定電話機で着信音を鳴らす電話機および外線応答規制を手動で切り替えられます。

夜間切り替え方法



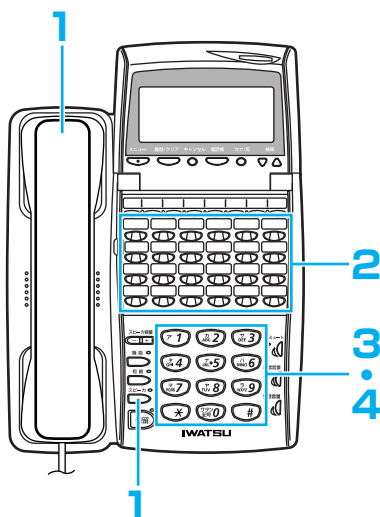
- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「夜間切り替え」ボタンを押します。
※切り替えが完了すると確認音が聞こえます。



Note

- あらかじめ登録した時間により自動的に切り替えを行うことができます。
- 夜モードから昼モードへの切り替えはマニュアル操作でしかできません。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空きになった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- 「夜間切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

分散切り替え方法



- 1 受話器を取り上げるか「スピーカ」ボタンを押します。
「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。
- 2 「分散切り替え」ボタンを押します。
- 3 外線グループ番号を押します。
- 4 モード番号（「1」または「2」ボタン）を押します。
 - 昼モード → 「1」ボタン
 - 夜モード → 「2」ボタン
 ※切り替えが完了すると確認音が聞こえます。

- 5 DSSユニット付多機能電話機のディスプレイにモードが表示されます。



Note

- 昼モード、夜モードで着信音を鳴らす電話機は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- システムが夜間切り替えでモードを切り替えられていても、分散切り替えを行うとサブシステム内の外線グループごとにモードを切り替えられます。
- 外線使用中にモードを変更すると、その外線が空きになった時点で、新しい設定モードに切り替わります。
- 「分散切り替え」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

■ プライムステーション

鳴音電話機がない場合にも、外線着信に応答することができます。鳴音電話機がない場合は、プライムステーションが鳴ります。

※プライムステーションについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 外線着信鳴音指定／外線代表着信／スライド着信

外線着信音を鳴らす電話機を指定することができます。

● 外線着信鳴音指定

各外線ごとに外線の着信を鳴らす電話機を指定することができます。

Note

- 着信音を鳴らす電話機は、1つの外線に対して夜モード、昼モードの各モードで最大16台までです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- 鳴音する電話機は、外線代表着信やスライド着信が設定されているときでも鳴り続けます。

● 外線代表着信

内線グループ内の空いている電話機を選択して、外線の着信音を鳴らすことができます。

Note

- 着信鳴音設定されている電話機は、本機能に関係なく着信時に鳴ります。
- 着信音を鳴らす代表着信グループは、外線ごとの夜モード、昼モードの各モードで1つだけです。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線代表着信指定されている同一グループの電話機でも鳴りません。
- 外線ごとに着信させる代表着信グループ番号を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

● スライド着信

指定した電話機が応答しない場合に、他の電話機に着信を回すことができます。外線着信鳴音指定した電話機が一定時間以上応答しない場合に、最大16台の電話機に着信を回すことができます。

Note

- スライド着信できるのは一般着信だけです。
- スライド着信を指定した電話機は、夜モード、昼モードともに共通です。
- 通話中、内線呼び出し中、不在転送設定中、着信拒否中、不在メッセージ登録中または強制切断の場合は、外線着信鳴音指定されている電話機でも鳴りません。
- スライドするまでの時間、およびスライド着信先の電話機を、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線に関する機能

外線応答規制

外線ごとに応答できる内線グループ（部署など）を指定することができます。

- 内線グループ分け（テナント）することにより、電話機を以下のように指定することができます。
 - 外線ごとに自由に発着信できる電話機
 - 着信が一部規制される電話機
 - 着信が全面的に禁止される電話機
- グループ分け（テナント）したときの多機能電話機表示は、以下のようになります。

局線テナント種別	可視表示	
	テナント内多機能電話機	テナント外多機能電話機
テナントフリー	通常表示	通常表示
着信テナント	通常表示	着信はビジー表示
発着信テナント	通常表示	保留のみ表示
完全テナント	通常表示	表示なし

- グループ分け（テナント）の種別により、以下のように電話機のグループ間の発着信が規制されます。

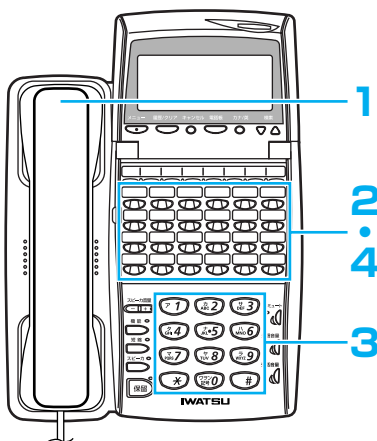
	着信テナント	発着信テナント	完全テナント
着信応答	×	×	×
保留応答	○	○	×
キャンプオン応答	○	○	×
転送	○	○	×
秘話解除・応答	○	○	×
他端末へのリコール応答	×	×	×
バーズイン	○	○	×
スライド着信応答	○	○	○

○：応答規制なし ×：応答規制の対象

転送電話

かかってきた電話を外部にある電話機に転送することができます。

転送先の登録方法



1 受話器を取り上げます。

2 「転送電話」 ボタンを押します。

3 転送先の電話番号（48桁以内）を押します。

※短縮ダイヤルの場合は、「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の短縮番号をダイヤルします。

※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。

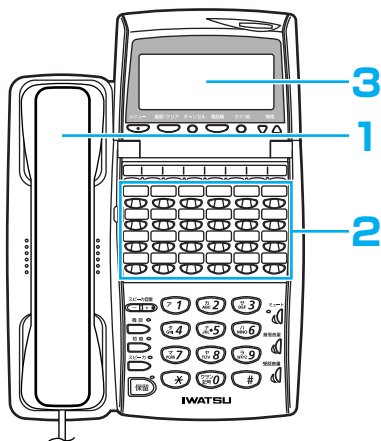
4 「転送電話」 ボタンを押します。

※設定が完了すると確認音が聞こえます。

Note

- 転送できる外線、転送電話のグループ、転送監視時間などは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 転送先の登録をDISA局線から行うことができます。
- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送先電話番号の確認方法



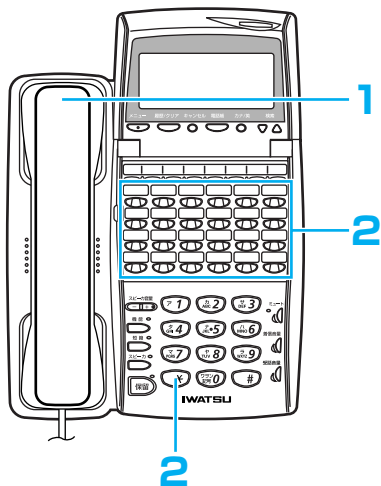
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」 ボタンを押します。
- 3 ディスプレイに転送先の電話番号が表示されます。



Note

「転送電話」 ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送電話の取り消し方法



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「転送電話」、「*」 ボタンの順に押します。
※取り消しが完了すると確認音が聞こえます。



Note

- 転送先電話番号の確認は、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話の取り消しは、登録を行った多機能電話機からしかできません。
- 転送電話登録中は「転送電話」ボタンが赤色に点灯します。
- 「転送電話」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線着信方式

外線の着信先を中継台に集めたり、内線電話機に分散したり、あるいは両方に着信させることができます。

NTTダイヤルイン

NTTのダイヤルインサービスを利用することができます。

呼び出す内線電話機、内線代表番号、内線グループをあらかじめ指定することができます。



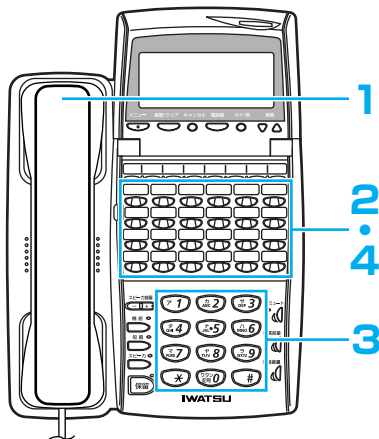
Note

NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。

外線に関する機能

着番号毎転送

NTTのダイヤルインサービスを利用して、外部のある電話機に転送することができます。



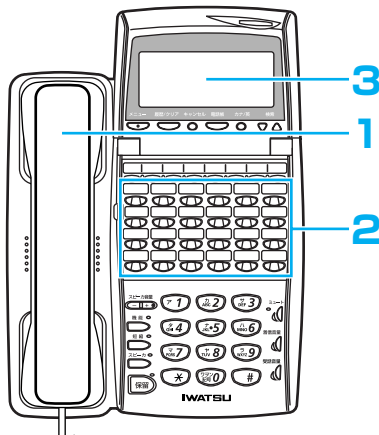
転送先の登録方法

- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」 ボタンを押します。
- 3 転送先の電話番号（48桁以内）を押します。
 ※短縮ダイヤルの場合は「短縮」ボタンを押し、続けて転送先の共通短縮番号をダイヤルします。
 ※相手の電話番号の他にポーズ（休止）時間を秒単位（1～9）で設定することもできます。「保留」ボタンを押し、続けて秒数に該当する「1」～「9」の数字ボタンを押します。
- 4 「DIN転送」 ボタンを押します。

 Note

- 登録が完了した場合、確認音と「DIN転送」ボタンが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送できるためにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- NTTダイヤルインサービスへの加入が必要です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送先電話番号の確認方法

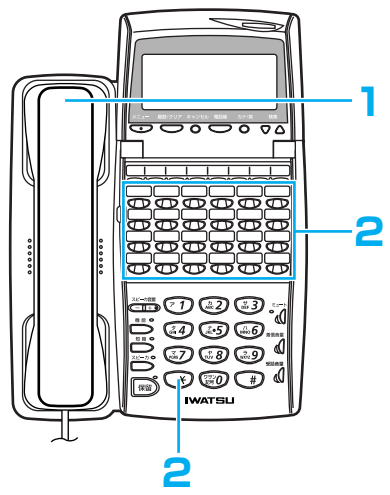


- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」 ボタンを押します。
- 3 ディスプレイに転送先の電話番号が表示されます。

 Note

- 上記手順操作以降に転送先電話番号を変更したい場合は、続けて「転送先の登録方法」手順（3）以降の操作で変更します。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送先電話番号の取り消し方法

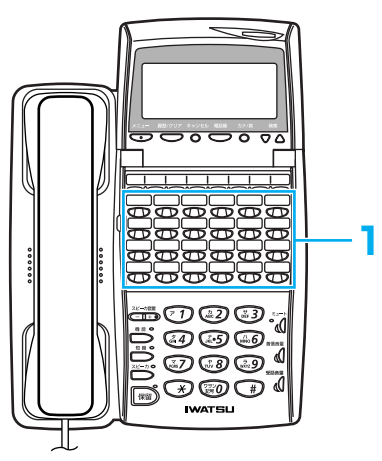


- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「DIN転送」、「*」ボタンの順に押します。

Note

- 取り消しが完了した場合、確認音が聞こえ、「DIN転送」ボタンが消灯します。
- 取り消しが行えるのは、登録されている場合のみです。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

転送の一時解除方法



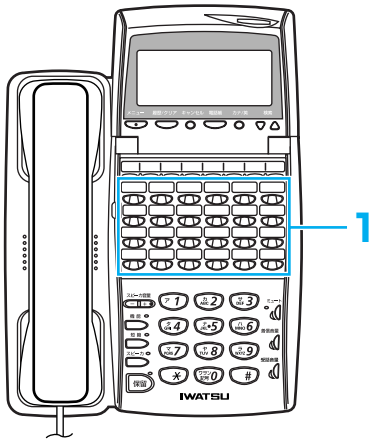
- 1 赤色に点灯中の「DIN転送」ボタンを押します。

Note

- 一時解除が完了した場合、「DIN転送」ボタンが消灯します。
- 一時的に転送することをやめますので、以降かかってきた電話は転送されません。
- 一時解除が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出先から帰ってきたときに便利です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外線に関する機能

転送の開始方法

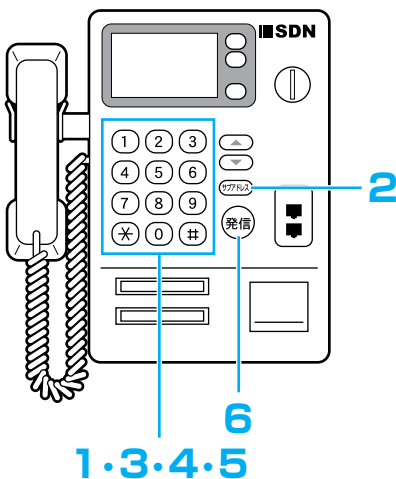


- 1 消灯している「DIN転送」ボタンを押します。

Note

- 転送開始が完了した場合、「DIN転送」ボタンが赤色に点灯します。
- 以降かかってきた電話は転送されます。
- 転送開始が行えるのは、登録されている場合のみです。
- 外出するときに便利です。
- 「DIN転送」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

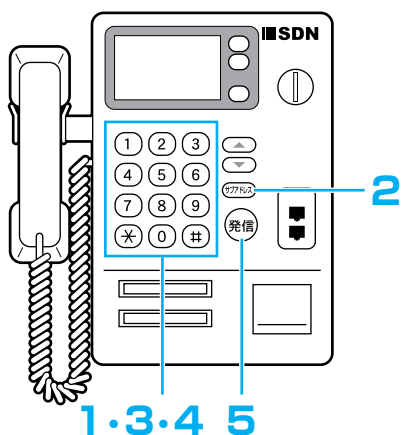
外出先から転送先変更／登録方法



- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 リモート特番を押します。
- 4 「2」ボタン（登録種別＝転送先変更・登録）を押します。
- 5 転送先の電話番号を押します。

Note

- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- ISDN公衆電話等からご利用になれます。



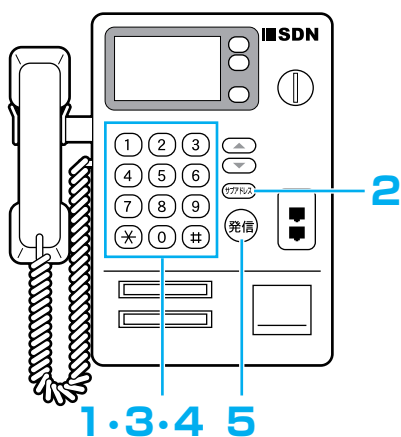
Note

「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

外出先から転送先の取り消し方法

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「3」ボタン（登録種別＝転送先取り消し）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

外出先から転送の一時解除方法



Note

「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「0」ボタン（登録種別＝転送一時解除）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSSSユニット付き

5
中継台（ATT）

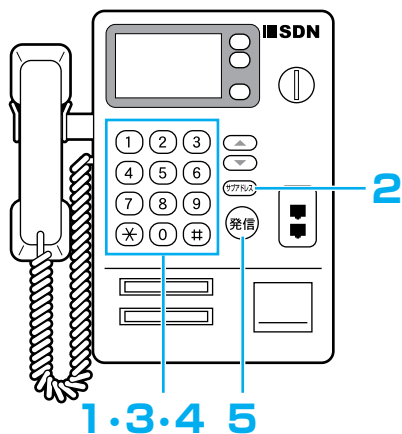
6
SDN

7
システム機能

8
ご参考に

外線に関する機能

外出先から転送の開始方法



- 1 外出先のサブアドレス発信ができる電話機から、転送登録されている電話番号を押します。
- 2 「サブアドレス」ボタン（電話機によって異なります）を押します。
- 3 「リモート特番」を押します。
- 4 「1」ボタン（登録種別＝転送開始）を押します。
- 5 「発信」ボタン（電話機によって異なります）を押します。

Note

- 操作が正常に完了した場合、呼出音となります。またできなかった場合は話中音となります。
- この操作はISDN回線に限り行えて、携帯電話等からは行えません。
- 登録操作するためには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「リモート特番」はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

i・ナンバー

NTTのi・ナンバーサービスを利用できます。呼び出す内線電話機、内線代表番号をあらかじめ指定します。

Note

- i・ナンバーサービスへの加入が必要です。
- 呼び出す電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

固定不在転送

あらかじめ登録している電話機に、着信を自動的に転送することができます。

Note

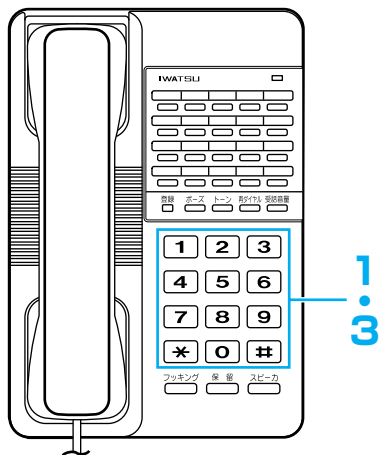
- 転送先の電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 不在転送、話中／未応答転送、未応答転送の3種類の転送モードがあります。データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

DISA 〈ダイレクトインワードシステムアクセス〉

外からプッシュ信号でシステムの機能をコントロールすることができます。

一般のアクセス方法

あらかじめ設定したDISA外線に外からダイヤルすると、システムが応答し内線電話機を直接呼び出すことができます。なお、この場合、あらかじめパスワードを設定することもできます。



1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。

2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。

3 呼び出し先の内線番号をダイヤルします。

4 特定の内線と直接通話ができます。



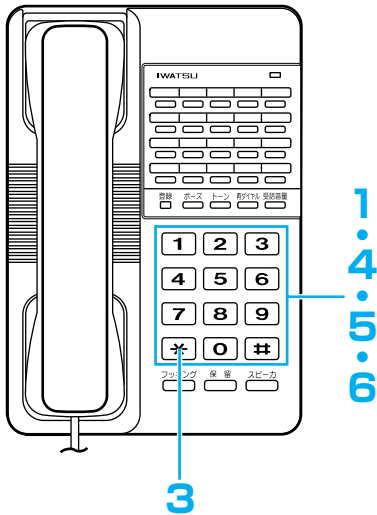
Note

- かけた内線電話機が話中だった場合、強制呼び出しができます。強制呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。
- 話中の状態で「*」ボタンを押します。
- 話中の内線電話機に強制呼び出し音が鳴ります。
- DISAを行うにはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DISAユニット付き
多機能電話機5
中継台(ATT)6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

DISA 〈ダイレクトインワードシステムアクセス〉

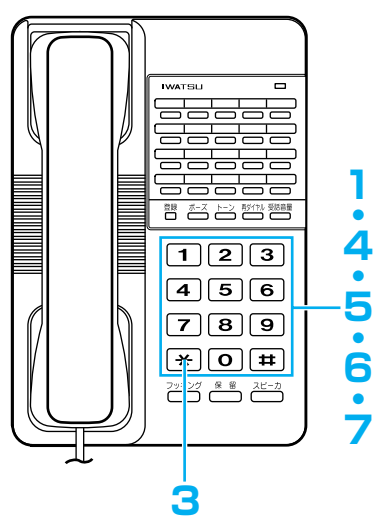
外から内線電話機の一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出し方法


 **Note**

一斉呼び出し、グループ呼び出し、ページング呼び出しを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 「一斉呼び出し特番」、「グループ呼び出し特番」、「ページング呼び出し特番」の1つを押します。
- 7 「〇〇さん、応答願います」のように呼びかけます。
- 8 呼び出し相手が応答したら、お話しします。

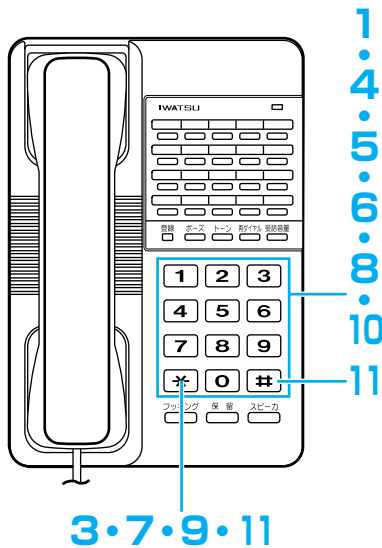
内線電話機を介して外線発信またはグループ外線発信方法



Note
電話機パスワード、外線アクセス番号、外線グループアクセス番号を行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線にダイヤルします。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべての「*」ボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 外線アクセス番号または外線グループアクセス番号を押します。
内線を介してつながった外線発信音が聞こえます。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻ります。
- 7 相手の電話番号（または短縮番号）を押します。
- 8 相手とつながったら、お話しします。

DISA 〈ダイレクトインワードシステムアクセス〉



 **Note**

電話機パスワード、リモート特番、転送電話グループナンバーを行うには、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

DISA外線から転送電話を登録する方法

- 1 外出先からプッシュホン電話機でDISA外線に押しします。
- 2 「ピピ」というリクエスト音（または音声案内）が聞こえます。
- 3 そのままの状態ですべてのボタンを押します。
- 4 パスワードを登録してある内線電話機の番号を押します。
- 5 パスワードを押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、手順（2）の状態に戻ります。ただし、やり直しは3回以内です。
- 6 「リモート特番」を押します。
※このとき「#」ボタンを2回押すと、内線発信音に戻ります。
- 7 そのままの状態ですべてのボタンを押します。
- 8 転送電話グループナンバー（1～4）を押します。
- 9 「*」ボタンを押します。
- 10 転送先の電話番号を押します。
- 11 そのままの状態ですべてのボタンを押します。

内線に関する機能

フレキシブルナンバリングプラン

内線電話番号、機能特番を登録することができます。

- 内線番号（1～4桁）を登録することができます。
お買い求めの販売店にお問い合わせください。

内線テナント

各電話機を内線グループに分けることができます。内線テナントグループに分けられた電話機は、同一グループ間での電話機との通話は可能ですが、他グループの電話機との通話できません。

- 最大32個の独立した内線テナントグループに分けることができます。
- 内線テナント番号「0」に設定された電話機では、すべての内線と通話が可能になります。

内線通話規制

内線の通話を規制することができます。

- 電話機によって内線相互の通話、ホットライン、不在転送、話中転送、未応答転送を規制することができます。ただし、規制されていない電話機とは通話できます。



Note

- 内線通話規制されている電話機間で通話したい場合は、内線通話規制されていない電話機による自動転送、会議通話、その他内線キャンプオン、不在転送、話中転送、未応答転送などで通話することができます。
- 内線通話規制する電話機はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

通話料金に関する機能

通話明細プリントアウト

オプション

電話機ごとに通話明細をプリンタで印刷することができます。

- 通話の通し番号、日付、内線電話機番号、通話開始時刻、使用外線番号、通話時間、発信ダイヤル、通話料金などの明細をプリンタに出力して印刷することができます。



Note

- 通話明細の連続番号は001～999の繰り返しです。
- 日付が変わると改ページされます。
- 通話明細プリントアウトの指定、出力条件は、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。

課金装置接続

オプション

通話明細データを解析し、課金管理を行うことができます。

- SCIFユニットまたはEDVIFユニットを実装することで、TFX [岩通製] を接続して通話明細データを出力することができます。



Note

- 接続できる課金装置は1台のみです。
- 通話明細データの出力先はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

予算オーバー発信規制

あらかじめ登録したグループ予算額を超えたとき、その内線グループの発信を規制することができます。対象とする電話機をデータ設定により、登録することで規制することができます。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
DSSユニット付き
多機能電話機

5
中継台(ATT)

6
ISDN

7
システム機能

8
ご参考に

専用線に関する機能

対磁石専用線アダプタ

オプション

専用線の相手が対磁レピータ、または磁石式電話機の場合にも対応することができます。

- 対磁石専用線アダプタを付けることにより、通常の外線と同様に扱うことができます。



Note

対磁石アダプタは、あらかじめ取付が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

LD/SR (OD) /IB専用線

オプション

専用線がLD、SR (OD)、IB専用回線の場合も対応することができます。

- 専用線トランクユニットを付け加えることにより、発信時は外線として、着信時は内線として扱うことができます。
- LD/SR (OD) /IB専用線から、本システムに接続する場合は、単独電話機の機能を参照してください。



Note

専用線トランクユニットは、あらかじめ取付が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

専用線タンドム接続

専用線を用いてタンドム中継を行うことができます。



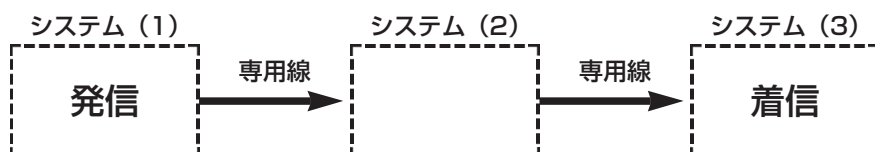
Note

- タンドム変換ダイヤルは最大400テーブルを設定できます。各変換テーブルに、専用線からの受信ダイヤル桁数、使用する外線グループ番号、および24桁以内の変換ダイヤルを登録します。
- 変換ダイヤルデータには、「0」～「9」、「*」ボタン、「#」ボタン、およびポーズを登録できます。
- タンドム変換を行う変換テーブルは、データ設定により、あらかじめ登録が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

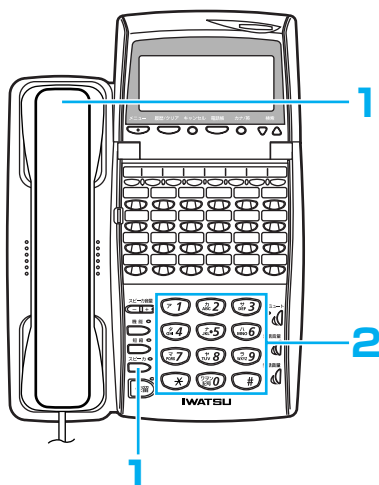
閉番号方式

専用線で接続されているActeto IIシステム間で内線通話ができます。

- 専用線で接続されているActeto IIシステムの内線どうしは、呼び出す相手の内線番号をダイヤルするだけで通話することができます。
- 3つのシステムが専用線で接続されている例



- システム (1) の内線電話機から、システム (3) の内線電話機を呼び出す場合は、以下の手順で行います。



1 システム (1) の内線電話機の受話器を取り上げるか、「スピーカ」ボタンを押します。

「ツツツツツ」という内線発信音が聞こえます。

2 呼び出したいシステム (3) の内線番号をダイヤルします。

3 相手とつながったら、お話しします。

Note

- 特殊特番は、システムごとに最大32個登録できます。各特殊特番には、専用線からの受信ダイヤル桁数、使用する外線グループ、および24桁以内の変換ダイヤルを登録します。
- 変換ダイヤルデータには、「0」～「9」、「*」、「#」ボタン、およびポーズを登録できます。
- 特殊特番はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

TLAD接続

局線インタフェースで専用線を収容することができます。

Note

使用することのできる機能は、内線個別呼び出し、内線代表呼び出し、ページング、中継台一斉呼び出しです。

その他の機能に関して

着信鳴音優先順位

呼び出し機能には以下のような優先順位が定められています。ただし、同じ呼び出しが同時に入っている場合は、着信順となります。

優先順位	呼び出し状態	優先順位	呼び出し状態
0	優先内線着信（音声）	9	外線キャンブオン
1	優先内線着信（トーン）	10	外線着信
2	内線音声呼び出し	11	内線リコール
3	タイムコール	12	内線コールバック
4	モーニングコール	13	内線キャンブオン
5	転送保留コール	14	内線トーン
6	外線リコール	15	ドアホン
7	外線コールバック	16	ページング
8	外線着信アラーム	17	BGM



Note

強制呼び出しができる内線電話機の呼び出しは最優先します。

内部保留音

外線、内線、専用線の通話を保留すると、相手に保留音を流すことができます。6曲の保留音からいずれか一つを選択することができます。



Note

保留音の選択はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

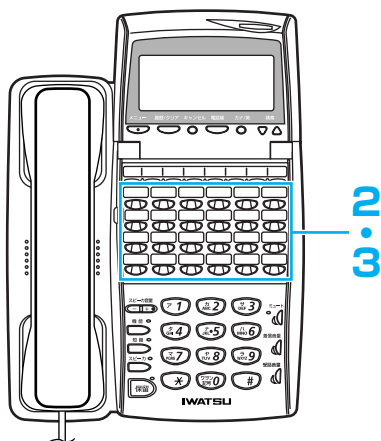
外部保留音

外線、内線、専用線の通話を保留すると、相手に外部に接続した音源の保留音を流すことができます。

BGM

空いている多機能電話機のスピーカ、外部スピーカから音楽を聞くことができます。

多機能電話機のスピーカの場合



 **Note**

「BGM」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1 電話機が空いていることを確認します。

2 「BGM」ボタン（または「機能」＋「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが聞こえます。

3 そのままの状態ですら再び「BGM」ボタン（または「機能」＋「0」「6」「2」ボタン）を押すと、BGMが止まります。

外部スピーカで音楽を流す場合

オプション

BGMアンプが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

1
前に
ご利用いただく2
多機能電話機3
単独電話機4
DSSユニット付き
多機能電話機5
中継台（ATT）6
ISDN7
システム機能8
ご参考に

音声案内

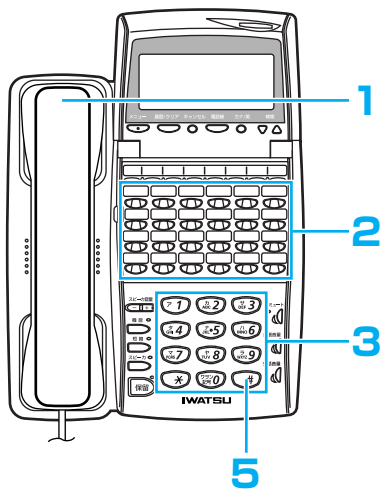
外線や内線からかかってきた電話に対し、音声による案内サービスができます。

音声案内サービス概要

音声案内サービスには以下のようなものがあります。

- 接続案内サービス
- ダイレクトインワードサービスアクセス
- 外線への自動応答メッセージ
- 転送電話の応答メッセージ

番号	状態	メッセージ
01	案内サービス	可変メッセージのみ
02	DISA	こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機がブッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください
03		こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機がブッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください
04		但しコレクトコールではお呼び出しできません
05		ピー（発信音）
06~09	外線自動応答1	本日の業務は終了致しました。おそれ入りますが、就業時間におかけ直してください
10~13	外線自動応答2	おそれ入りますが本日は定休日です
14~17	転送電話	転送電話です
18	話中音	ただいま、お話し中です
19	警告音	おかけになった番号は、使われておりません
20	ドント・ディスターブ	ただいまお呼び出しできません
21	不在メッセージ	ただいま不在のため、お呼び出しできません
22	モーニングコール	こちらは、モーニングコールサービスです。ダイヤルをどうぞ
23	モーニングコール応答	こちらは、モーニングコールサービスです。お時間になりました
24	音声案内録音	録音を開始します。メッセージをどうぞ
25	音声案内録音	録音を取り消しました
26	音声案内録音不可	ただいま録音できません
27	音声案内録音終了	録音を終了します
28	音声案内録音再生	録音を再生します
29	登録完了	登録を受け付けました
30	登録取り消し	登録を取り消しました
31	着信呼均等分配（ACD）	ただいま呼び出しをおこなっていますので、おそれ入りますがそのま まの状態ですばらくおまちください



可変メッセージの録音

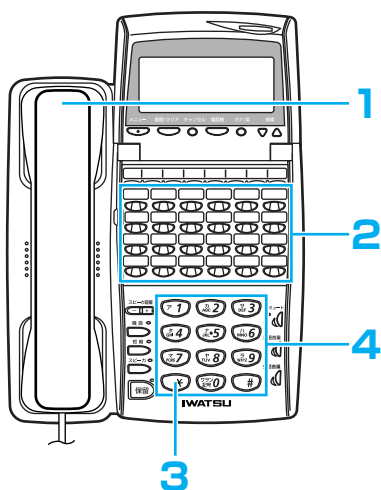
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「音声案内録音」 ボタンを押します。
- 3 メッセージ番号を押します。
- 4 受話器を通じてメッセージを録音します。
- 5 「#」 ボタンを押します。



Note

- すでにメッセージ登録されている場合、または登録メモリがない場合は、登録不可のメッセージが流れます。
- 可変メッセージの番号は01～60まであります。
- 登録できる可変メッセージは総計120秒です。
- 「音声案内録音」 ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

可変メッセージの消去



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「音声案内録音」 ボタンを押します。
- 3 「*」 ボタンを押します。
- 4 消去するメッセージ番号を押します。



Note

- 「音声案内録音」 ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

1
前に
ご利用いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
DSN
ユニット付き
多機能電話機

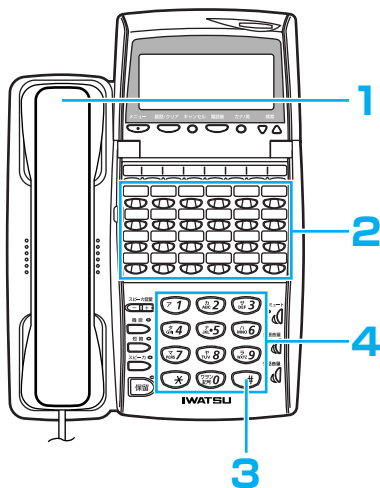
5
中継台
(ATT)

6
ISDN

7
システム
機能

8
ご参考
に

音声案内



可変メッセージの再生

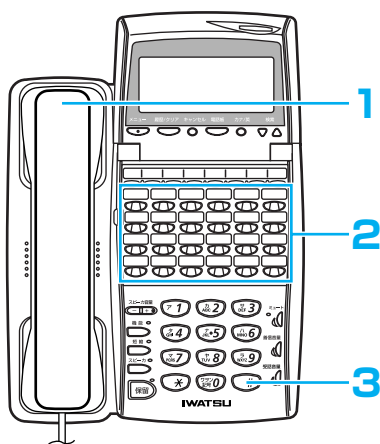
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「音声案内録音」 ボタンを押します。
- 3 「#」 ボタンを押します。
- 4 再生するメッセージ番号を押します。



Note

「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

全可変メッセージの再生



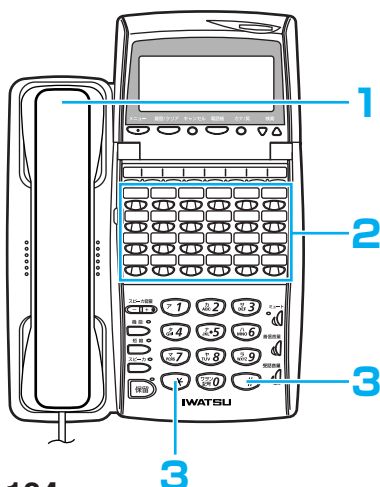
- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「音声案内録音」 ボタンを押します。
- 3 「#」 ボタンを2回押します。



Note

「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

全固定メッセージの再生



- 1 受話器を取り上げます。
- 2 「音声案内録音」 ボタンを押します。
- 3 「#」、「*」 ボタンの順に押します。



Note

「音声案内録音」ボタンはデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。

接続案内メッセージ

DISA回線に応答できない場合、相手に以下のメッセージを流すことができます。

状態	メッセージ
話中音送付	ただいまお話し中です
警告音送付	おかけになった番号は使われておりません
ドント・ディスターブ	ただいまお呼び出しできません
不在	ただいま不在のためお呼びだしできません

ハウラ音送付

受話器が外れたままのとき、「ピー」という音を鳴らして受話器の戻し忘れを防止します。



Note

警告音が30秒鳴っても受話器が置かれない場合は、警告音が止まりますので受話器を戻してお使いください。

モーニングコール応答レポート

モーニングコールの呼び出し時間、内線電話機番号、応答結果をプリンタに出力して印刷することができます。



Note

モーニングコール応答レポートの出力先はデータ設定により、あらかじめ登録が必要です。登録内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご利用いただく前に

■ IP多機能電話機/IPNETのセキュリティについて

暗号化などのセキュリティ機能はありません。ルータなどのセキュリティ機能をお使いください。

■ 音声の品質について

通話中に音声の途切れ、ノイズ、エコーなどがあっても故障ではありません。

- 携帯電話機インターフェース (IX-6CO/2CP) での通話をご遠慮ください。
- 次の場合、エコーやノイズ、通話の途切れが気になる事があります。
 - ネットワークのデータトラフィックが増大した場合。
 - インターネット経由の場合。
 - ※ 契約しているプロバイダなどの環境にも影響されます。(ベストエフォート)
 - ADSL回線をお使いの場合。
 - ※ 回線を提供しているキャリアにご相談ください。最悪、通話が切れる事もあります。
 - 他の多機能電話機やコードレス電話機を音声で呼出し、内線ハンズフリー応答機能が働く場合。
 - ドアホン通話の場合。
 - 会議通話の場合。
 - ボイスメール装置で通話録音を行う場合。
 - アナログ系の外線や専用線をお使いの場合。
 - 通話中の相手の方が保留した場合の保留音。
 - 転送電話でIP以外の回線で通話した場合。
- お話が終わって切るときや、外線ボタンを押し替えたときに、異音が瞬間的に出る場合があります。
- IP多機能電話機ではアナログ回線をハンズフリーで発信操作する場合のダイヤルトーンが途切れる事があります。
 - ※ マイクOFF、またはミュートボタンを押してお使いください。
- お話している相手の方の周囲騒音が著しく大きいとき、こちらの音声がとどかない事があります。

■ IPNETについて

- 通話中に、まれに「ピッ」と音になる事があります。
- FAXをお使いの場合、ネットワーク環境により画像が歪んだり、線が入ったり、改ページが正常でない事などがあります。
- 音声圧縮にG.729をお使いの場合、音声以外 (FAX、保留音、PB信号、各種トーン) は歪んで聞こえます。また、FAXやモデムでの通信はできません。

■ IP電話サービスについて

- IP電話サービスのための専用ユニットはルーター機能を搭載しています。LAN側に接続したパソコンでインターネット接続が可能ですが、電話機能を優先しているためWANが高速であってもインターネットのデータ通信速度が遅くなる事があります。
- IP電話サービス、IWATSUねっと、およびピア・ツー・ピアを「外線」ボタンに割り付けてある場合、イーサケーブルが外れたり、ADSLモデムの電源が切れたとき、対象となるすべての「外線」ボタンが赤色で点灯します。

IP電話サービス

IP電話サービス提供会社と契約することで一般公衆回線と同様に「外線」ボタンに登録し、外線発信、着信保留転送などの各種サービス機能をご利用できます。

- 電話をかけるときは、ISDN回線と同様にダイヤルの最後に「#」ボタンをダイヤルします。また、ダイヤルは市外局番からダイヤルしてください。
- 対応しているIP電話サービス提供会社の情報など、各種情報は次のホームページなどでご確認ください。
<http://www.iwatsu.co.jp/>
- ご契約したIP電話サービス提供会社のホームページなどで、以下の内容をご確認ください。
 - 発信できないダイヤル（例：110、119などの緊急番号、その他）などの情報。
 - その他の注意事項。
- 多機能電話機などに表示される課金は目安であり、正確な内容を表示していません。



Note

- IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線、IP電話サービスの契約が必要です。
- 「110番」、「119番」などIP回線で発信しても電話番号により発信できない場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。
この場合、一般公衆回線であるため課金されます。また最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- IP電話サービスユニットはあらかじめ取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IWATSUねっと

あらかじめダイナミックDNSサービスに電話番号を登録する事で、IP電話サービスの契約がなくてもIWATSUねっとに対応した製品どうしでお話ができます。

発信者番号はデータ設定により、あらかじめ登録することで着信表示することができます。



Note

- IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線の契約、ダイナミックDNSの登録が必要です。
- 相手先がIWATSUねっとに登録されていないとIWATSUねっとを使用した発信はできません。相手先が登録していない場合には、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。
一般公衆回線を使用した場合は課金されます。また最初に表示していた「外線」ボタンのランプは消灯し、他の「外線」ボタンのランプが緑色で点滅します。
- あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

VoIP機能

オプション

ピア・ツー・ピア

お話ししたい相手の機器のIPアドレスが判明しているとき、かつIPアドレスが変更されない場合は、あらかじめ登録したIPアドレス宛に発信することができます。電話番号はデータ設定により、あらかじめ登録しておく必要があります。

Note

- IP電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSLなどの回線の契約が必要です。
- あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IPNET

IP網で専用線のようにシステム間で通話ができます。
発信時は外線として、着信時は内線として扱うことができます。
専用線に関する機能（178ページ）を参照してください。

Note

IPNETユニットはあらかじめ取り付けが必要です。IP網の条件についてもお買い求めの販売店にお問い合わせください。

IP多機能電話機

IPで接続される電話帳機能の付いた多機能電話機を収容できます。

Note

あらかじめ専用のユニットの取り付けが必要です。IP網の条件についてもお買い求めの販売店にお問い合わせください。

停電のとき

- 停電したときは、停電TELの付いている電話機から外線発信、着信応答することができます。
- 停電になったときは、停電TELの付いている電話機が自動的に使用できる状態に切り替わります。
 - 外線発信
電話機の受話器を取り上げて、停電時のダイヤルボタンを押して発信します。
 - 着信応答
「プルルルル、プルルルル」という着信音が鳴ったら受話器を取り上げてお話しします。
- 停電が復旧したときは、自動的に多機能電話として使用できる状態に戻ります（ただし、通話中に停電が復旧した場合は受話器を置くまで停電TELとして通話を継続することができます）。
- 停電したときは、VoIP機能はご利用できません。

1
前に
ご利用
いただく

2
多機能
電話機

3
単独
電話機

4
多機能
電話機
DS
ユニット
付き

5
中継台
(ATT)

6
ISDN

7
システム
機能

8
ご参考
に

8. 参考に

1
前に
ご利用いただく

2
多機能電話機

3
単独電話機

4
多機能電話機
DSSユニット付き

5
中継台(ATT)

6
ISDN

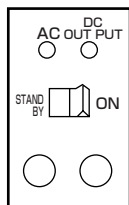
7
システム機能

8
参考に

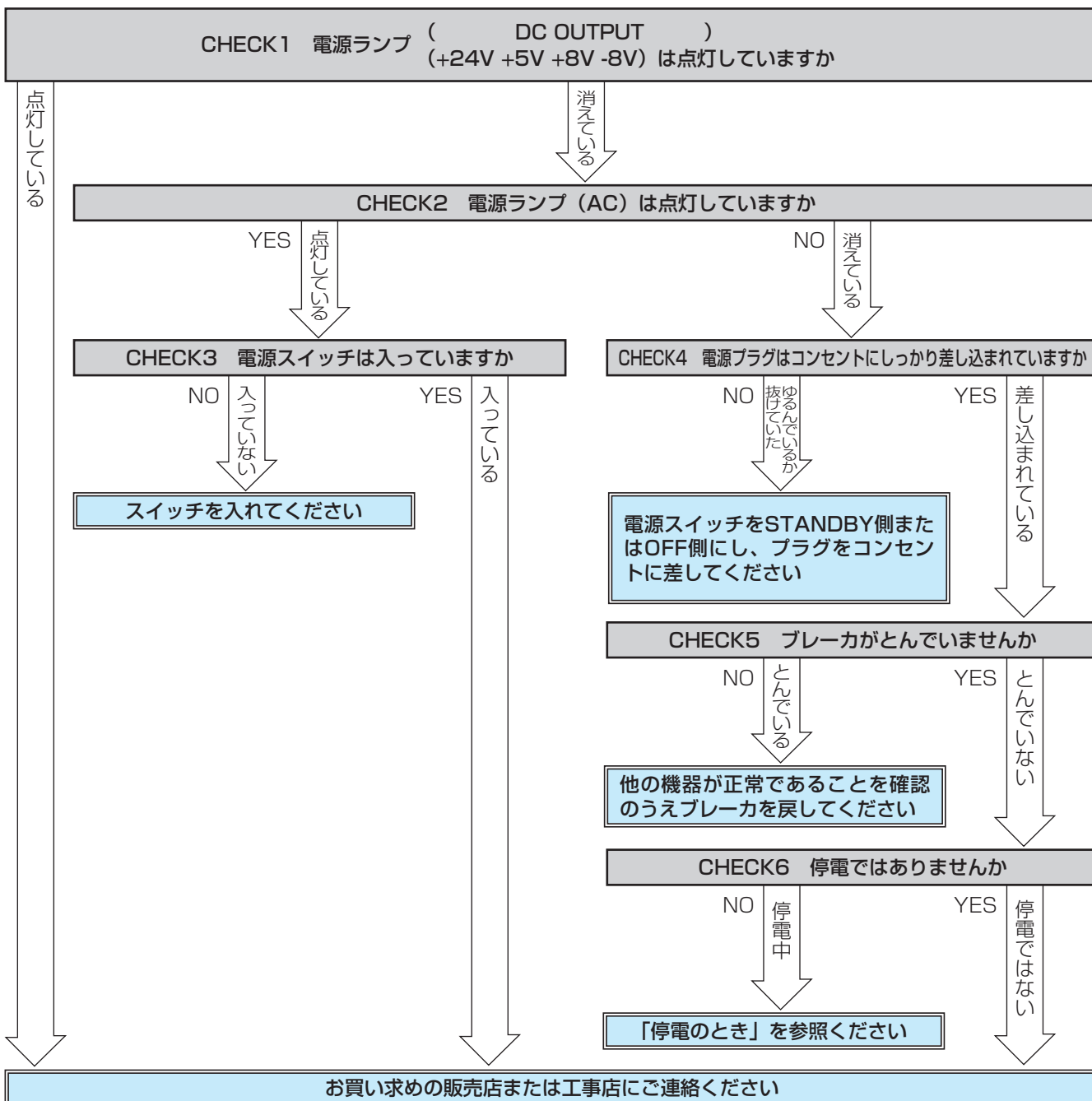
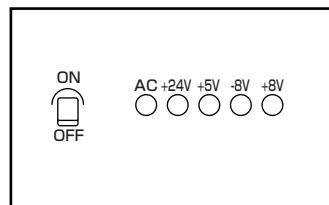
故障！とお考えになる前に

次の診断シートに従って主装置を点検してください。

IX-R



IX-450



アフターサービスについて

●この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容についてご確認ください。

- 設置されている電話機の台数が記載されていること
- お買い求めの日が記載されていること
- お客様のご住所とお名前が記載されていること
- 販売店の住所と名前が記載されていること

●保証期間はお買い求めの日から1年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●保証期間経過後の修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

- 補修用部品の保有期間について
本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、最低7年間保有しています。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。
- 電子情報の消去について
お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについてご不明な点はお買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

またはお近くの岩崎通信機営業所にご連絡ください。

1
前に
ご利用いただく2
多機能
電話機3
単独
電話機4
多機能
電話機
DSUユニット付き5
中継台
(ATT)6
ISDN7
システム
機能8
ご参考に

MEMO

使い方などでご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センターへお気軽にご相談ください。

〈お客様相談センター：☎0120-186102〉

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

情報通信事業本部 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせのときに大変便利です。

設置年月日	年	月	日
設置店名			
住所			
電話番号			

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。